



サンタ白書 2017

平成29年

サンタを待つ、すべての子どもに届けるために。



NPO法人チャリティーサンタ


Charity Santa

サンタ白書2017

サンタを待つ、すべての子どもに届けるために。

NPO 法人チャリティーサンタ

当白書のコンテンツの利用について

 本白書に掲載されている情報については、テレビ・ラジオ（受動的に受け取るメディア）については、サンタを信じる子どもへの配慮から、放送時間帯の制限をもうけています。各ページ下部に上記のマークがある場合は、該当ページですのでご注意ください。また、その他のページや新聞・雑誌での掲載についても、引用・転載などする場合は、ご一報ください。

メール：info@charity-santa.com / 電話：03-4571-0018



目次

はじめに	P.5
第1章	
「日本におけるクリスマス・サンタクロース」.....	P.7
第2章	
「子育て家庭のクリスマス・サンタクロースの実態」.....	P.15
コラム 「サンタさんのクッキーとミルク」.....	P.36
第3章(1)	
「経済状況にみるクリスマス格差」(1)年収比較編	P.37
コラム 「経済格差があっても、影響がなかったプレゼント購入金額」.....	P.47
第3章(2)	
「経済状況にみるクリスマス格差」(2)母子家庭編	P.49
コラム “子どもに対してできなかったこと” から見えてくるクリスマス格差	P.57
【対談】母子家庭の子どもたちのために サンタクロースができること	P.58
第4章	
「チャリティーサンタとは～2万人に届けてわかったこと～」.....	P.65
実際のエピソード集	P.77
付録	
基礎集計データ	P.82
アンケート調査票見本.....	P.96
おわりに	P.113
本白書の発行にご協力いただいた皆様・発行者データ	P.114

はじめに

「クリスマス」と聞いて、皆さんはどんなことを思い浮かべますか？

きっと多くの人が、キラキラした街並みや、ワクワクした記憶を思い出すのではないのでしょうか。

僕には、小さい頃にサンタさんが自分に会いに来てくれた思い出があります。6歳だった僕が大興奮した「サンタさんに会えた」という経験が元となり、大人になった僕は「世界中の、たくさん子ども達を笑顔にしたい」と、チャリティーサンタの活動を始めました。

2008年から始めたこの活動は2014年にNPO法人となり、これまでの9年でのべ11,795人がサンタクローズになり、のべ21,877人の子どもに夢と笑顔を届けてきました。

サンタさんと出会った時の子ども達のとびっきりの笑顔、真剣な顔で話を聞く姿。そんな子ども達を優しいまなざしで見守る親御さん。素敵なお家のシーンを幾度となく目にしてきました。

しかし、2万人以上の子ども達に届けてみて見えてきたのは、誰もが等しくサンタクローズからプレゼントを貰えるわけではない、という事実でした。家庭の経済的な事情、家庭の環境などにより「サンタクローズが来ない、プレゼントさえ貰えない子ども達」がいる。

その事実を知った時、僕たちチャリティーサンタは「サンタを待っている子ども達」に届けるためのアクションを起こそうと思ったのです。

今回のサンタ白書では、①日本全体におけるクリスマス状況 ②日本の子育て家庭における「サンタクローズ」「クリスマス」「プレゼント」などの実態調査 ③家庭の経済状況などにより、②はどのように変化するのかを調査しました。そして、僕たちの活動の紹介についても掲載しました。

大人の数より子どもの数が多いのですから、子ども達のためにサンタクローズになる大人の数が増えればいつか必ず「サンタクローズが来ない子ども」がいなくなる日が来るはずです。

この「サンタ白書」の調査結果が、子ども達の置かれている環境を見直すきっかけとなり、私達の未来を考えるための一助となることを期待しています。

NPO 法人チャリティーサンタ
代表理事 きよすけ 清輔夏輝

調査概要

目的	サンタを待っている日本中の子どもに届けていくために、日本の子育て家庭における「クリスマス」「サンタクロース」「プレゼント」等の状況やニーズを正確に把握する。
対象者	1章：既存の調査データから引用のためそれぞれ異なる 2章～3章（1）：第一子が3歳～12歳の子どもを持つ親 2,062人（男性 49.8% / 女性 50.2%） 3章（2）：第一子が3歳～12歳の子どもを持つシングルマザー103人（女性 100%）
実施期間	1章：既存の調査データから引用のためそれぞれ異なる 2～3章：2016年9月23日～30日 3章（2）：2017年9月14日～10月1日
実施方法	1章：既存の調査データから引用のためそれぞれ異なる 2～3章（1）：株式会社ジャストシステムのセルフ型ネットリサーチサービス「Fastask」を通して、対象者にオンライン上でアンケートを実施。 3章（2）：NPO法人しんぐるまざあずふおーらむのメルマガ会員を通して、対象者にオンライン上でアンケートを実施。
実施団体	NPO法人チャリティーサンタ
協力	株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ ※アンケート調査票の作成・分析 NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京(SVP 東京) ※アンケート調査票の作成・分析 株式会社ジャストシステム ※アンケート作成・配信・集計 NPO法人しんぐるまざあずふおーらむ ※アンケート配信・調査票作成の助言
助成	独立行政法人福祉医療機構 ※平成29年度 社会福祉振興助成事業

本白書で使用したデータについて

【全体共通】

本調査では、主にNPO法人チャリティーサンタが本白書の製作のために実施したオンラインアンケート調査のデータを使用している。

【2～3章（1）】 2016年に実施した調査結果

年収別の傾向分析も目的としているため、年収階層毎にサンプリングを行っている。各年収階層のサンプリング数は、全体の年収階層構成とは異なるので、全体集計を行う上では全体の年収階層構成に割り戻し（ウェイトバック）を行うことで、データ補正を行ったうえで表示している。

全体の年収階層構成については、Fastaskのパネル分布に従いスクリーニング調査段階でのサンプル構成に従った。

【3章（2）】 2017年に実施した調査結果

2～3章（1）の調査では明らかにできなかった仮説を検証するため、2017年にシングルマザーを対象に追加調査を行っている。なお、対象については、NPO法人しんぐるまざあずふおーらむの会員（有効回答数103名）としている。年収別の傾向分析も目的としているため、年収階層毎にサンプリングを行っている。なお、回答者の年収は300万未満が56.3%であり、日本全体での300万未満が64.1%^{*}と近いことから、調査対象としては適切であると考えている。

※出典：厚生労働省平成23年度 全国母子世帯等調査



第1章

日本における クリスマス・ サンタクロース



日本のクリスマス・世界のクリスマス

クリスマスは、現代日本に欠かせない年末のイベントである。キリスト教伝来後、禁教令が敷かれたことにより九州の一部の地域を除いてクリスマスを祝う風習は一旦影を潜めていた。その後、鎖国明けの江戸後期～明治期中期頃にかけてクリスマス文化が本格的に浸透し、今日までに非キリスト教の一般市民にまで普及する大衆文化へと発展していった。当時のクリスマスは「正月のようなもの」と説明されており、クリスマスプレゼントも「お歳暮」や「お年玉」に例えられ「めでたい日」とであると日本人に認知されていった。大正時代に入るとすでに年中行事として定着していたようである。

クリスマスの起源は、これといって明確になっていない。クリスマスやサンタクロースを語る上では、大前提として「諸説ある」ということを明記しておきたい。その要因としてキリストの誕生日とサンタクロースの曖昧さが指摘されている。イエス・キリストの生誕日である12月25日は後世の教会によって「キリストの誕生を祝いに教会へ行く」ために意図的に普及されたものであり、4世紀初頭までキリストの誕生を祝う風習はなかった。一方サンタクロースの原型は3世紀頃、聖ニコラウスと

いう司祭が貧しくて結婚の持参金を用意できない3姉妹の家庭に金貨を投げ入れ、それが暖炉に下げてあった靴下に入ったことから、靴下を飾る風習が生まれたとされている。その後、世界各地で神または妖精の姿で「ギフトを持ってくる人物」としてサンタクロースのイメージが育てられていった。

この様なイメージの広がりを示す例として、1897年、ニューヨークのサン新聞社に寄せられた有名な質問がある。8歳の少女バージニアからの「サンタクロースって本当にいるんでしょうか？」というこの問いに、同社のフランシス・チャーチは社説で「サンタクロースはいないなんていう、あなたの友達はまちがっています」と、サンタクロースの存在を肯定する内容を掲載した。今日のクリスマス文化は、宗教的背景のみだけではなくプレゼントをもらえる日を待ち望む子ども達と、子どもの夢を守ろうとする大人によって発展していったものと思われる。

また、日本ではおなじみのクリスマスケーキは、「家庭でクリスマスケーキを食べることを提案した不二家の広告」が元となり広まった日本特有の文化だとされている。

【出典】勝田彩香「明治大正期のクリスマス受容 クリスマス・サンタクロースの諸表象」
木村純子「クリスマス消費の変容に関する研究：構築主義的アプローチによる理解」

日本のサンタクロース、世界のサンタクロース

クリスマスというイベントが日本に定着したのは明治から大正にかけてであるが、では「サンタクロース」はいつ頃から登場したのであろうか。1874年（明治7年）、浮世絵商でクリスチャンだった原胤昭^{ほらたねあき}が開催した明治期最初のクリスマス会に、長い白髭に袴姿の「サムライ風サンタ」が登場したことがわかっている。当時のサンタクロースの認知度の低さがうかがえるが、この頃からすでに「お爺さん」であるという認識はあったようだ。

サンタクロースの外見については「サンタ帽に長靴」「赤い服に白い髭」が一般的なイメージであり「コカ・コーラ社が1931年から描いていた自社の宣伝用のサンタクロースがそのイメージを定着させた」という説がある。しかし日本では1907年の段階で新聞紙面上で「身に赤衣を纏ひ」（『朝日新聞』1907年）という記述があり、その他にも「真っ赤な服をつけて白髪の赤い面を冠りサンタクロースに装ひ」（『読売新聞』1914年）と描写されて

いることから、少なくとも「白い髭」は1874年に、「赤い服」も1907年には存在しており、日本での「赤い服で白い髭のお爺さん」というイメージは当時からあったものと思われる。

また、世界のサンタクロース文化に目を向けてみると、必ずしも「赤い服のお爺さん」のイメージではないこともわかる。

イギリスではサンタクロースではなく「ファザークリスマス」と呼ばれ、緑色の長いローブを身にまとっている。スペインに伝わるお菓子を配りながら歩く魔女の「ベファーナ」の他にもスウェーデン・東欧などで女性のサンタクロース伝承も存在する。また、出処は定かではないがアフリカでは黒い肌のサンタクロース人形を発見したという写真もインターネット上で散見される。日本のサンタクロースのイメージはアメリカのそれに最も近く、赤い服・白い髭・ふくよかな体型ととんがり帽子である。



【出典】勝田彩香『明治大正期のクリスマス受容 クリスマス・サンタクロースの諸表象』
旭川サンタプレゼントパークホームページ <http://www.santapresentpark.com/>

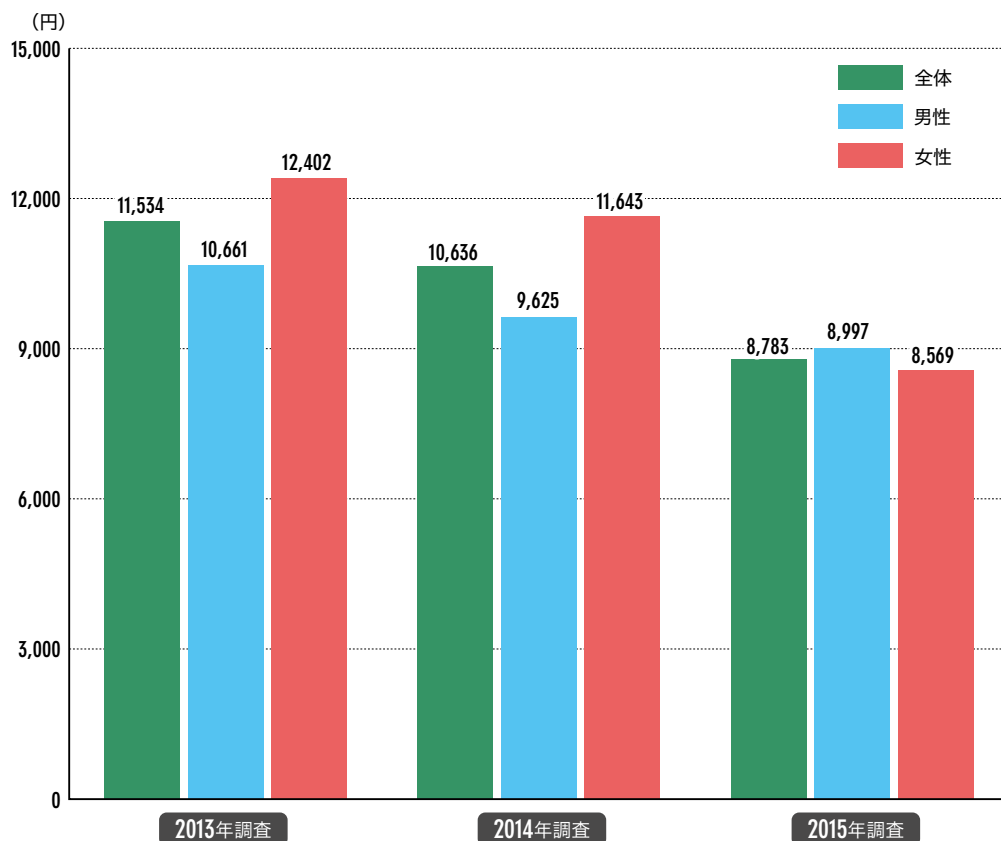
市場としてのクリスマス、経済効果は6,715億円

日本のクリスマス市場といえば、一年間で最も大きな経済効果を生み出す市場であり、その規模は直接効果が現れる小売業だけで6,715億円となる。マクロミルの調査では、2015年、個人がクリスマスにかける合計予算は8,783円となり、2年連続で減少傾向にある。

『クリスマス消費の変容に関する研究：構築主義的アプローチによる理解』（注1）によるとクリスマスなどの行事を家庭に取り入れる理由は「生活を楽しみ家族の絆を確認するきっかけ」として日本人に受け入れられ、「クリスマス消費を成り立たせる最大の要因は子どもへの愛情表現である」と述べられている。

クリスマスの予算は平均8,783円

設問：クリスマスにかける合計予算（プレゼントも含む）をお知らせください。（自由回答）

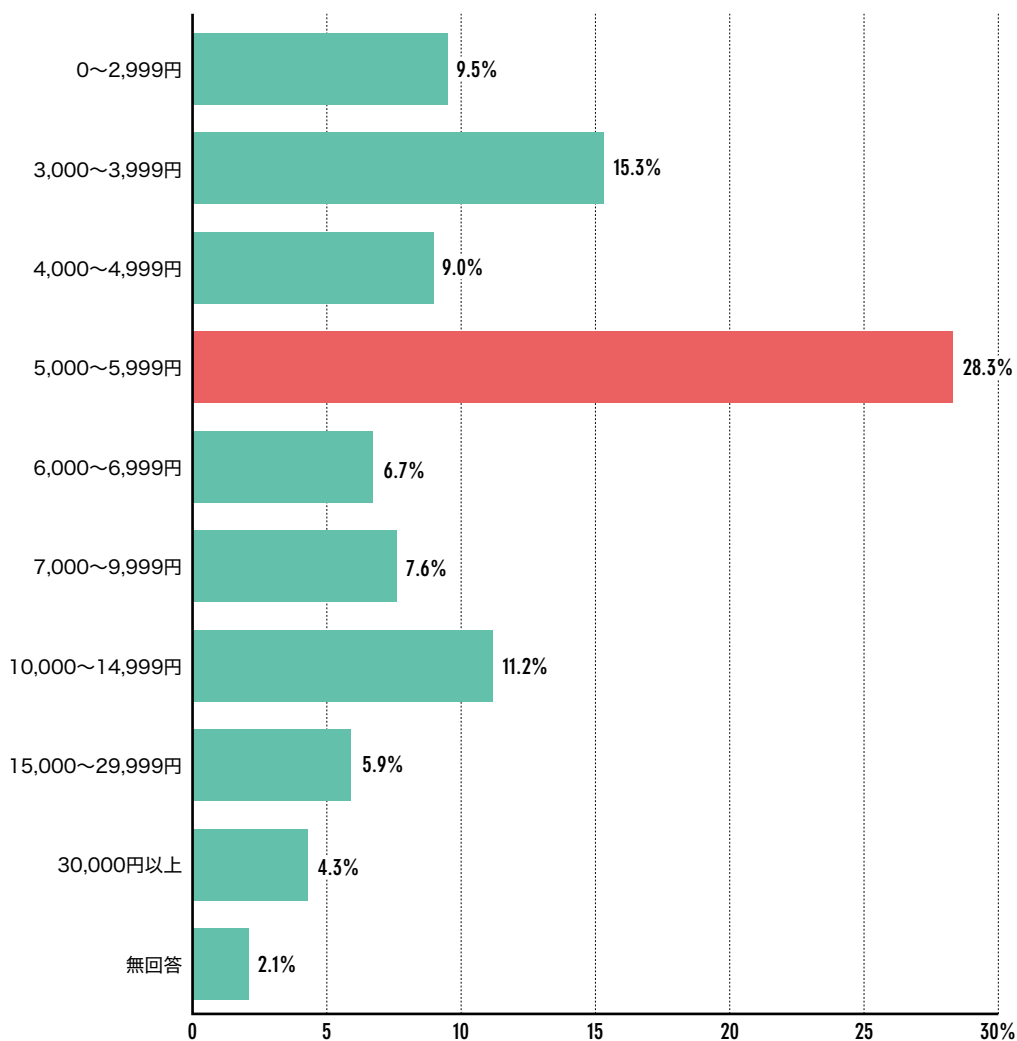


【出典】注1) 木村純子『クリスマス消費の変容に関する研究：構築主義的アプローチによる理解』（神戸大学 2001年）
2015年～2016年「年末年始の過ごし方に関する調査」マクロミル調べ
株式会社エフアンドエム 中小企業総合研究所 調べ

親から子へのクリスマスプレゼントの購入金額、 2015年は平均7,879円

NPO法人チャリティーサンタでは2015年のクリスマスプレゼントの購入金額を調査した。親から子どもへのプレゼントの予算は5,000円以上6,000円未満の価格帯が最も多く、平均購入金額は7,879円であった。1万円以上の高価格帯の購入数が多く、最高金額では40万円という回答もあり、10万円を超える回答も4件あった。

2015年、親から子へのクリスマスプレゼントの購入金額 回答数 1602

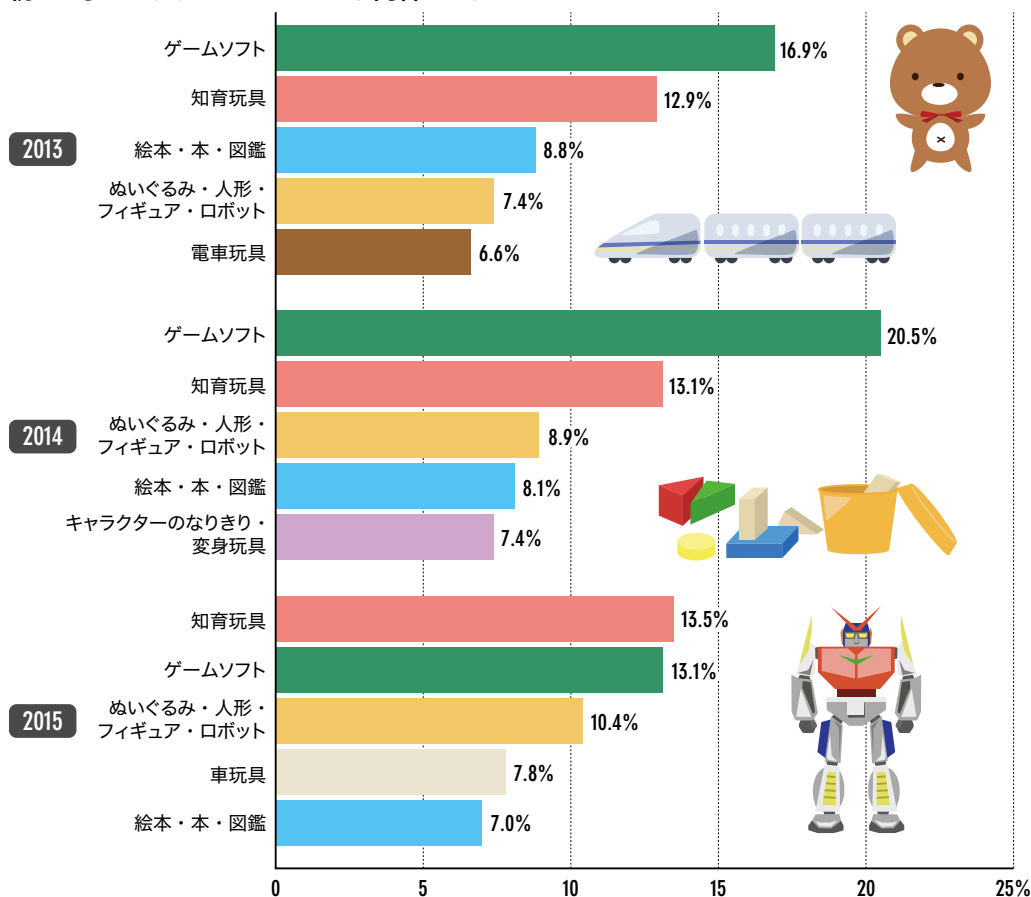


こちらのデータは全体の年収階層構成を
割り戻したデータ補正を行っていません。

親があげたいプレゼント、2015年の1位は「知育玩具」。

2章でも紹介するが、プレゼントは「子どもの欲しいものをあげる」という方針の家庭が多い（P.28 参照）。クリスマス前のバンダイ子どもアンケート調べによると、2015年11月に親に聞いたクリスマスプレゼントの内容は「知育玩具」が1位となり、2014年まで13年連続1位だった「ゲームソフト」は2位となった。しかしチャリティーサンタが調査したところによると2015年に実際に子どもに贈ったプレゼントの内容として最も多かったのは、ニンテンドー3DSをはじめとするゲーム機であった。

親から子へのクリスマスプレゼント内容ベスト5



チャリティーサンタの調査が3歳～12歳の子どもを持つ親へのアンケートであるのに対し、バンダイの調査では対象を0歳～12歳までの子どもとしていることから単純比較はできないが（注1）、親があげたいものと子どもが欲しいものにはギャップがあることが伺える。そして、親が知育玩具をあげたくても、子どもがゲームソフトが欲しいと言えばプレゼントはそれになるのだろう。

【出典】バンダイ子どもアンケート 2013～2015 「今年のクリスマスプレゼントに関する意識調査」

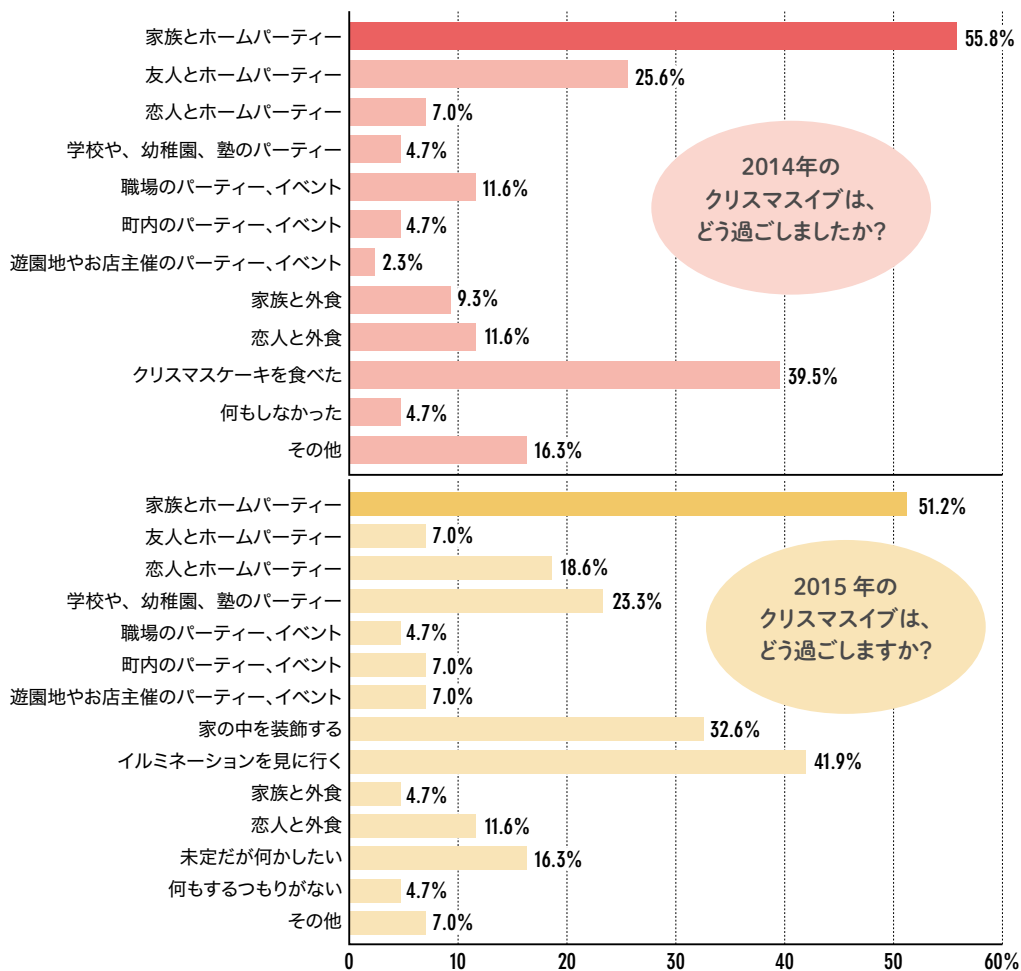
（注1）調査手法はどちらもインターネット調査



クリスマスは「自宅で過ごす」が主流。 デートもまったり系。

日本ホームパーティー協会によるとクリスマスは「家族とホームパーティー」をして過ごす人が半数以上である。また、マクロミルの調査では、理想のクリスマスデートは「自宅でまったり」が1位となり、既婚・未婚、恋人の有無に関わらずクリスマスを自宅で過ごすことが理想の過ごし方となっているようだ。また、総務省統計局調べでは、12月にケーキへの支出量が最も増えることが示されており、特に24日にその支出が最も多くなることが指摘されている。

クリスマスイブの過ごし方（※2015年11月調べ）



上記の結果からもクリスマスは家族で過ごし、自宅で食事をし、みんなでケーキを食べて過ごす風景が思い浮かぶ。一年の中でも最大級のイベントであると同時に「家族にとっての大事なイベント」でもあることが伺える。

【出典】2015年「クリスマスの楽しみ方」一般社団法人日本ホームパーティー協会調べ
2015年～2016年「年末年始の過ごし方に関する調査」マクロミル調べ
「家計簿からみた365日～日別集計結果」総務省統計局調べ



第 2 章

子育て家庭の クリスマス・ サンタクロースの実態

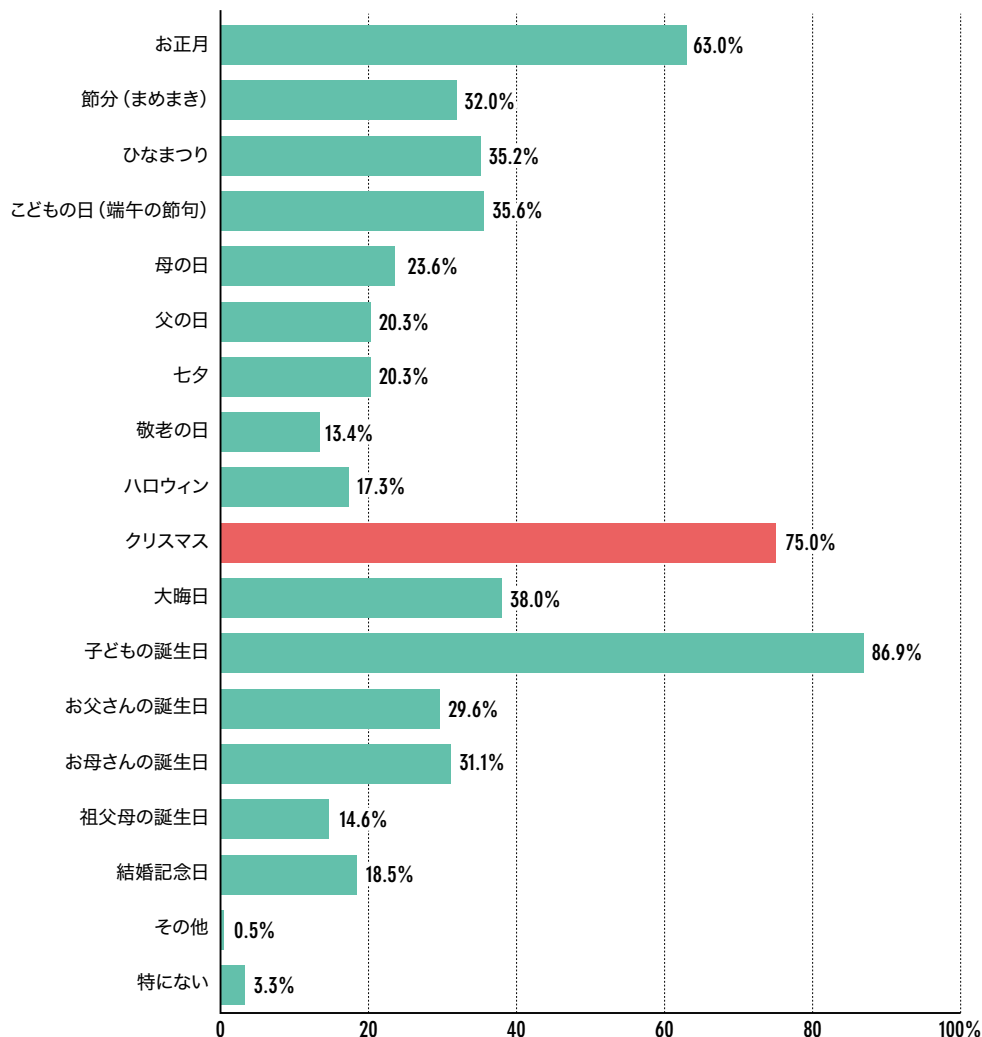


家族のイベントで大切なもの 1位は「子どもの誕生日」、2位「クリスマス」

家庭内の行事について、子どもの誕生日を大切にしている家庭が86.9%と最も多かった。

クリスマスを大切にしている家庭は75%で次に多く、3位はお正月の63%だった。

親子(家族)のイベントとして大切にしているものはなんですか? 回答数 2062 ※複数回答

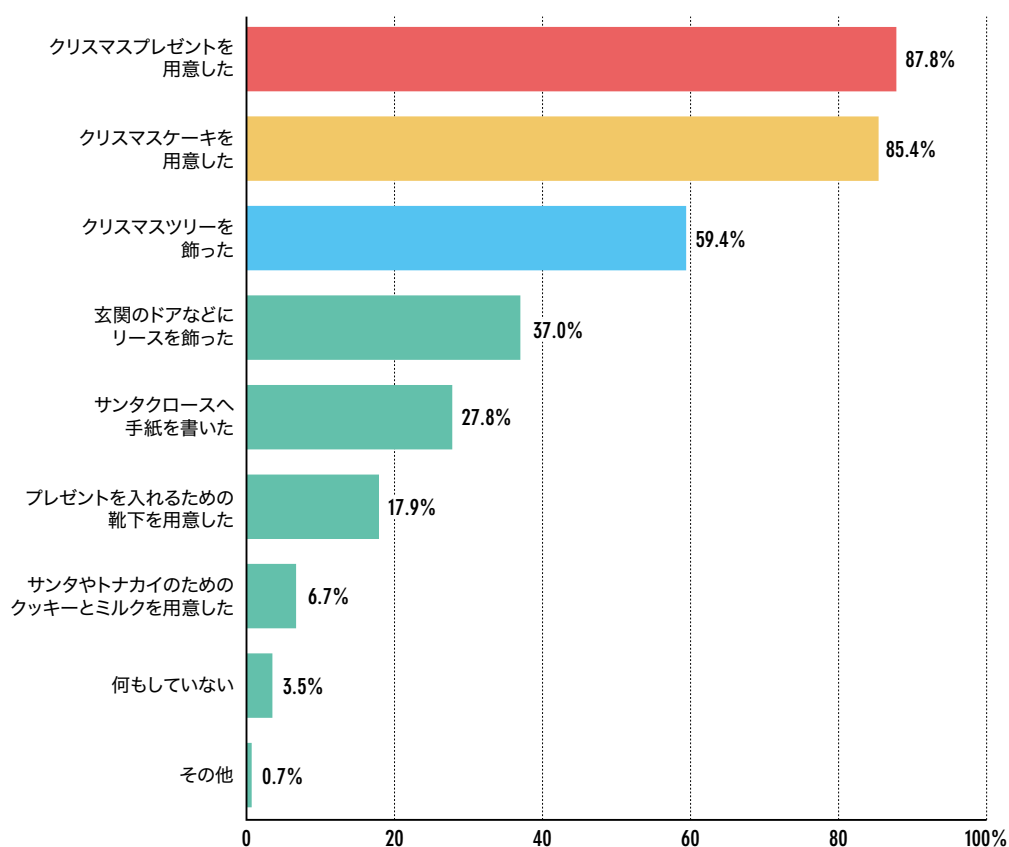


「3～12歳の子どもがいる家庭」という前提ではあるが、家族のイベントでは子どもの誕生日が1番大切にされている。親の誕生日よりもクリスマスが重要視される点について、小さな子どもがいる家庭は基本的に子どもがイベントの主役の「子ども第一主義」となっていることがうかがえる。

クリスマスに必要なアイテムは 1位プレゼント、2位ケーキ、3位ツリー

クリスマスに準備したアイテムについて、1位はクリスマスプレゼントで87.8%、2位はクリスマスケーキで85.4%、3位はクリスマスツリーで59.4%との結果となった。また、海外では習慣となっている「クッキーとミルクを準備する」のは国内でも6.7%が行っている。しかし地域で見ると九州が10.4%、関東が8.3%と高く、四国は1.7%と低い結果となり地域差も大きいという事がわかった。(クッキーとミルクの詳細については、P.36 にコラムでも記載)

昨年(2015年)は、どのようなクリスマスの準備をしましたか? 回答数 2062 ※複数回答

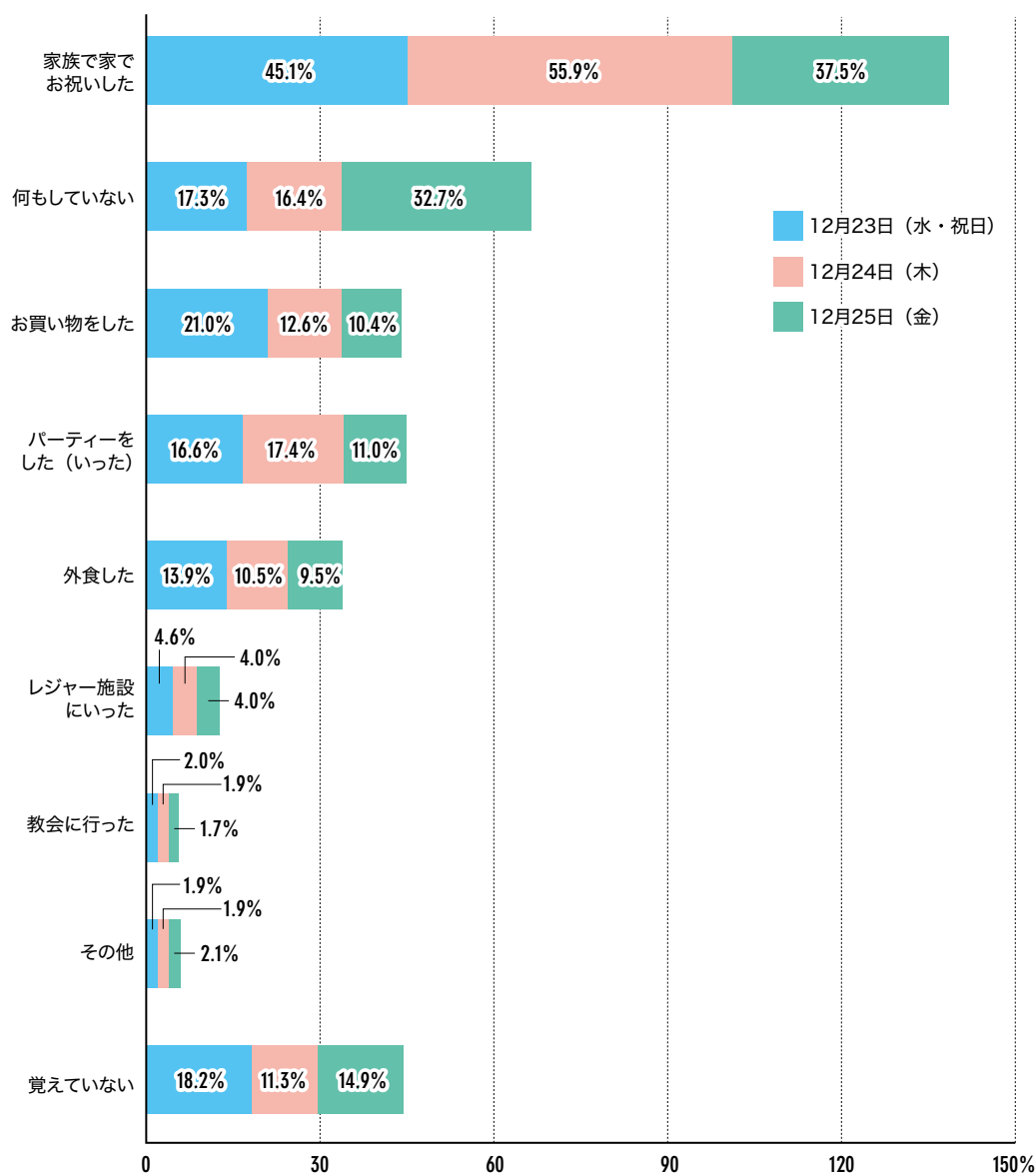


クリスマス「らしさ」を感じるアイテムは、クリスマスプレゼントが1番であることが分かる。12.2%の家庭はプレゼントを用意しないという調査結果となったが、その理由は多岐にわたり、「経済的にプレゼントを買う余裕がなかった」「プレゼントは必要ないと思っているから」などの回答が多かったが、最も多かったのは「特に理由はない」であった。なお、装飾についてはクリスマスツリーがトップであった。リースを飾る家庭が37%なのに比べて、やはりクリスマスの飾りの花形なのだろう。また、経済状況が厳しいとリースを飾らずツリーのみとする傾向も見受けられた。

クリスマスは「家族で家でお祝いする」という過ごし方が多数派である

クリスマス時期（12月23～25日）をどのように過ごすかを尋ねたところ、「家族で家でお祝いした」という回答が23日～25日の全てにおいて最も多かった。レジャー施設に行く割合は三日間の全てにおいて5%以下と極めて低く、外食・お買い物などの外出を伴う過ごし方は少ないことが調査結果より読み取れる。

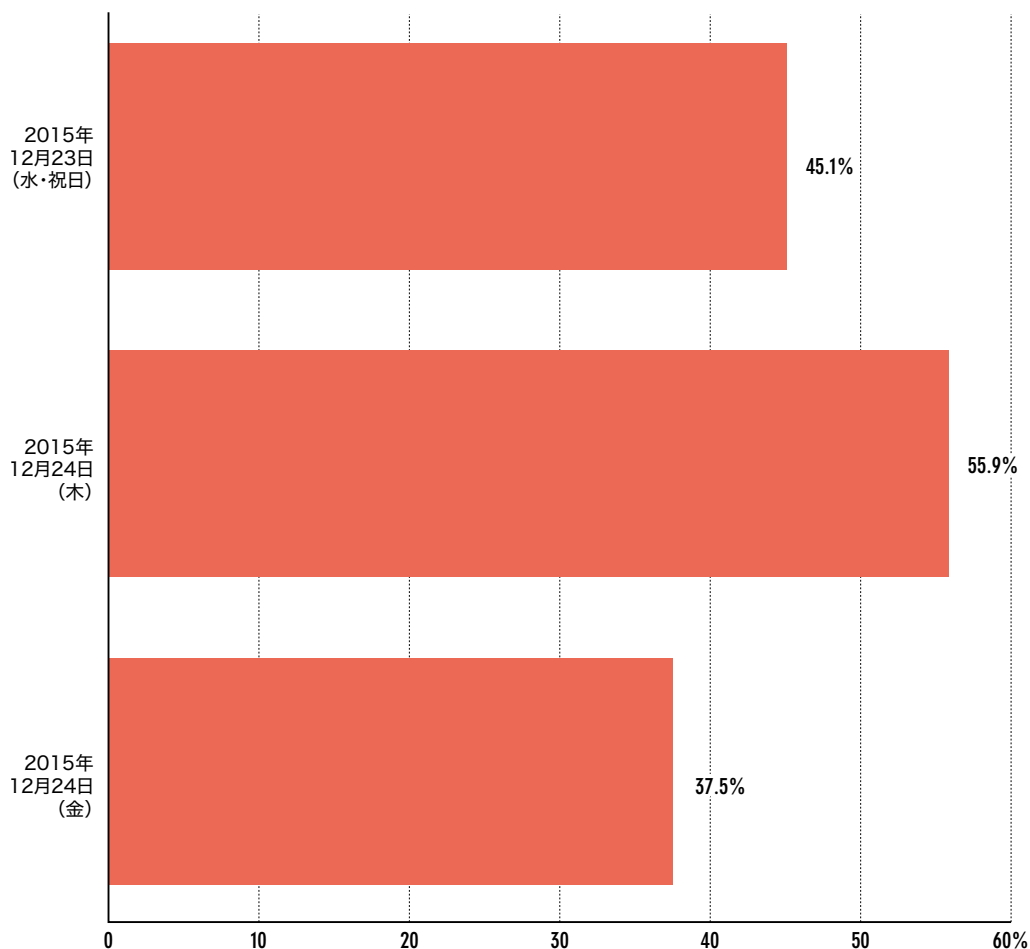
2015年の12月23日(水・祝日)、24日(木)、25日(金)の過ごし方について 回答数 2062 ※複数回答



お祝いはやはりクリスマスイブ（12/24）の夜に行う

12月23日にクリスマスのお祝いをした家庭は全体の45.1%、12月24日は55.9%、12月25日は37.5%だった。「クリスマスは12月25日であり、12月24日はあくまで前夜」との意見もあるが、クリスマスのお祝いを開くのは12月24日が最も多い。なお、この調査は2015年のクリスマスのデータであり「23日が休日、24日は平日、25日は金曜日」の状況であったにもかかわらず、24日にお祝いが開かれている。また、外出や買い物といった外出を伴うイベントは23日に多いが、24日は自宅でのお祝いが多くなり、25日は「何もしない」が増える傾向にあった。

家族で、家でお祝いしたのは何日か。 回答数 2062 ※複数回答

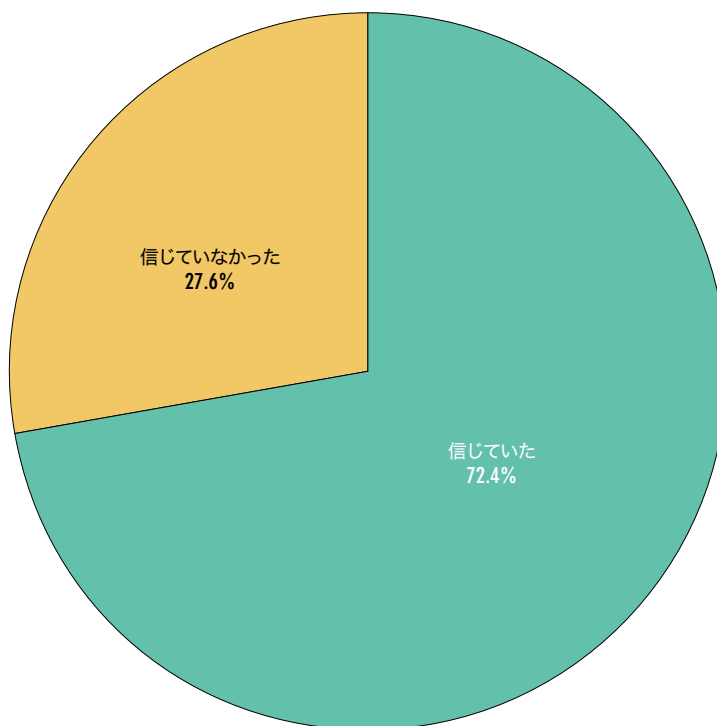


※2015年の12月23日(水・祝日)、24日(木)、25日(金)はどう過ごしましたか?という設問(付録Q5～Q7参照)の回答から、「家で家族でお祝いした」の回答のみを抽出して作成。

子育て世代のうち、 かつてサンタクロースを信じていた人は7割

子どもを持つ親の中で、かつてサンタクロースを信じていたのは72.4%である。

あなたは子どもの頃、サンタクロースの存在を信じていましたか？ 回答数 2062

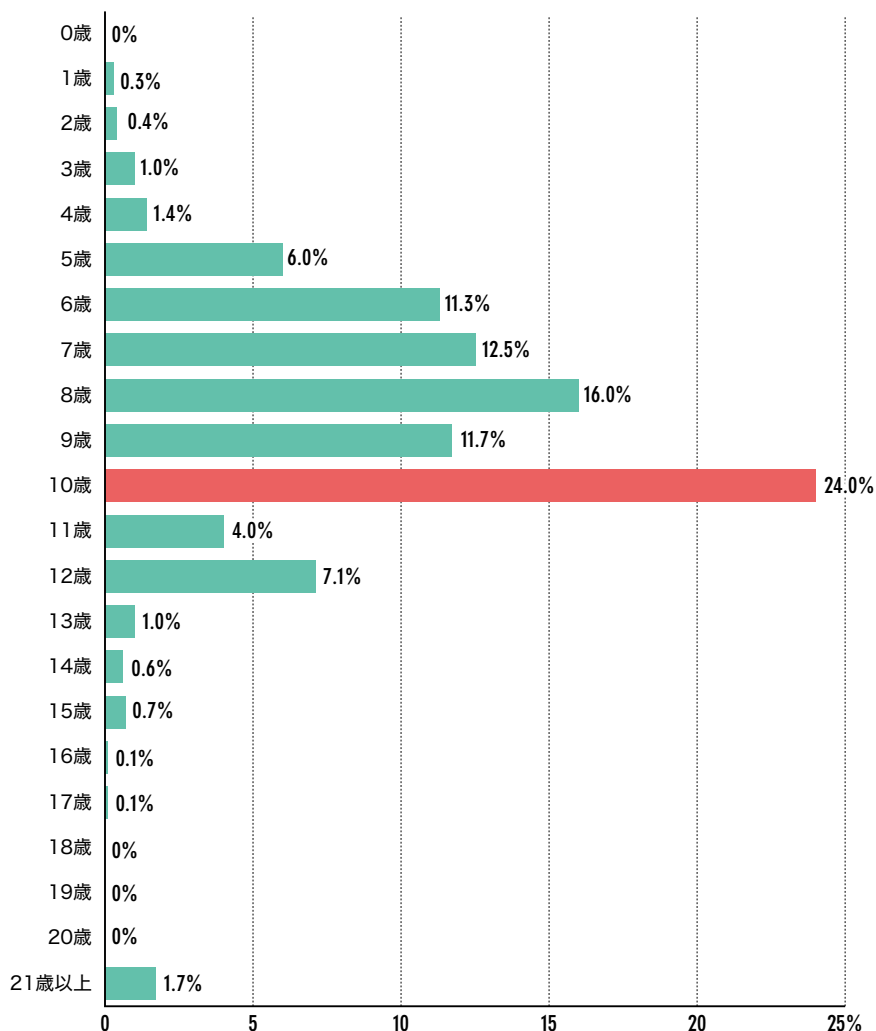


かつてサンタを信じていた大人は、全体の7割程度だった。他のデータでは、経済状況が厳しいほど「サンタクロースは来ないことにしている」とする家庭が多くなることが示されているが、信じている割合は経済状況別に見ても偏りなく7割程度である。「うちにはサンタクロースは来ない」と言われていても、子どもは一定の割合でその存在を信じ、ひっそり待ち続けているのかもしれない。

サンタクロースを信じなくなった年齢は 10歳が最も多い

かつてサンタを信じていた子ども達（現在の子育て世代）が、いつまでサンタを信じていたかをたずねたところ、5歳までサンタクロースを信じていた子どもが6%、6歳までが11.3%、7歳までが12.5%と徐々に増え、10歳まで信じていたという回答が最も多く24%であった。

あなたはサンタクロースの存在を何歳まで信じていましたか？ 回答数 1479

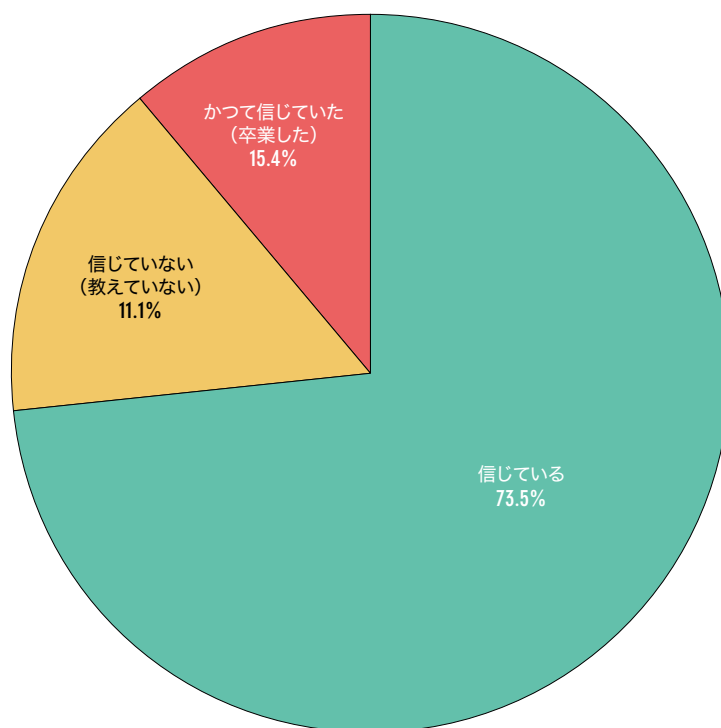


小学校入学を控えた6歳から信じなくなりはじめ、9歳（小学校3年生）までで60%を超えて、サンタクロースからの卒業がピークとなることが分かる。また、サンタを卒業する理由は「周囲の雰囲気から自分で気づく」が1位の61.7%、「友達にバラされる」が2位の30.6%というデータもある。幼稚園・保育園、小学校と、周囲との関わりを通してサンタを信じなくなるため、サンタからの卒業は社会性を身につけていく1つの通過点なのかもしれない。

現在、サンタクロースを信じている子どもは全体の73%

「あなたのお子さんはサンタクロースを信じていますか?」とたずねたところ、「信じている」と回答したのは全体73.5%であり、これは親世代が小さいころサンタクロースを信じていた割合とほぼ同じであるという結果になった。残りの3割のうち、かつて信じていたが、今は信じていない(卒業した)割合が15.4%、信じていない(教えていない)割合は11.1%である。

あなたのお子さんはサンタクロースの存在を信じていますか? 回答数 2062

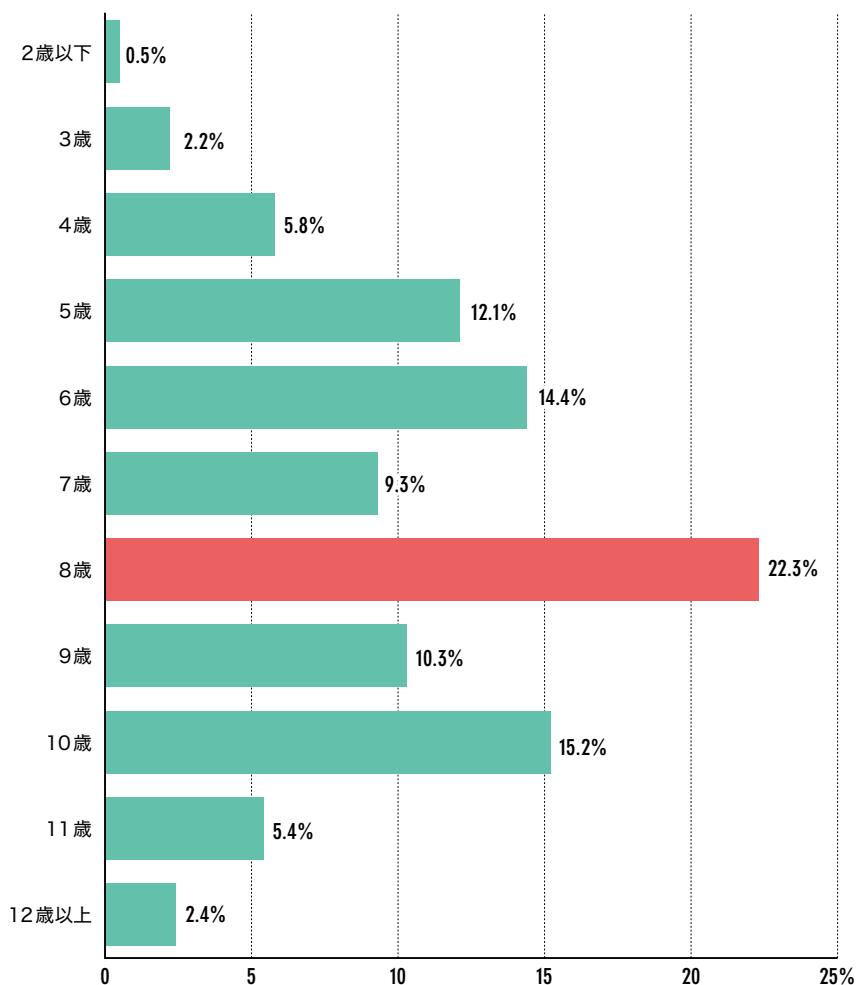


「サンタを信じていた割合」が親世代の幼少期と同じであるということは、20～30年前と同じ状況と言える。インターネット社会になり、子どももスマホやタブレットなどで何でも調べられる時代でも、こうやって多くの子どもが信じている状況があることは、優しさでもありこれまでの大人の努力が続いてきたものとも言える。

現在、サンタの正体に気づくタイミングの低年齢化が進んでいる可能性

「かつて信じていたが、今は信じていない（卒業した）」と回答した家庭の子どもが、何歳までサンタクロースの存在を信じていたかを尋ねると、最も回答数が多かったのが「8歳」、ついで「6歳」が多いという結果になった。

あなたのお子さんは何歳までサンタクロースの存在を信じていましたか？ 回答数 315



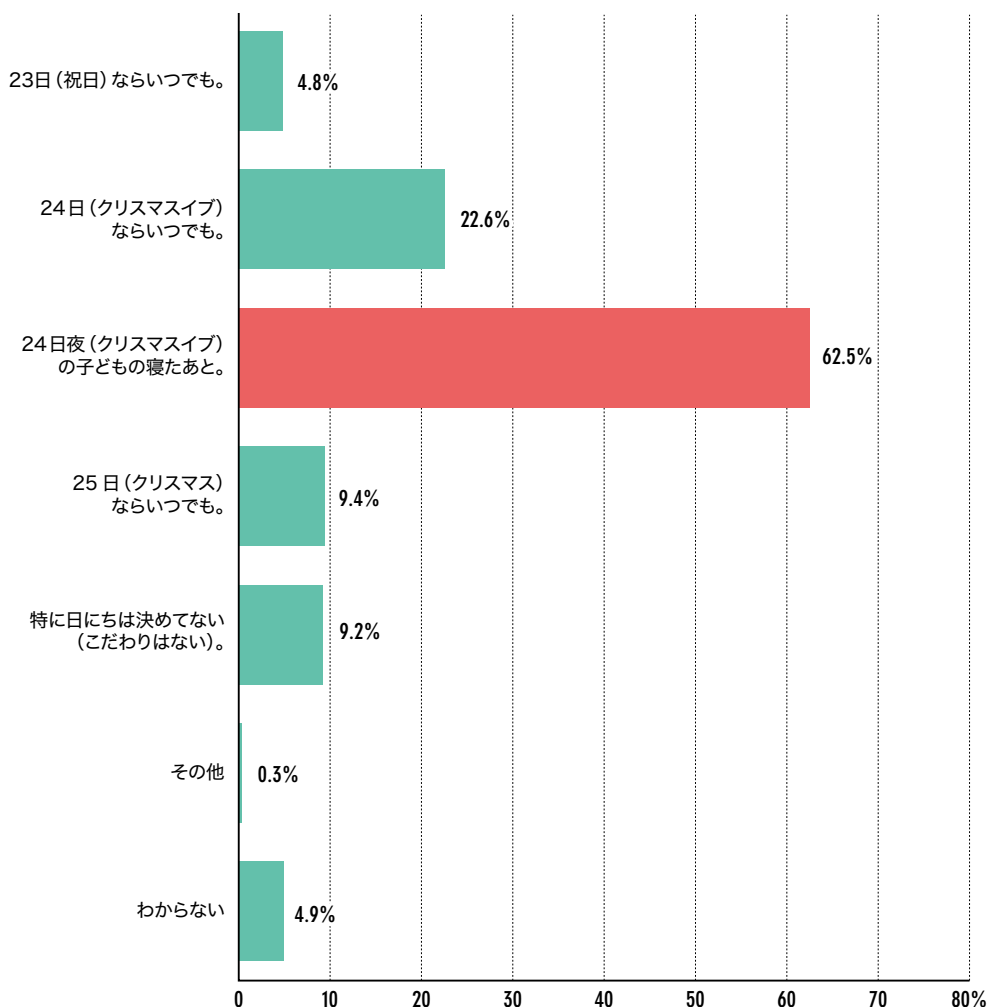
この設問ではアンケートの回答者のうち「すでにサンタクロースを信じていない」と回答した約15%の家庭の子どもたちの事例であるため、通常よりも早く卒業する傾向があるのかもしれない。しかし、今回の場合は8歳（小学校2年生）までで66%を超えて、サンタクロースからの卒業がピークとなる。親世代がピークは9歳だったことを考えると、卒業年齢は早まっている可能性はあるのかもしれない。

サンタクロースは、子どもが寝た後にやってくる

「サンタクロースから」との設定で親が子どもへプレゼントを渡すのは、イブの夜に子どもが寝た後が62.5%で1位だった。

サンタクロースは、あなたのお子さんのために何月何日に来て欲しい(設定)ですか？

回答数 2062 ※複数回答

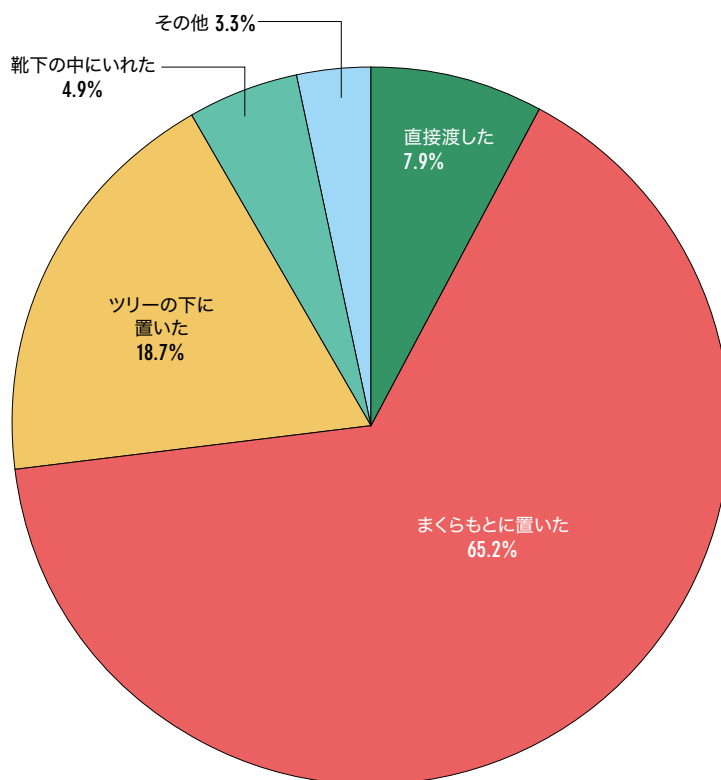


サンタクロースは寝ている間に来るものであり、基本的に会うことができない存在とされていることが伺える。だからこそ、会ったことがなくても信じ続けていられるのだろう。逆に言えば、「会えなくて当然」というイメージが強いからこそ、なんらかのイベントでサンタに直接会えると子ども達にとっては大きな喜びになるのかもしれない。

プレゼントは枕元が主流。靴下の中はわずか5%！？

サンタクロースからのクリスマスプレゼントは、枕元に置くのが65.2%で1位、ツリーの下に置くのが18.7%で2位だった。前ページの結果より「サンタクロースは寝ている間に来るもの」とのイメージが強いことも示されており、「サンタクロースは夜寝ている間に枕元にプレゼントを置いていく」とのストーリーが読み取れる。サイズの問題と思われるが、実際にプレゼントを靴下の中に入れておくのは4.9%と少数派であり、「直接渡す」の7.9%よりも少ない状況である。

2015年、あなたの家では、サンタクロースからのクリスマスプレゼントは 回答数 1637
どのように渡しましたか？



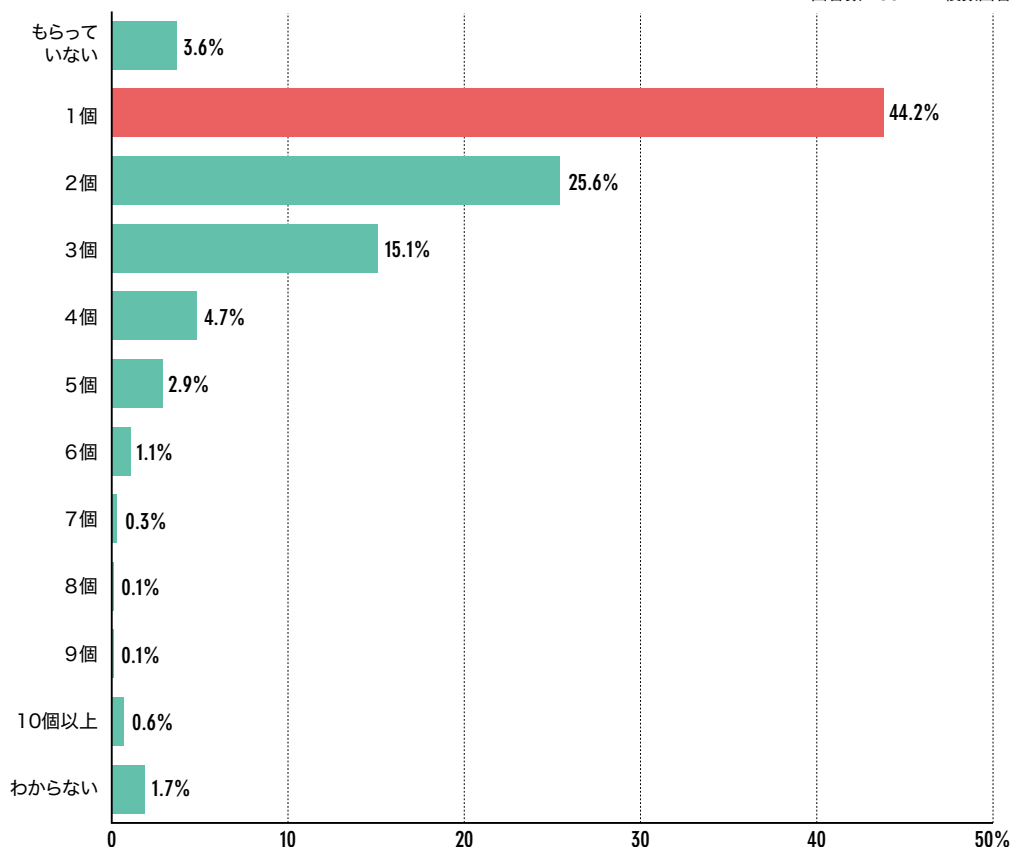
欧米ではツリーの下にプレゼント置くのが定番であるが、ツリーを飾る家庭が60%に対し、20%弱しか置いていない。日本では完全に枕元が主流となっている。また、靴下を用意したが17%あるのに対し、靴下に入れたが5%という結果もあり、プレゼントが大きくて入らない問題が読み取れる。

クリスマスにもらうプレゼントは平均 1.9 個

クリスマスに子どもがもらうプレゼントの個数は「1 個 (44.2%)」が最も多いが、約半数の子どもが複数個のプレゼントをもらっており、中には 10 個以上のプレゼントをもらう場合があることも調査結果によりわかった。クリスマスにもらうプレゼントの個数の平均を出してみると一人あたり 1.9 個のプレゼントをもらっていることになる。また、プレゼントの購入金額は平均 7,879 円、最低金額は 0 円、最高金額は 400,000 円であった。

2015 年、あなたのお子さんはクリスマスプレゼントをいくつもらいましたか？

回答数 2062 ※複数回答



多くは両親から 1 個のプレゼントをもらうだけだが、両親が複数のプレゼントを渡したり、次の設問でも出ているように祖父母を中心とした他の親戚からも受け取るケースや、両親からは別で「サンタクロースから」と分けて渡しているパターンもある。子どもの夢を守るための工夫が、こんなところにも現われているのかもしれない。

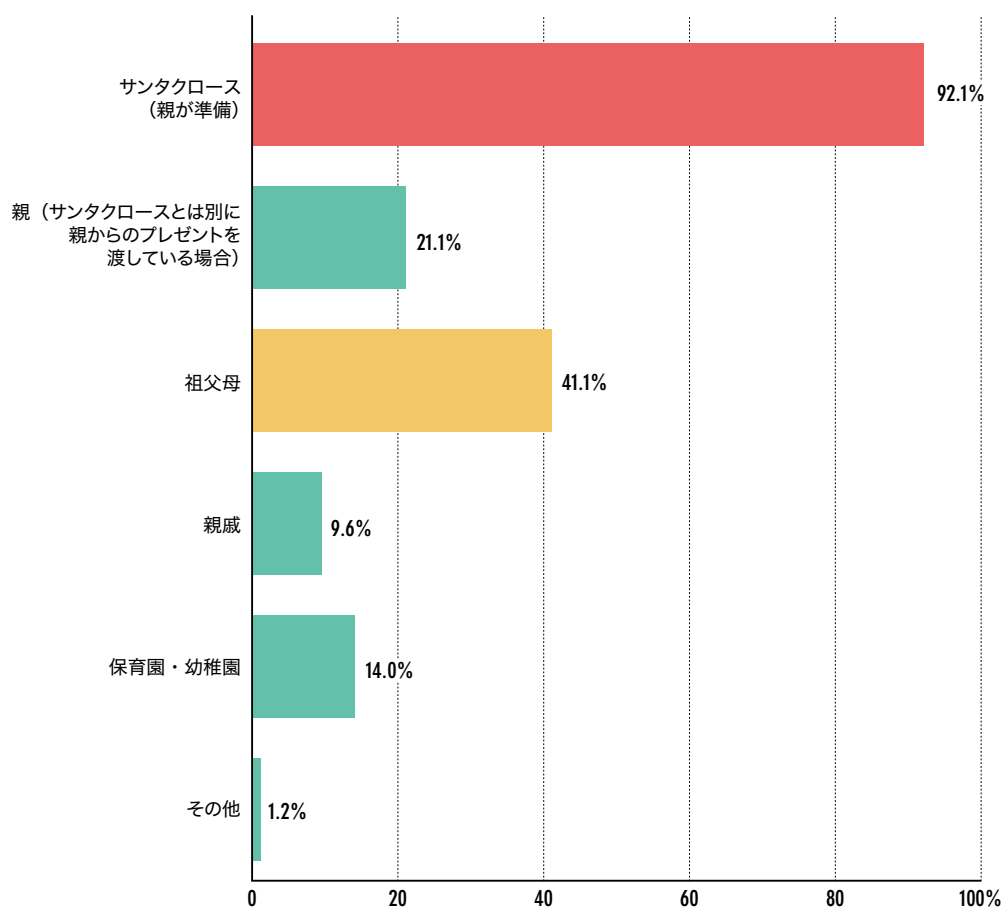
祖父母もクリスマスプレゼントを贈る時代

子どもが受け取るクリスマスプレゼントは、親が準備したサンタクロースからのプレゼントが圧倒的に多い（全体の92.1%）が、その他にも、保育園や祖父母から受け取る場合がある。親あるいは親が扮したサンタクロース以外からプレゼントを受け取る場合、相手は祖父母が最も多い（41.1%）。

2015年、あなたのお子さんはクリスマスプレゼントを誰からもらいましたか？

あなたのお子さんがプレゼントをもらった人をすべてお答えください。

回答数 1760 ※複数回答



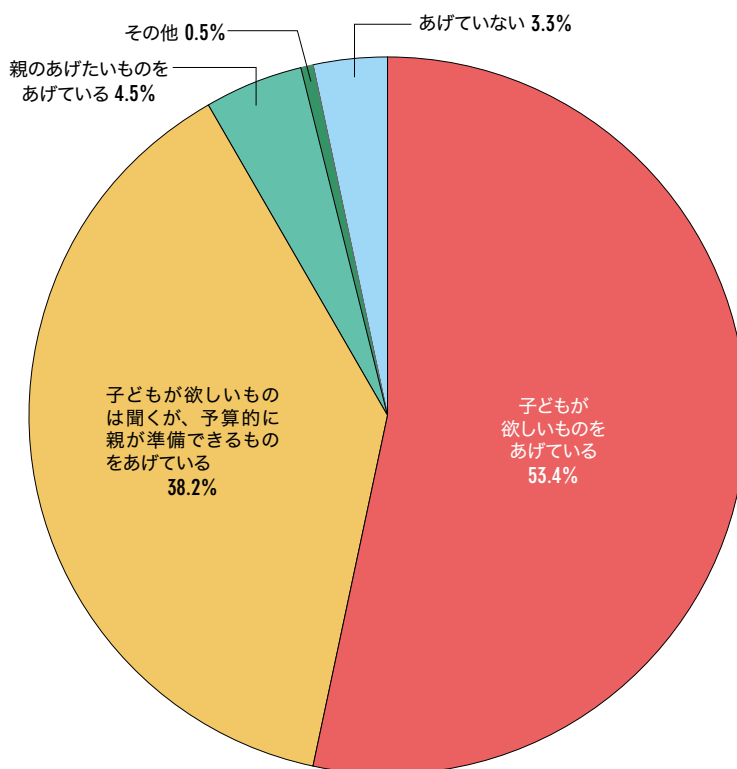
親が扮したサンタからプレゼントを受け取るタイミングは25日朝が中心だが、祖父母から受け取るタイミングは23日やそれ以外の日などばらつきが多い。クリスマス前後の都合が付きタイミングで祖父母の家へ会いに行っているのだろうか、クリスマス時期の休日の過ごし方を想像させる結果となって興味深い。

クリスマスプレゼントは「子どもが欲しいものをあげる」

プレゼントの方向性としては、「子どもが欲しいものをあげる」という回答が53.4%となった。「子どもの欲しいものは聞くが、予算的に親が準備できるものをあげている」という回答も合わせるとおよそ9割の親が、子どもの欲しいものをクリスマスプレゼントに選んでいる。

あなたの家庭でのクリスマスプレゼントの内容（方針）について
最もあてはまるものをお選びください。

回答数 2062

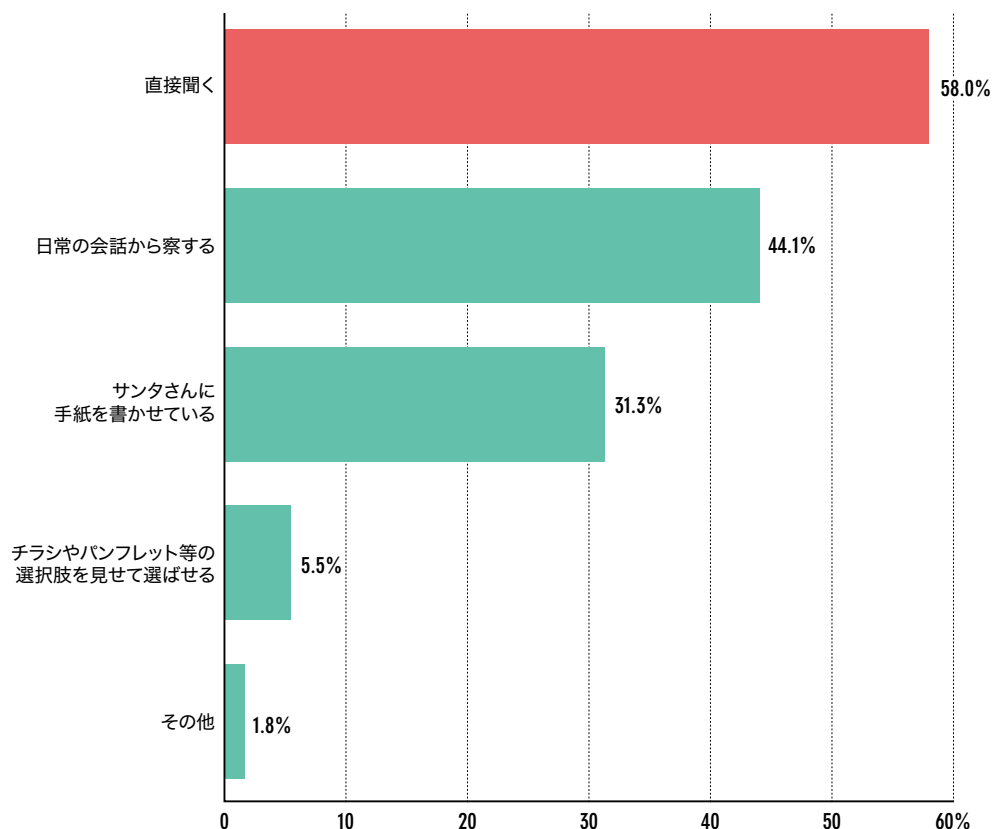


クリスマスプレゼントは基本的に子どものリクエストに応えるようである。経済状況が厳しい家庭に関しては、他のアンケート結果も併せると「リクエストに応えられない」よりも、「そもそもサンタは来ないことにしている」という形が多いことが分かる。また、親が渡したいと思うプレゼントを贈る家庭はかなり少数派である。

子どもが欲しがっているプレゼントは 直接聞いて確認する

子どもたちが欲しいプレゼントを確認する方法としては「子どもに直接聞く」が58%で最も多かった。次いで、会話から察するのが2位（44.1%）。サンタに手紙を書かせるのが3位（31.3%）であった。なお、渡したプレゼントについては圧倒的にニンテンドー 3DSをはじめとするゲーム機が多かった。

どうやって欲しいプレゼントの内容を聞き出していますか 回答数 1881 ※複数回答

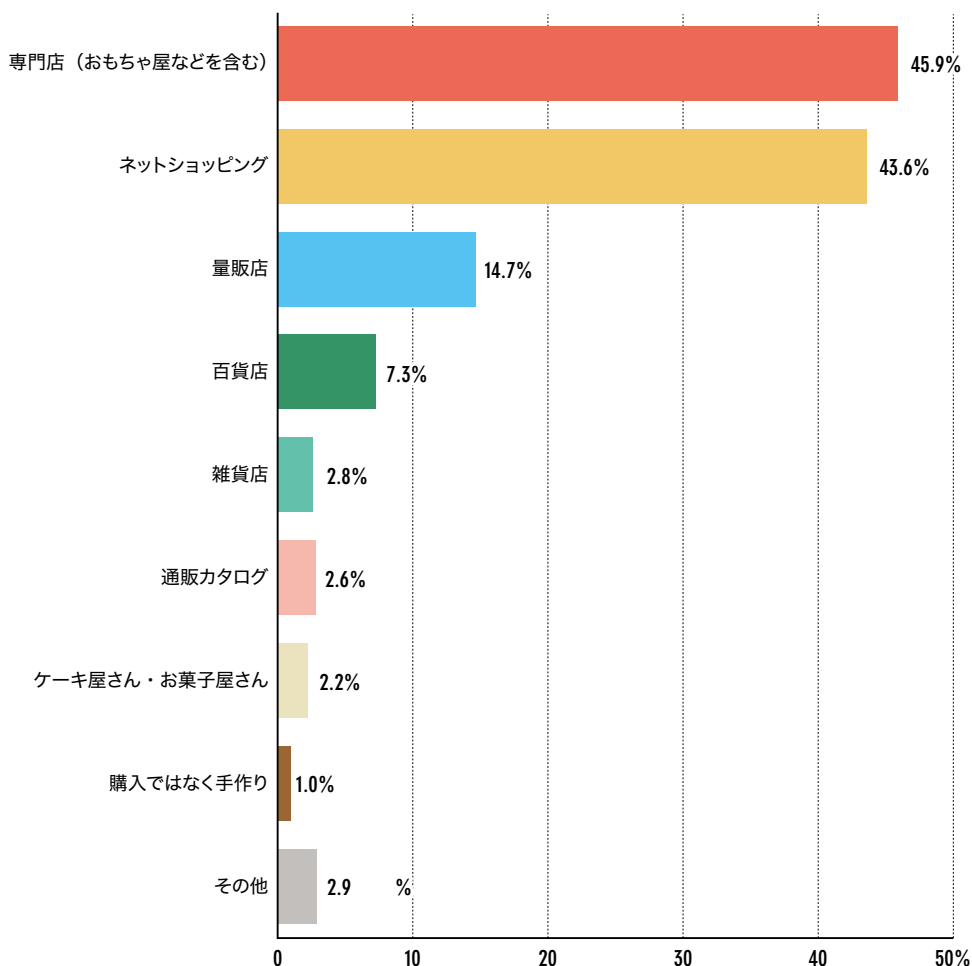


親はクリスマスプレゼントとしては子どもが欲しいものを渡すのが中心だが、欲しいものは本人に聞いたり会話から察したりすることが多い。子どもからサンタに手紙を書く文化は、日本ではまだ3割程度に留まっているようである。「手紙を書く」という手段はクリスマス前の親子のコミュニケーション、プレゼントをくれる相手への感謝や配慮など、子どもの教育面での効果も期待できるのではないだろうか。

プレゼントを買う場所は「専門店」と「ネットショッピング」

クリスマスプレゼントを買う場所としては「専門店（おもちゃ屋などを含む）」が45.9%、「ネットショッピング」が43.6%と僅差であり、百貨店はわずか7.3%であった。手作りのプレゼントは1%と、かなり少ない結果となった。

2015年、サンタクロースからのプレゼントはどこで購入しましたか？ 回答数 1637 ※複数回答

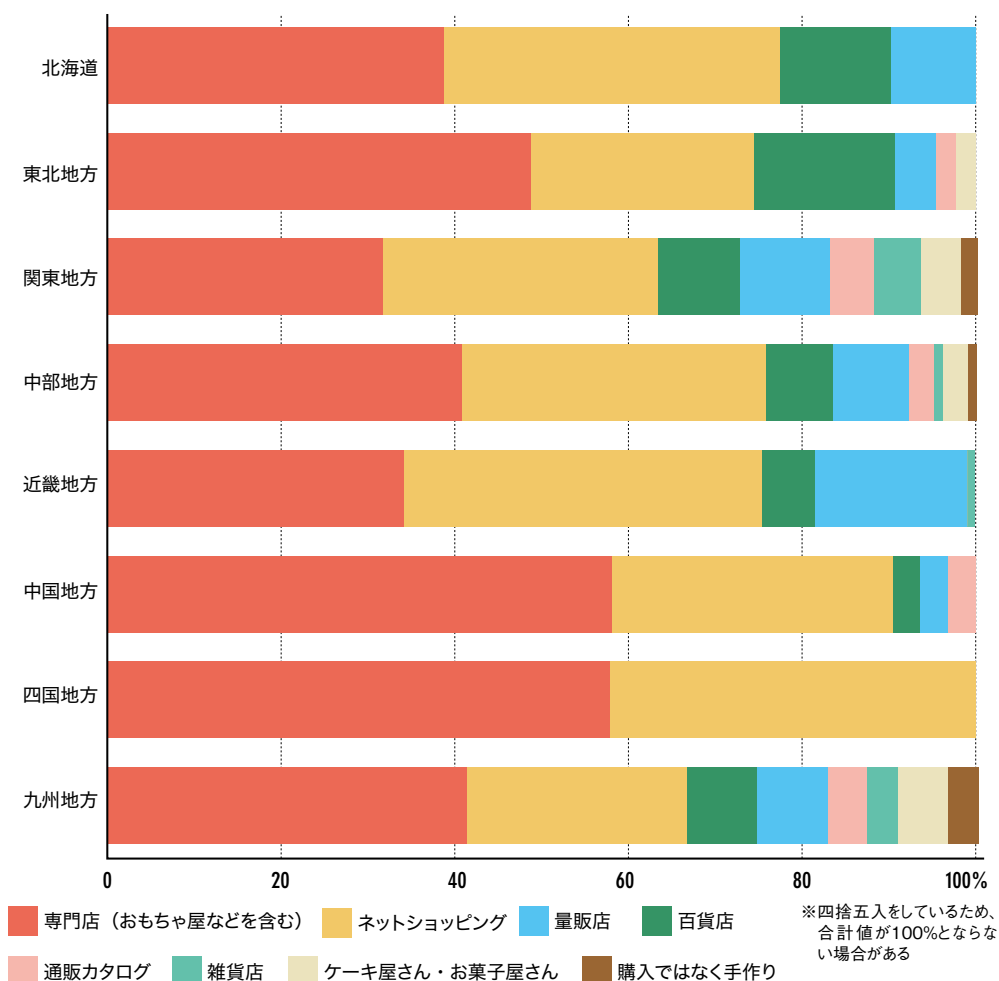


クリスマスプレゼントは専門店（おもちゃ屋などを含む）で購入するという親が最も多かった。プレゼントは子どもが求めるものを渡すとの結果を合わせると、子どもがおもちゃを欲しがり、親がそれをおもちゃ専門店で購入するというストーリーが見えてくる。ネットショップの割合が高いことに、ネットの普及による時代の流れを感じる。普段からネットショッピングを使い慣れている親は、そちらを利用するのかもしれない。

地域ごとにみるプレゼント購入場所の違い

プレゼントの購入場所を地域ごとに比較してみると、中国・四国地方では専門店（おもちゃ屋などを含む）で購入する割合が高い。一方、最も専門店での購入が少ない関東地方では、他の地域と比較して「雑貨店」での購入する割合が高いことがわかる。また、ネットでの購入が共に25%程で他地域よりも低い東北地方と九州地方だが、東北では百貨店での購入が16.3%で全地域中トップである。一方、九州は他地域と比べて満遍なく購入場所が分散しており、特に手作りのプレゼントの割合が全国で最も高かった。

地域ごとに見る、プレゼントの購入場所の違い 回答数 1637 ※複数回答

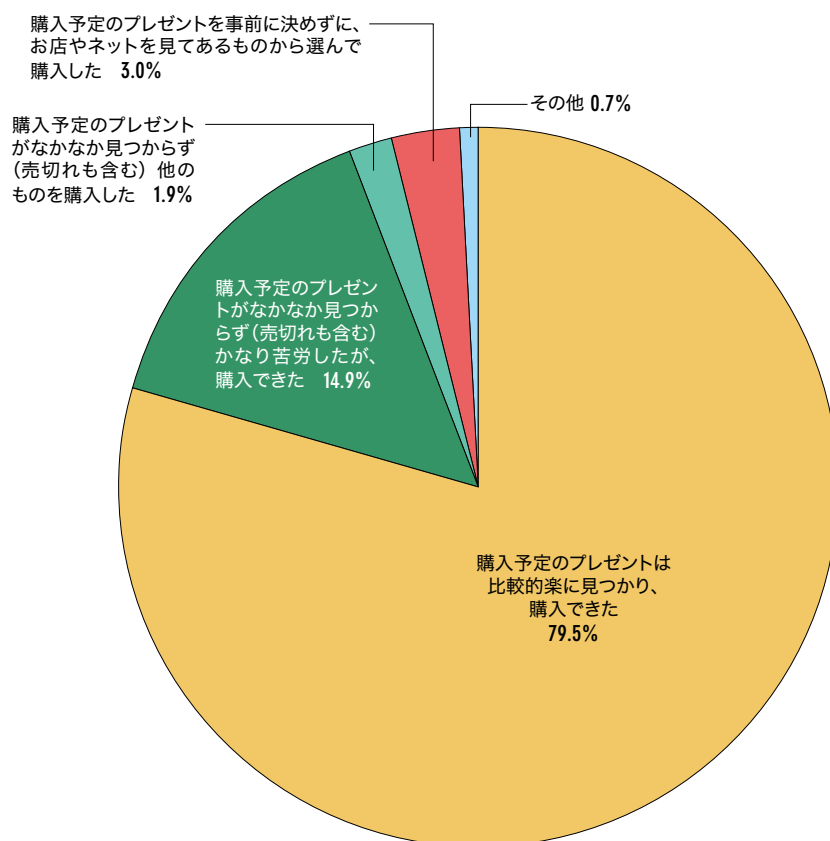


プレゼントの購入場所にも県民性が影響するのだろうか。北海道では専門店・ネットショッピング・百貨店の三択、四国地方では専門店とネットショッピングの二択であることからおもちゃを購入できる場所の地域格差もあるのかもしれない。

3%は何を買うか決めずに、 お店やネットで見てからその場で決めている

約8割の親がプレゼントの購入は「比較的楽に見つかり購入できた」と答えたのに対し、14.9%の親が「苦労したが購入できた」と回答した。一方で目当てのものが見つからずやむなく他のものを購入した親は全体の1.9%であった。本設問では、全体の3%は「プレゼントの内容を決めずに店頭やネットショッピングを見てプレゼントを選ぶ」という興味深い結果となった。

クリスマスプレゼントを見つけて購入するのに苦労しましたか？ 回答数 1634



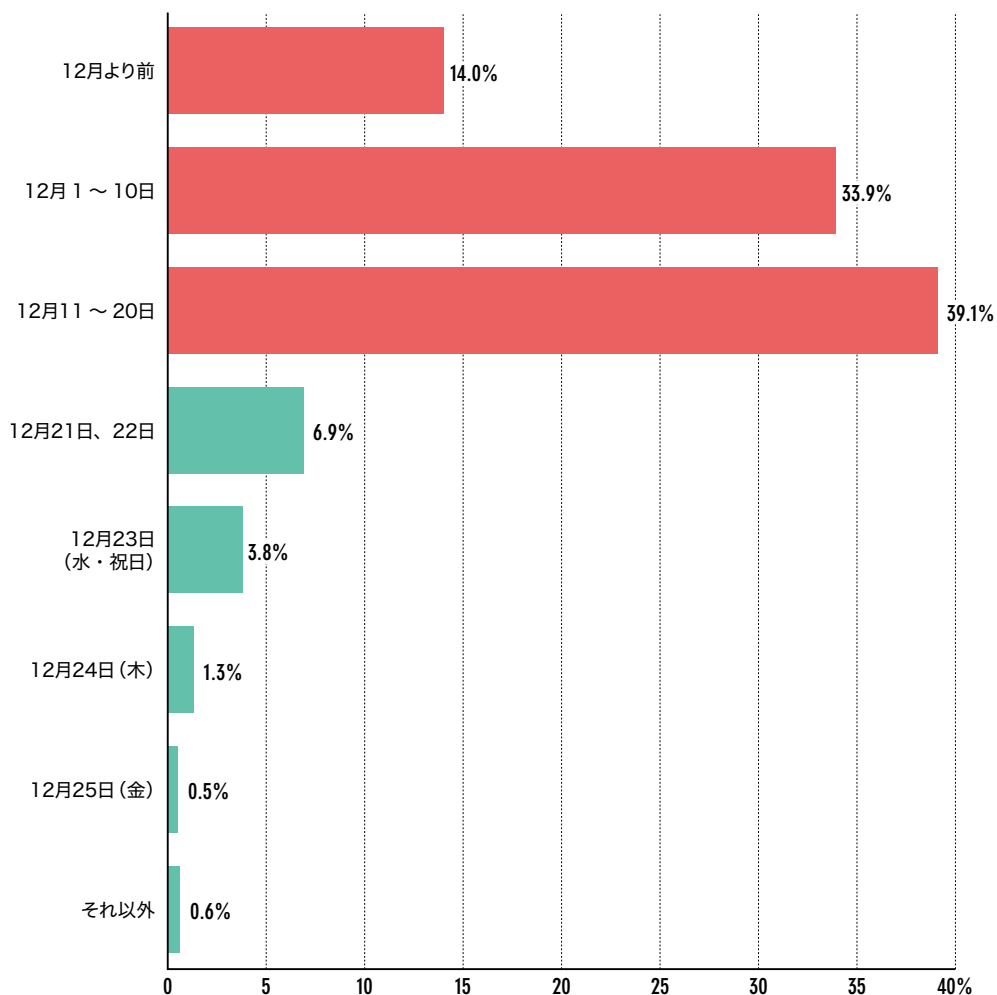
多くの保護者は無事に子どものリクエスト通りのプレゼントを入手できていることがうかがえる。また、店頭やネットショッピングを見てプレゼントを選ぶ保護者も一定数いることが分かり流行やクリスマス特集によって決めている可能性もある。

プレゼントの購入時期は12月が最多、 8割が12月20日までに購入を完了

調査の結果、プレゼントの購入は12月の11日～20日までに購入すると回答した親が39.1%、12月1日～10日までに購入すると回答した親が33.9%という結果となった。これにより、73%の親御さんが12月に入ってから、クリスマスの3～4日前までに購入を済ませていることが読み取れる。また、12月より前に準備する14%の層を加えると、実に87%の親が12月20日までにクリスマスプレゼントの準備を終えていることになる。12月24、25日の2日間に買う親は1.8%であった。

2015年、サンタクロースからのプレゼントはいつ購入しましたか？

また、手作りの方はいつ作り（完成させ）ましたか？ 回答数 1637

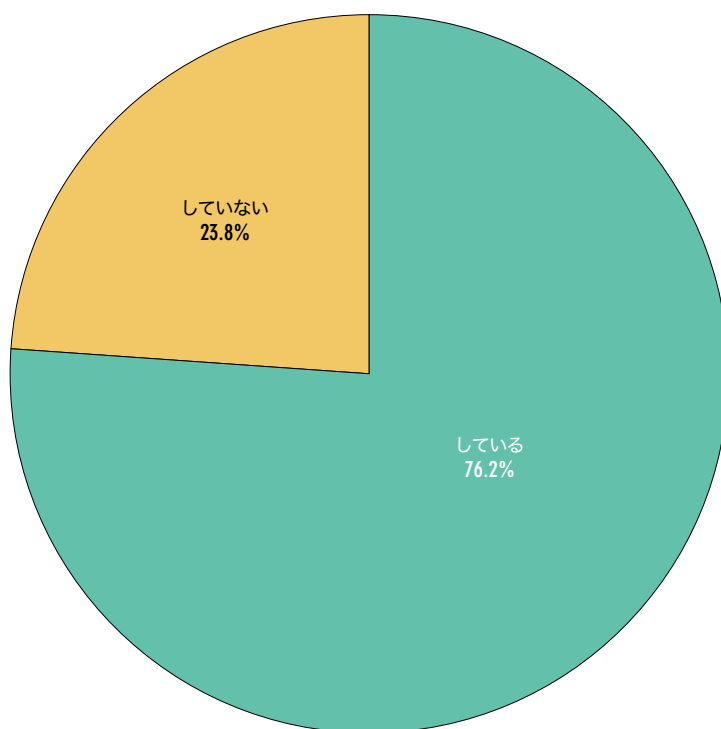


76.2%の人がサンタクロースを 子どもの躰（しつけ）に活用している

「良い子にしていないとサンタさんは来ないよ」など、サンタクロースを子どものしつけに利用する親は全体の76.2%であった。その効果をたずねてみると、全体の44%の子どもはイブの1ヶ月前頃からサンタを意識してよい子になるとの結果となった。また、クリスマス後の効果については、「クリスマス直後まで」との回答が全体の46.0%を占め、そのしつけ効果についてはクリスマス前1ヶ月～直後までが最も効果が高いと言える。

サンタクロースを躰（しつけ）や約束に使っていますか？

(例) 良い子にしていないとサンタさんは来ないよ。 回答数 1507



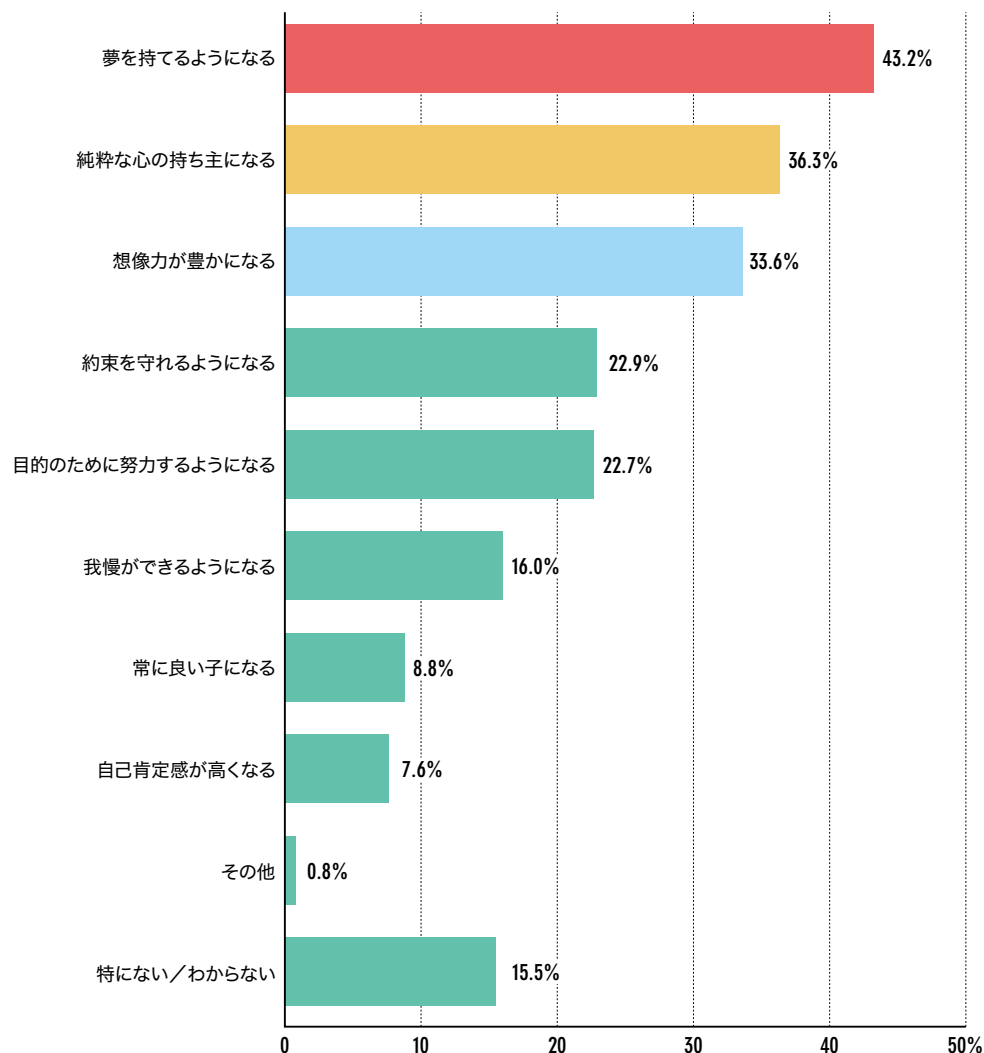
しかし、サンタクロースによる躰（しつけ）効果はなくともサンタクロースの存在を子どもをが信じている（親が積極的にバラさない）のには別の効果があるからとも考えられる。

親がサンタを信じさせる理由は 「夢」「純粋な心」「想像力」を育むため

サンタを信じることによる効果は、「夢を持てるようになる」が1位で43.2%、「純粋な心の持ち主になる」が2位で36.3%、「想像力が豊かになる」が3位で33.6%であった。

サンタクロースが来ることは、あなたのお子さんにどのような影響があると思いますか？

回答数 2062 ※複数回答



この後に4位の「約束を守れるようになる」が22.9%で続く。76.2%の親がサンタクロースの存在を「○○じゃないとサンタさんが来ない」と躰（しつけ）に活用しているが、それはあくまで副次的な活用であり、本来の目的は情操教育であることが伺える。親から子に代々伝わる、世界一有名で世界一優しい嘘である。



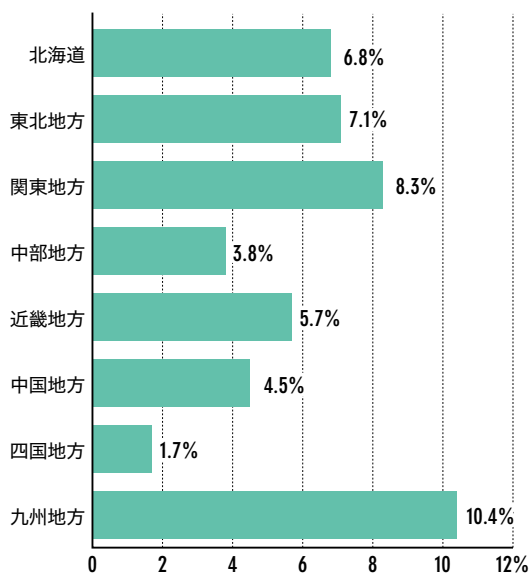
サンタさんのクッキーとミルク

プレゼントを届けに来たサンタさんに、お礼の気持ちを込めてクッキーとミルクを用意しておく。海外（特に欧米）においてメジャーなこの風習が、少しずつ日本でも広まりつつあるようだ。P17 で示されたデータによると、クリスマスの準備として「サンタやトナカイのためのクッキーとミルクを用意した」という家庭が **6.7%** いることがわかった。

「クッキーとミルク」を準備する割合は、地域ごとに違う

更に詳細な分析により、クッキーとミルクを準備するのは地域によってかなり差があることが判明した。九州が10.8%、関東が8.3%と高く、四国は1.7%と低い結果となった。クッキーとミルクを準備する風習の認知度が地域ごとに異なっているのだろう。

「ミルクとクッキー」準備の地域差



そもそも何故「クッキーとミルク」?

クッキーとミルクはサンタクロースの大好物であるらしい。元々は北欧の伝統料理である「ミルクがゆ」をクリスマス時期に森の妖精に捧げる風習から来ているそうだ。国によってはミルクではなく「お酒」という地域もある。（※諸説あります。）

クリスマスの演出も多種多様に

クリスマスイブの夜に、ベッドに入る前の子どもがいそいそとクッキーとミルクを準備している。「サンタさんも沢山おうちを回って大変だから」「お腹空いてるかもしれないから」という純粋な想いやりの気持ちに、親達も懸命に応えようとしているようだ。クッキーを一口かじって、わざと食べこぼしを作ってみたり、ミルクを少しだけ残しておいたり、「Thank you!」と走り書きしてみたり…。

翌朝の子ども達の喜ぶ姿を想像しながら沢山の「仕掛け」を準備する。この時ばかりはむしろ大人の方が楽しんでいるのかもしれない。

そしてきっと今年のクリスマスの朝も子ども達はこう叫ぶのだ。

「ほらね! サンタさんが来たんだ! やっぱりサンタクロースはいるんだよ!」



第 3 章

経済状況にみる クリスマス格差

(1) 年収比較編



クリスマスは、 みんなが幸せな日なのか？

チャリティーサンタでは、2008年から活動を開始し、これまで1万人以上の子どもたちにプレゼントと特別な思い出を届けてきた。(詳しくは4章参照)

そんな中、2015年にはじめて SNS サービス mixi を通した独自調査を行った所、日本全国の母親たちから切実な声が続々と集まった。生の声の一部は、編集することなく本ページにて紹介する。

経済的な厳しさはもちろん、家族の健康上の課題、ひとり親家庭では時間的な制限も多いこと等、様々な背景が想像される。そして間違いなくクリスマスにも辛い状況にいる子どもや親がいる。その事実気づき向き合おう中で、2016年、本サンタ白書発行への動きにつながっていく。

今は生活が少し苦しく娘に
沢山我慢させているので、
娘に楽しい思い出を残し
てあげたい。

新潟県 4歳の子どもの母親

2年前に夫が事故で亡くなりま
した。それから私は毎日フルで
働き、子どもたちにはとても寂し
い思いをさせています。

そんな子どもたちに、クリスマ
スに特別な思い出を作っておげ
たいです。宜しくお願いします。

青森県 6歳と4歳の子どもの母親

母1人、子1人で暮らしています。
経済的にゆとりはありません。
子どもが夏休みでも冬休みでも、
私は仕事です。

不登校児なので、子どもは毎日1
人で家で留守番です。友達も知
り合いもいません。子どもはサン
タクロースを信じていて、思い出
になるプレゼントをお願いしたい
と思い、希望させて頂きました。

宮城県 10歳の子どもの母親

母子家庭で仕事もしていて
正直子どもと過ごす時間も
一般家庭よりは短いです。

お金面でも余裕がなく長期
休みも旅行などには連れて
行ってあげられなく、思い出
が作ってあげられません。

なので、サンタクロースがき
たとなると、何よりの思い出
になると思うのです。

愛知県 7歳と8歳の子どもの母親

私が子どもの頃は家は貧乏でクリ
スマスなんてなかったのでサンタが
いるという認識もなかったのです。
私は母子家庭で「サンタさんが来る
のは10歳までなんよ。」と教えこん
でしまいました。

毎年、クッキーと牛乳を用意して
眠っていた子どもにサンタさんがい
る!とずっと信じて欲しいです。

そして未来の自分の子どものため
に、信じる心を持って欲しいと
思ってお応募しました。

福岡県 3人の子どもの母親

最近、私の情緒が不安定で
きつく当たってしまったり、た
くさんおこってしまったりして
いるので、

一緒に心から笑いたいです。
兵庫県 4歳と2歳の子どもの母親

サンタ白書で明らかにする クリスマスの厳しい実態。

3章では、家庭間での経済格差や親の意識の違いにより、こういった差異が生まれるのか。一方で、差異が生まれない点は何なのか。これらを明らかにしていくことで、実態を明らかにしていく。

私の自分勝手に未婚で子どもを産み息子を授かり6年になります。生活していくために子どもと過ごす時間も余りなく、また周りの子ども達が持つおもちゃやおやつも満足に買ってあげる事も出来ず、でもワガママも言わず『お仕事頑張っただけ。』『いつも働いてくれてありがとう。』と毎日言ってくれるわんぱくで、でもすごく優しい息子にサンタさんと思いが作れたらいいなと思ひ応募させていただきました。どうぞよろしくお願いします。

大阪府 6歳の子どもの母親

母子家庭で、普段たくさん子どもたちには苦勞や寂しい思いをさせているので…
なにか楽しい思い出作りをさせてやりたいです。

茨城県 13歳と15歳の子どもの母親

昨年離婚して母1人子1人で暮らしています。息子には自閉症という障害があるので無理はさせられずパートで生計を立てていますが、ゆっくり時間を取れず寂しい思いをさせてしまっています。子どもも感じ取っているのかあまりワガママを言わないです。そんな息子の笑顔を見たくて応募しました。

神奈川県 2歳の子どもの母親

生活面で苦しくおもちゃなど余り買ってあげれないのでサンタさんからプレゼントが来たら子どもが喜ぶと思ひまして応募しました。

神奈川県 1歳の子どもの母親

上の子が生まれつき先天性の心疾患があり通院入院などで下の子には寂しい思いをさせています。上の子どもが大きくなるにつれて自分が病院でされていることなど理解し始め母として不意に言葉がつまりなんと説明したらいいのか、励ませばいいのかわからなくなるときもあります。そんななかクリスマスにサンタさんが来ていただければきっとすごい思い出になるのではないかと、そんな思いで応募させていただきました。よろしくお願いします。

神奈川県 2歳と0歳の子どもの母親

今年離婚をしました。子ども達に父親がいない寂しい生活をさせてしまったので、今年のクリスマスにサンタさんがうちに来てくれると子ども達が喜ぶと思ひ応募しました。

愛知県 5歳と2歳の子どもの母親

素敵なプレゼントを用意してあげたいけど、主人が働いておらず、私もパートのみなのでほとんど収入がありません。

住んでいるところも主人の実家横の小屋で、主人の実家も床が抜けるくらいボロいです。

こんな惨めな暮らしをしていますが、クリスマスくらいは子どもを喜ばせてあげたい…

サンタさんからプレゼントをもらえたり、お手紙をもらえたら本当に嬉しいと思ひました。

どうかご縁がございましたように。

熊本県 1歳の子どもの母親



子どものサンタクロースを信じる・信じないは親の価値観の影響を大きく受ける。

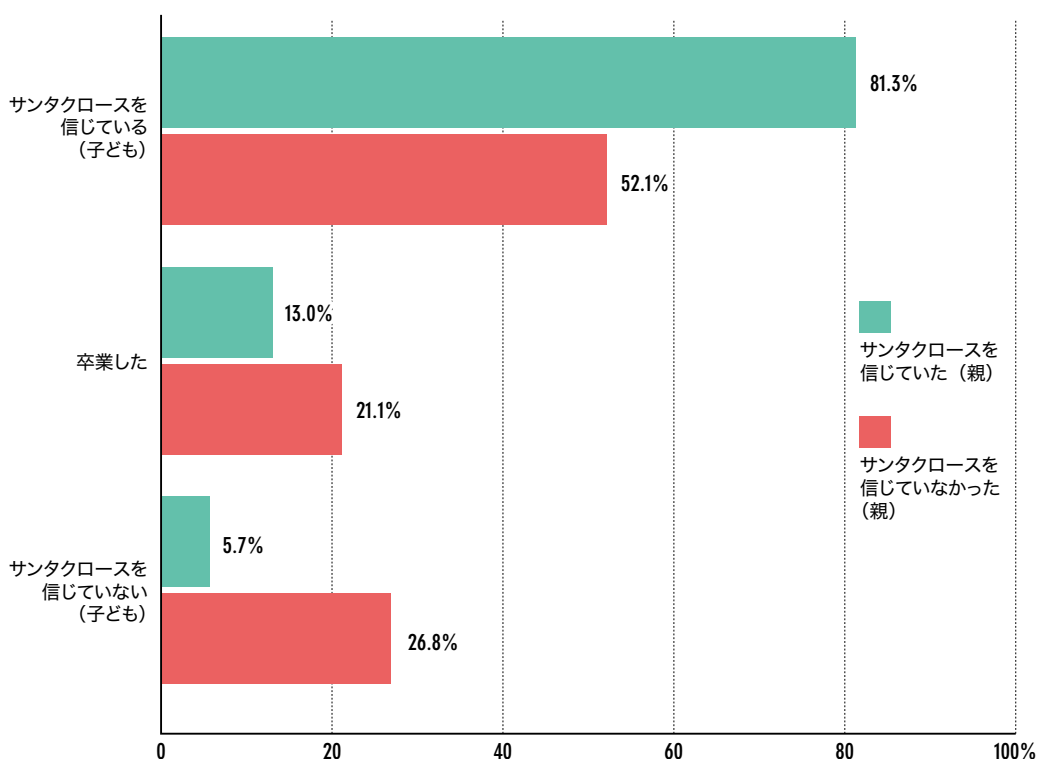
「子どもの頃、サンタクロースの存在を信じていましたか？」という問いに対し「信じていた」と回答した親の子どもは81.3%がサンタクロースの存在を信じており、信じていない子どもはわずか5.7%であった。一方、「信じていなかった」と回答した親の子どもはサンタクロースの存在を信じている割合が52.1%に減少し、信じていない子どもの割合が26.8%に増加している。

このことから親のサンタクロースの存在を信じる・信じないという価値観が子どもの価値観へ強く影響を与えていることがわかる。もしかすると、サンタクロースという「子どもにとっては夢を信じられる対象」に対する価値観も親子に受け継がれるのかもしれない。

あなたは子どもの頃、サンタクロースの存在を信じていましたか？ 回答数 2062

×

あなたのお子さんはサンタクロースの存在を信じていますか？ 回答数 2062



子どもがサンタクロースを信じている年齢も親の価値観の影響を受ける。

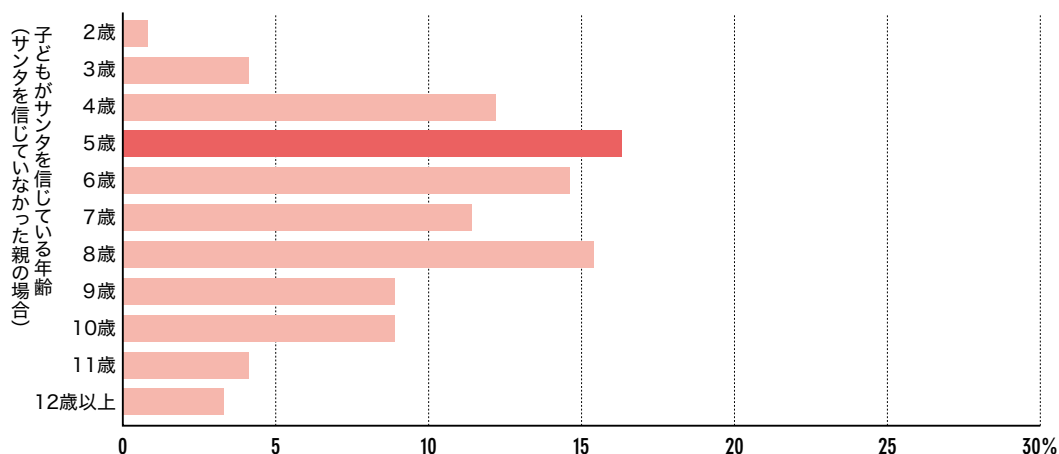
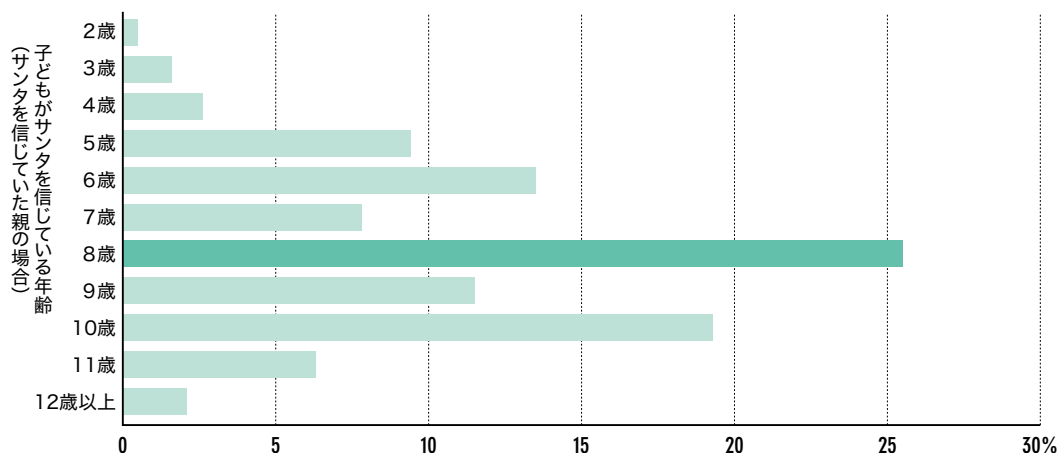
下記2つのグラフで比較すると、最も多かった年齢で見ると「サンタクロースを信じていた親の場合は8歳」「サンタクロースを信じていなかった親の場合は5歳」となる。

一方で、12歳以上まで信じている層を比較すると「サンタクロースを信じていなかった親」のほうが高くなっていることがわかる。親自身が信じられなかったからこそ、逆に子どもには信じてもらいたいという親も一定数存在しているのかもしれない。

あなたは子どもの頃、サンタクロースの存在を信じていましたか？ 回答数 2062

×

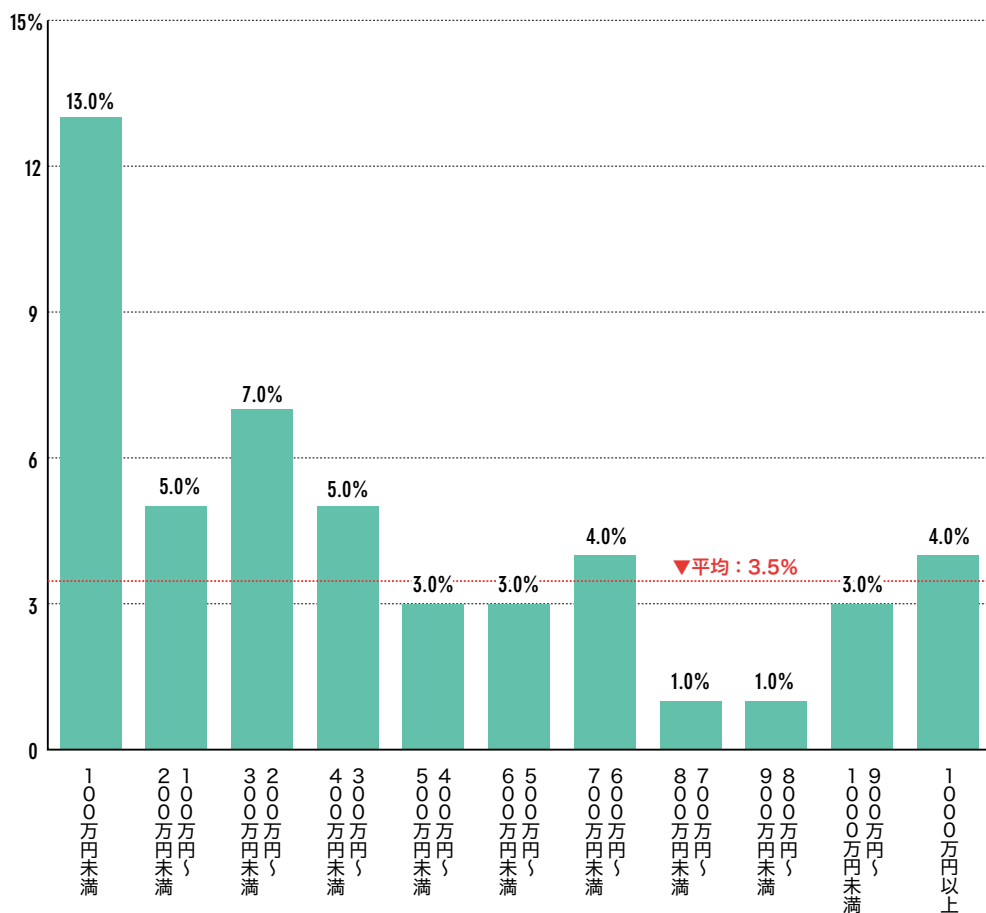
あなたのお子さんは何歳までサンタクロースの存在を信じていましたか？ 回答数 315



「クリスマスに何も準備をしていない」のは全体の3.5%。 世帯年収が低い家庭になるほどこの割合は上がっていく。

第2章 (P.17)のグラフから、クリスマスに何もしない家庭は全体の3.5%存在することがわかった。この3.5%の家庭について世帯年収別に見てみると、世帯年収400万円未満ではクリスマスに何もしない家庭が世帯年収400万円以上の家庭に比べて多い。特に世帯年収100万円未満の家庭ではその13%が何も準備をしないことから、経済的な事情からクリスマスを楽しむことができない様子がうかがえる。

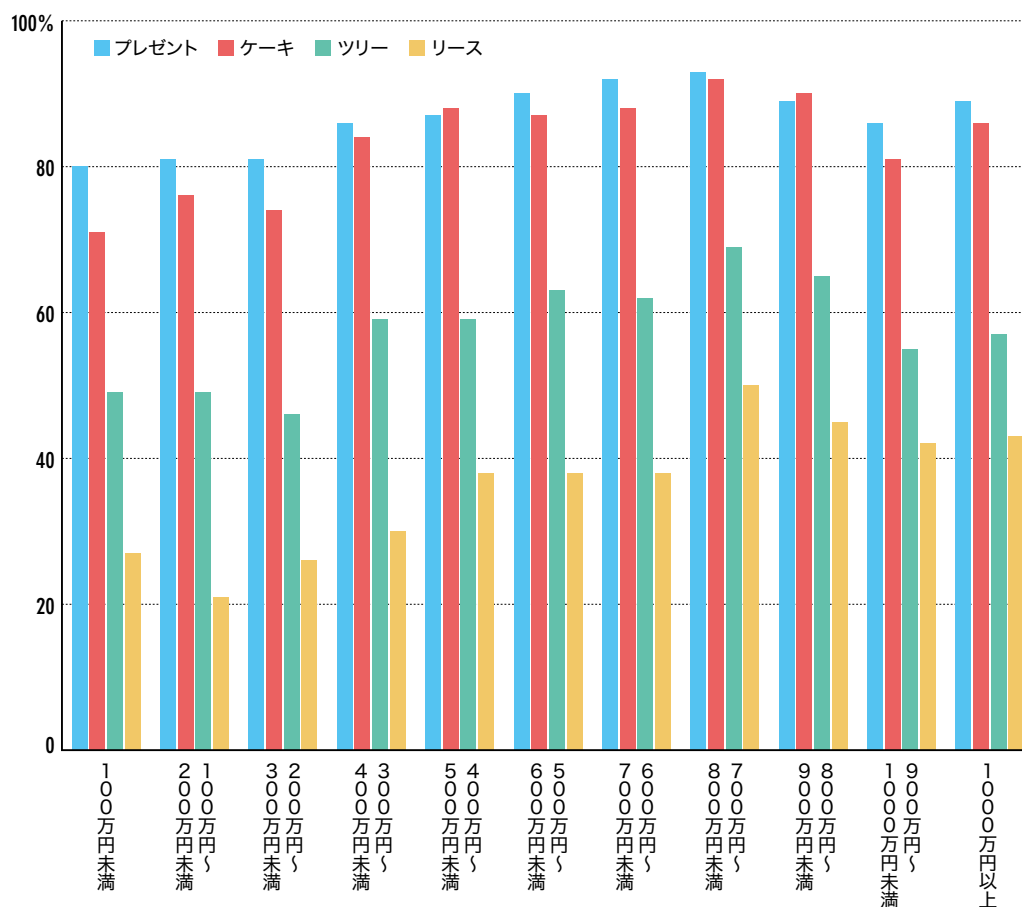
昨年(2015年)は、どのようなクリスマスの準備をしましたか？で
「何もしない」と回答した家庭の世帯年収別の割合



クリスマスの定番アイテム（プレゼント、ケーキ、ツリー）も世帯収入の低い家庭になるほど準備されにくい傾向。

どのようなクリスマスの準備をしましたか？という選択肢の中で、定番アイテムを年収別に比較したところ、プレゼント、ケーキ、ツリー、リースなどに収入との相関関係があることが見て取れる。前設問の「何も準備していない割合」と同様のことが言えるため、やはり収入とクリスマスの準備には相関があると考えられる。

昨年(2015年)は、どのようなクリスマスの準備をしましたか？で「プレゼント」「ケーキ」「ツリー」「リース」と回答した家庭の世帯年収別の割合



しかしながら、どの項目もピークは700～800万円となっている。これは、夫婦共働き世帯の割合に影響しているのではないかと推測する。共働きになることでそういった準備をする時間的な余裕がなくなるのではないだろうか。世帯年収が上がるほど共働き世帯の割合が増えることで、このようになっているのではないかと推測する。

子どもがサンタクロースを信じていない理由から見えてくる、経済格差。

「あなたのお子さんがサンタクロースを信じていない（教えていない）理由は何ですか？（n=240）」の回答については、最も多いのは「特に理由はない：37.1%」。次いで「教えていないから：17.5%」「自分自身も信じていなかった（親から教えられなかった）から：11.3%」「夢よりも現実が大切だから：10.8%」「教えたけど、理解できていないから：10%」ここまでが10%以上の回答となる。

気になるのは「自分自身も信じていなかった（親から教えられなかった）から：11.3%」これはまさにP.40の内容と一致する。また、「夢よりも現実が大切だから：10.8%」については、年収が高い層の意見ということが見て取れる。

一方、少数ではあるが「経済的に困難なのでサンタクロースは来ないことにしているから：4.6%」については、明らかに年収の低い層の事情というものわかる。「日々忙しく、クリスマスを楽しむ余裕がないから：4.6%」についても、年収が低い層に寄っている傾向がありながら、共働世帯が多いと推測される800万円以上の家庭も平均値より高くなっているのは気になるところだ。全体回答数が240と少ないため、一部数値は歯抜けのようになっているが、全体の傾向としては納得感がある傾向が出ていると感じられる。

あなたのお子さんがサンタクロースを信じていない（教えていない）理由は何ですか？ への全体回答結果と家庭の世帯年収別の割合

※複数回答

	n	「特に理由はない」	「その他」	「教えたけど、理解できていないから」	「サンタクロースを教えていないから」	「宗教的な理由により」	「経済的に困難なのでサンタクロースは来ないことにしているから」	「後々いると面倒そうだから」	「夢よりも現実が大切だから」	「現実が大切だから」	「日々忙しく、クリスマスを楽しむ余裕がないから」	「家ではクリスマスをしていないから」	「自分自身も信じていなかった（親から教えられなかった）から」
全体	240	37.1%	1.3%	10.0%	17.5%	3.8%	4.6%	8.8%	10.8%	4.6%	4.6%	4.2%	11.3%
あなたの世帯年収をお答えください	100万円未満	8	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	100万円～150万円未満	9	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	150万円～200万円未満	10	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	200万円～250万円未満	17	0.0%	0.0%	10.0%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	11.8%	5.9%	17.6%
	250万円～300万円未満	19	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%	10.5%	5.3%	10.5%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%
	300万円～400万円未満	30	0.0%	0.0%	3.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.3%	6.7%	13.3%
	400万円～500万円未満	24	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	25.0%	4.2%	4.2%	4.2%
	500万円～600万円未満	28	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	7.1%
	600万円～700万円未満	27	3.7%	3.7%	0.0%	14.8%	3.7%	7.4%	3.7%	11.1%	22.2%	3.7%	3.7%
	700万円～800万円未満	7	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%
800万円～900万円未満	18	16.7%	0.0%	5.6%	22.2%	16.7%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	16.7%	
900万円～1,000万円未満	20	15.0%	0.0%	5.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	25.0%	5.0%	20.0%	
1,000万円以上	23	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	8.7%	13.0%	

全体平均よりも高い数値は赤字で表示し、特に高い1～3箇所には背景色を付けて表示した。

世帯年収が低い家庭では、 サンタクロースが来る効果があると期待されている。

「サンタクロースが来ることは、あなたのお子さんにどのような影響があると思いますか？」という問を年収別に各項目を比較してみた。

そこで見えてくるのは、高所得になると色々な思い出のひとつとなるからか、「自己肯定感」や「良い子になる」といった項目が高くなるのは興味深い。それ以外の項目については、平均と同等の数値となった。

一方で、世帯年収150万円未満の家庭では、自己肯定感以外の様々なこと（項目）に対して影響があると思われる。背景色がついた特に高い部分が150万円未満に集中していることがわかる。

サンタクロースが来ることは、あなたのお子さんにどのような影響があると思いますか？

への全体回答結果と家庭の世帯年収別の割合

※複数回答

	n	夢を持てるようになる	純粋な心の持ち主になる	想像力が豊かになる	努力するようになる	目的のために努力するようになる	約束を守るようになる	我慢ができるようになる	常が良い子になる	自己肯定感が高くなる※	その他	特にない／わからない
全体	2062	43.2%	35.7%	33.3%	22.5%	22.5%	15.8%	8.7%	7.5%	0.9%	15.8%	
あなたの世帯年収をお答えください	100万円未満	45	46.7%	44.0%	37.8%	35.6%	20.0%	17.8%	13.3%	6.7%	0.0%	22.2%
	100万円～150万円未満	54	35.2%	24.1%	24.1%	22.2%	27.8%	20.4%	14.8%	5.6%	1.9%	22.2%
	150万円～200万円未満	74	44.6%	35.1%	29.7%	17.6%	18.9%	9.5%	5.4%	2.7%	1.4%	12.2%
	200万円～250万円未満	83	41.0%	32.5%	22.9%	19.3%	22.9%	13.3%	4.8%	3.6%	0.0%	19.3%
	250万円～300万円未満	155	48.4%	32.3%	34.2%	21.3%	20.0%	16.1%	7.1%	5.2%	0.6%	17.4%
	300万円～400万円未満	276	38.4%	34.8%	33.3%	19.9%	23.2%	14.1%	10.9%	6.2%	1.1%	17.8%
	400万円～500万円未満	277	45.8%	41.9%	36.5%	23.8%	26.0%	15.2%	8.3%	7.2%	0.7%	14.4%
	500万円～600万円未満	276	42.4%	35.5%	33.7%	23.6%	20.3%	18.1%	6.2%	6.2%	0.0%	15.9%
	600万円～700万円未満	277	47.7%	37.5%	32.5%	24.2%	20.2%	16.2%	8.7%	8.3%	1.4%	14.1%
	700万円～800万円未満	140	42.9%	35.0%	32.1%	22.9%	27.1%	19.3%	10.0%	9.3%	0.0%	11.4%
	800万円～900万円未満	139	43.9%	37.4%	37.4%	25.2%	25.2%	16.5%	8.6%	8.6%	2.2%	15.1%
900万円～1,000万円未満	128	36.7%	28.9%	33.6%	19.5%	16.4%	14.8%	5.5%	10.9%	0.8%	18.0%	
1,000万円以上	138	42.0%	35.5%	34.1%	21.0%	24.6%	13.8%	13.8%	14.5%	1.4%	13.8%	

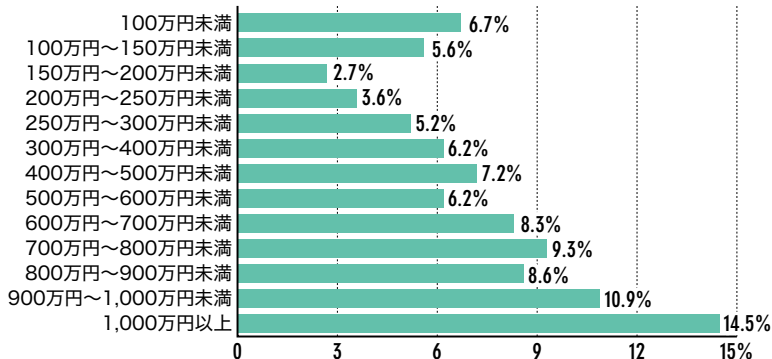
全体平均よりも高い数値は赤字で表示し、特に高い1～3箇所には背景色を付けて表示した。

※回答「自己肯定感が高くなる」を抜粋したグラフ

回答数 2062

自己肯定感というキーワード（テーマ）に対しては「年収が高い親ほど意識している」ということが影響しているかもしれない。

また、様々なことに対して影響があると回答していた低収入家庭については「影響がある＝影響を期待する」という親の願望が数値に現れているという側面もあるのかもしれない。



今後の課題と方向性 ～実際のエピソードより～

3章においては、主に経済状況や親の意識の違いによって、どのような差異がでるのかについて記載してきた。

主には「クリスマスへの準備」「サンタクロースの卒業年齢」「信じさせない理由」などに差異が出た。

ここでひとつのエピソードを紹介したい。これはサンタ白書を作成するにあたってヒアリングを重ねていた際に聞いた実際にあった話である。今から15年ほど前、宅配ピザチェーン店で大学生（当時）としてアルバイトしていたAさんから聞いたエピソードである。

「私もサンタクロースの格好をしてピザの配達をしていたのですが、毎年12月24日に注文をする家族がいました。子どもは3人とお母さん。ピザチェーンでは、電話番号などですぐに過去の注文情報がわかるため、1年前も2年前も12月24日に注文されていることがわかりました。でもそれだけでは数多くいらっしゃるお客さんの中で私の印象に残るわけではありません。ただ、その家庭は毎年「Sサイズのピザを1枚だけ」注文されていました。食べ盛りの子どもたちが1枚で足りないことはわかりましたが、勝手にサイズアップをしたりはできません。でも、アルバイト仲間たちに話をして、とびっきりたっぷりトッピングをして、（通常は1枚で1つだけど）人数分のドリンクを箱に詰めて、届けに行きました。こんなことを言うのもどうかと思いますが、やはり生活が厳しそうなお宅でしたが、本当に子どもたちが楽しみに待っていることがわかったので、今でも鮮明に覚えています。」

今後の課題としては、数値のデータで現れないこういった家庭の状況を把握すること。この家庭の場合、白書のデータでは、クリスマスの準備もして、きっと頑張ってプレゼントも準備している。母親は、子どもたちへサンタクロースを信じさせようと頑張っているはずだ。

データの数値では現れないこんな家庭の状況を把握すること。そして、そんな家庭の子どもたちへが必要としている何かを届けること。

今後も、サンタ白書は毎年発刊していくことを計画しているため、来年以降はそういった個別のケースの事情をよりリサーチすることに力を入れていくことも検討していく。



経済格差があっても、 影響がなかったプレゼント購入金額

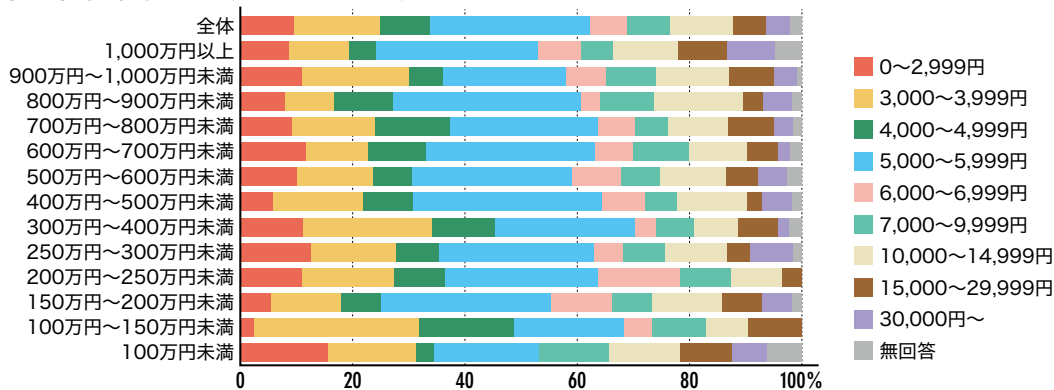
当初の仮説では「世帯年収で比較するとプレゼントの購入額に差異がでるのではないか」と想定していたが、実際は明らかな差異はみられなかった。(図1)。

が過半数を超えている。クリスマスやサンタクロースというものが、子育て家庭においてそれだけ大切にされていることの裏返しといえるのではないだろうか。

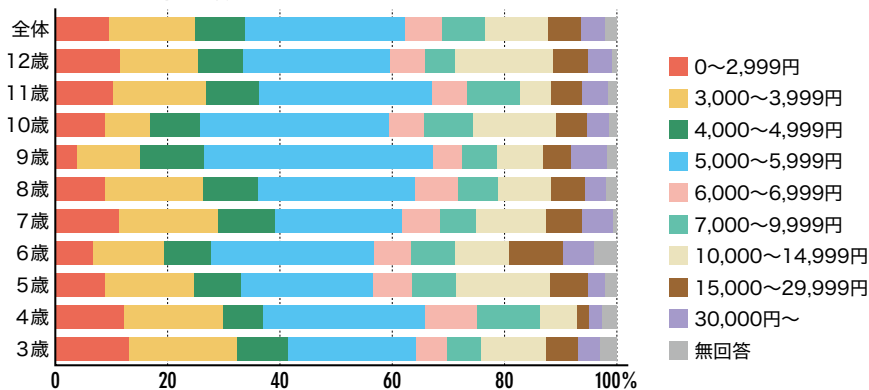
その理由は、親としてクリスマスプレゼントは子どもの欲しいものを買う割合が高く、金額には大きな影響が出づらかったからだと考えられる。「クリスマスプレゼントは子どもが欲しいものをあげている :53.3%」との回答

また同様に「年齢によってプレゼント購入額は変化するのではないか」と想定していたが、こちらも特に年齢によって購入額が高かったり低かったりすることはないようだ(図2)。

(図1) 世帯年収別で見たプレゼント購入額の違い



(図2) 年齢別で見たプレゼント購入額の違い



データ外からの情報だが、シングルマザーなどからは「普段子どものためにできていないからこそ、象徴的なクリスマスだけは大切にしている」という声も聞こえている。データ内外のことを総合的に考えた時、それだけ大切なクリスマスだからこそ「誰もが愛を受け取れる日」にしていきたいと改めて思われる結果となった。

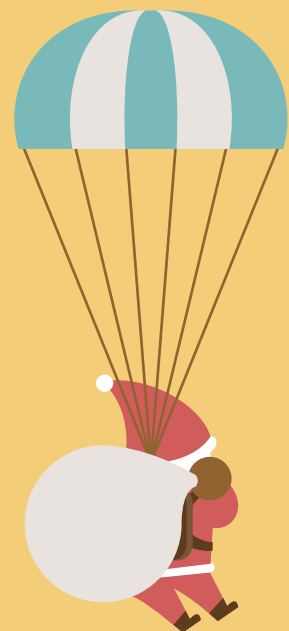


第 3 章

経済状況にみる クリスマス格差

(2) 母子家庭編

3章(2)に掲載するデータについては、他章とは調査対象が異なり「第一子が3~12歳のシングルマザー (n=103)」にアンケート調査を行っています。(詳細は P.6 に記載)



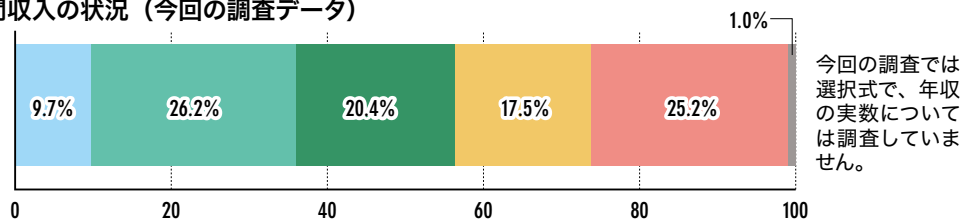
3章 (2) 母子家庭編に掲載するデータの整合性について

3章(2)では、2016年に行った調査では明らかにできなかった仮説を検証するため、2017年にシングルマザーを対象に追加調査を行っている。

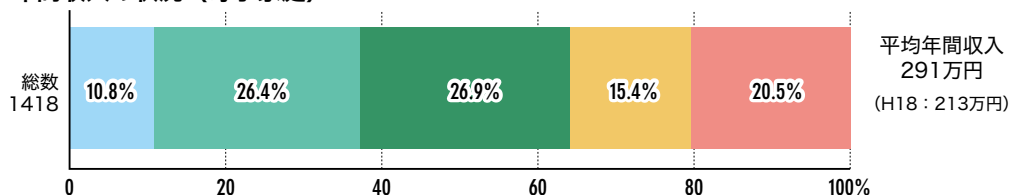
対象については、NPO法人しんぐるまざあずふぉーらむの会員（有効回答数103名）としている。年収別の傾向分析も目的としているため、年収階層毎にサンプリングを行っている。

なお、回答者の年収は300万未満が56.3%であり、日本全体での母子家庭の300万未満が64.1%と近いことから、調査対象としては適切であると考えている。参考に父子家庭の年収データも掲載する。（※出典：厚生労働省 平成23年度 全国母子世帯等調査）

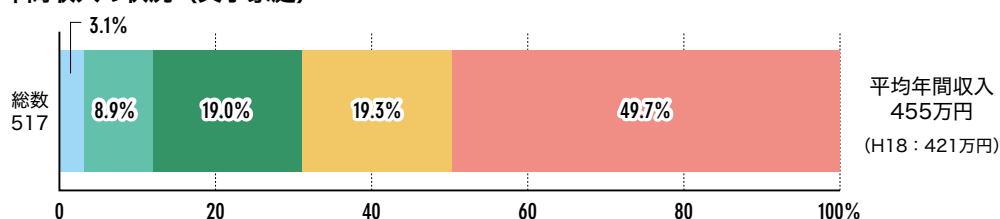
年間収入の状況（今回の調査データ）



年間収入の状況（母子家庭）



年間収入の状況（父子家庭）



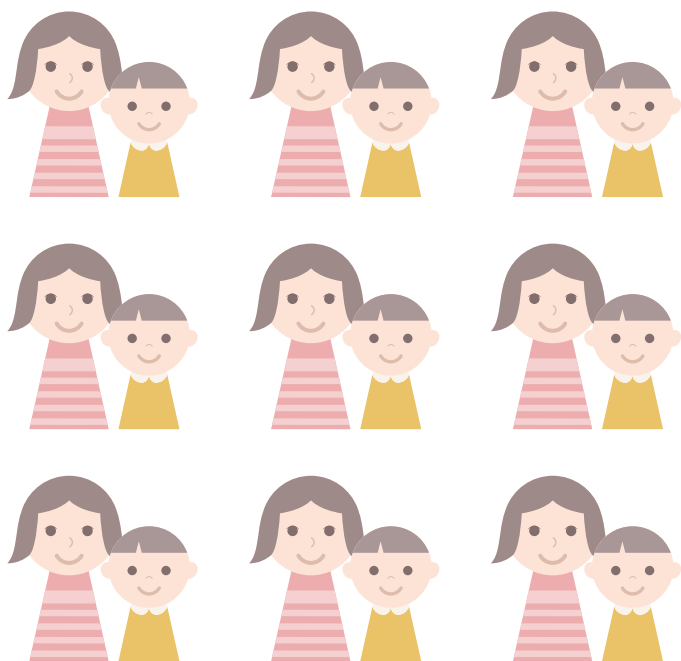
■ 100万円未満 ■ 100～200万円未満 ■ 200～300万円未満
■ 300～400万円未満 ■ 400万円以上 ■ 答えたくない

母子家庭の10家庭に1軒は 「うちにはサンタクロースは来ない」としている

あなたは、子どもに対して「うちにはサンタクロースは来ない (=プレゼントがない)」としたことがありますか? という設問に対して「ある」と回答したのは9.7%であり、約1割の家庭が「うちにはサンタクロースは来ない」と子どもに伝えていることがわかった。

実際に「ある」とした方の理由は、以下のような回答であった。

「お金掛かるから」「余裕がない」「貧乏だから」「金銭的に難しかった」「プレゼントを用意する余裕がなかった」「仕事が死ぬほど忙しく、離婚調停もしていて、気付けばクリスマスが過ぎていた年があった」



10家庭に
1家庭で

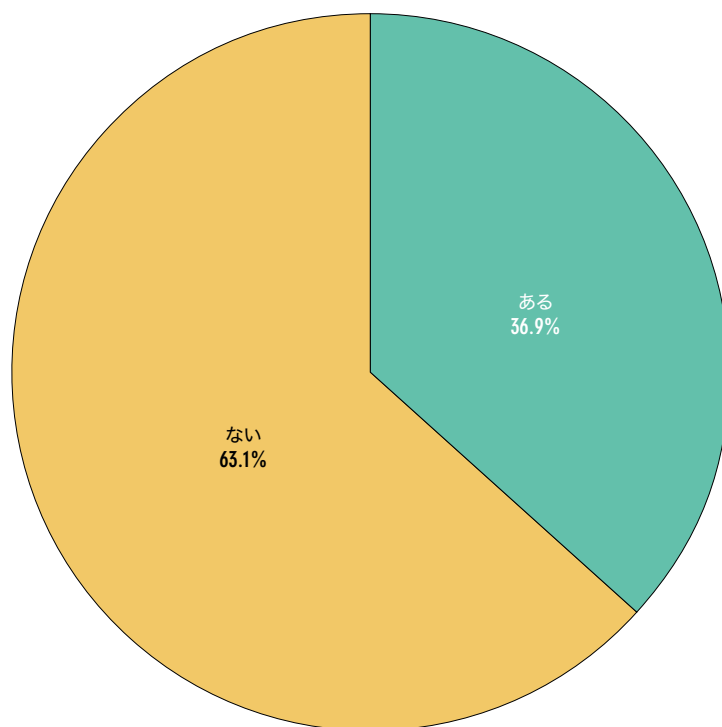
うちには
サンタさんは
来ないよ



シングルマザー、3人に1人が「クリスマスなんて来ないで欲しい」と思ったことがある。

「クリスマスなんてなくてもいい、来ないでほしいと思ったことがありますか？」という設問に対して「ある」と回答したのは36.9%で、シングルマザーの3人に1人が「思ったことがある」という結果となった。その理由については「お金がかかる」「時間がかかる（余裕がない）」「母子2人きりでさみしいから」といった回答が特に目立った。他にも「離婚前に何かしらの嫌な思い出やトラウマがある」という回答も少数だが見られた。

クリスマスなんてなくてもいい、来ないでほしいと思ったことがありますか？ 回答数 103



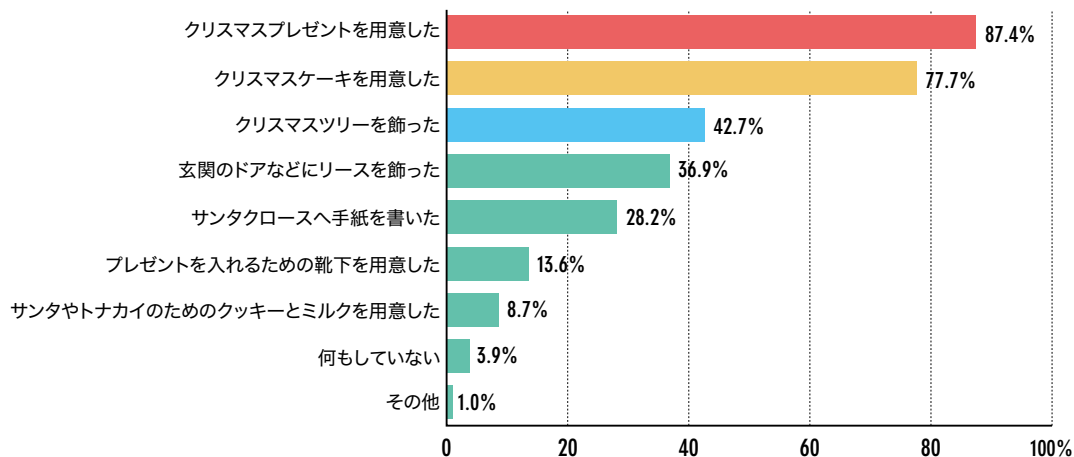
母子家庭でもクリスマスは最重要イベントだが、 「ケーキを準備しない」「ツリーを飾らない」家庭が増える。

クリスマスに準備したアイテムについては、広く一般家庭では、1位はクリスマスプレゼントで87.8%、2位はクリスマスケーキで85.4%、3位はクリスマスツリーで59.4%となっている（P.17 参照）。それに対して、母子家庭では順位は変わらず、1位はクリスマスプレゼントで87.3%（-0.5%）、2位はクリスマスケーキで77.6%（-7.8%）、3位はクリスマスツリーで42.7%（-16.7%）となる。注目したいのはツリーで、他のどの項目よりも大幅に減少する。

◎ 母子家庭設問：有効回答数 103件

2016年は、どのようなクリスマスの準備をしましたか？

※複数回答

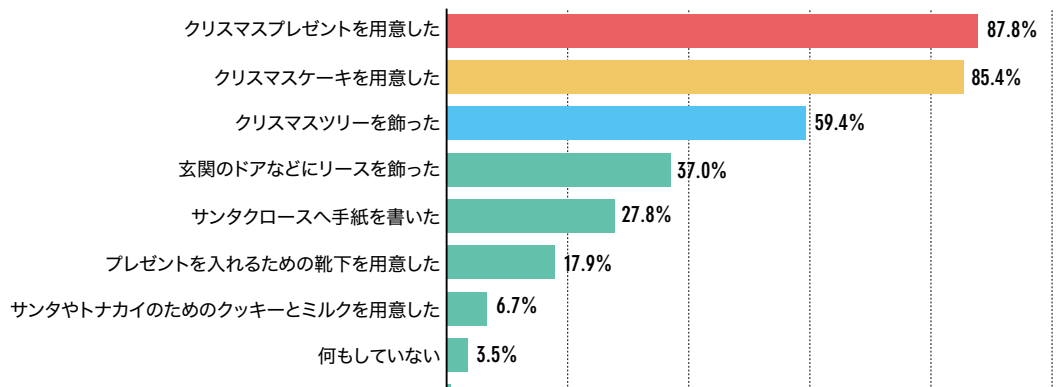


参考資料

◎ 一般家庭設問：有効回答数 2062件

2015年は、どのようなクリスマスの準備をしましたか？

※複数回答

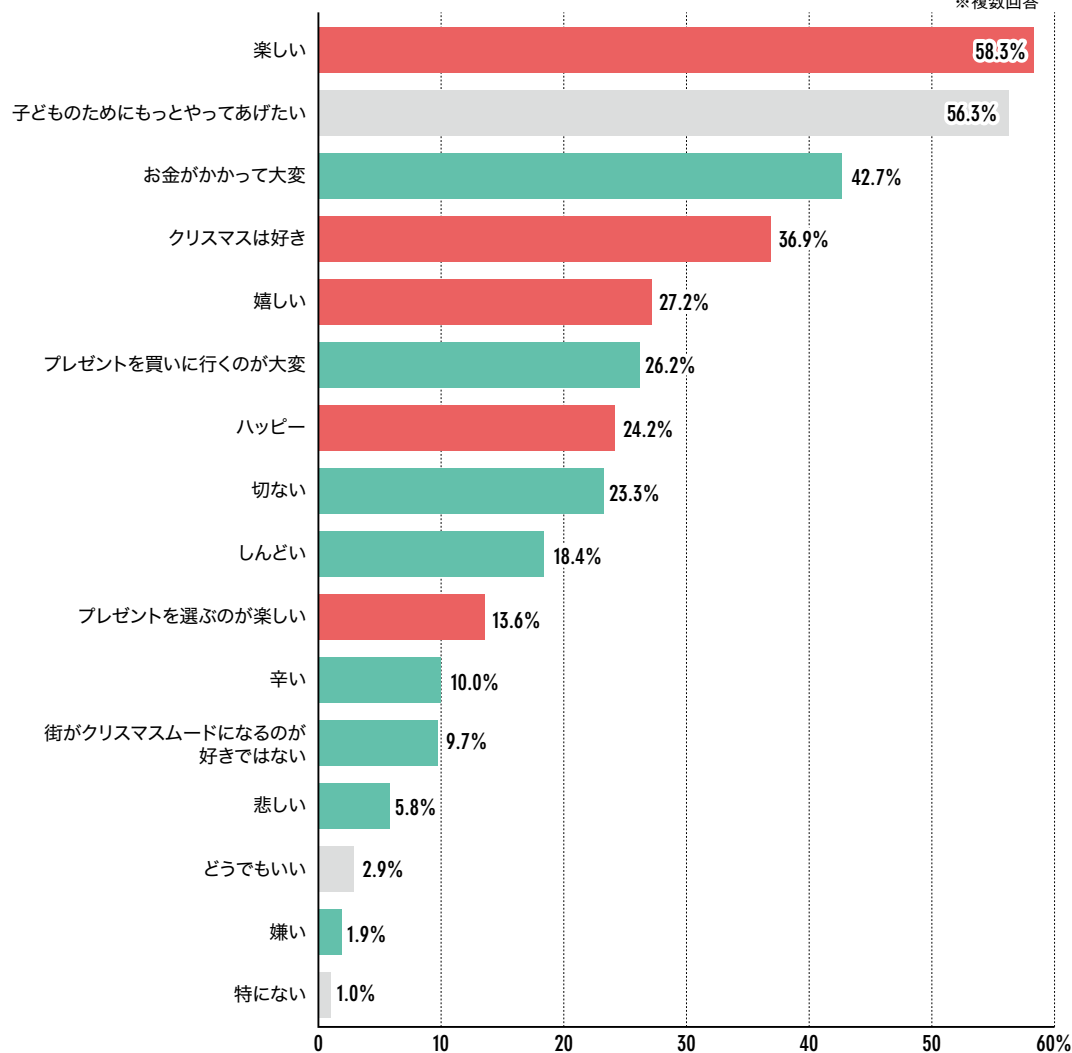


クリスマス時期にどのような気持ちになるのか？ 母子家庭では、5割が「子どものためにもっとやってあげたい」、 4割が「お金がかかって大変」と回答

「あなたは、昨年のクリスマス（準備時期も含む）に、どのような気持ちになりましたか？（複数回答可）」という設問に対する回答は、1位「楽しい」が58.2%、2位「子どものためにもっとやってあげたい」が56.3%、3位「お金がかかって大変」が42.7%と上位に入る。一方で「切ない」が23.3%や「しんどい」が18.4%などの回答もある。

なお、この設問は複数回答の設問で、同一回答者の中で「楽しい」と「切ない」など様々な感情が入り混じっている様子も多く目立った。

あなたは、昨年のクリスマス（準備時期も含む）に、どのような気持ちになりましたか？ 回答数 103
※複数回答

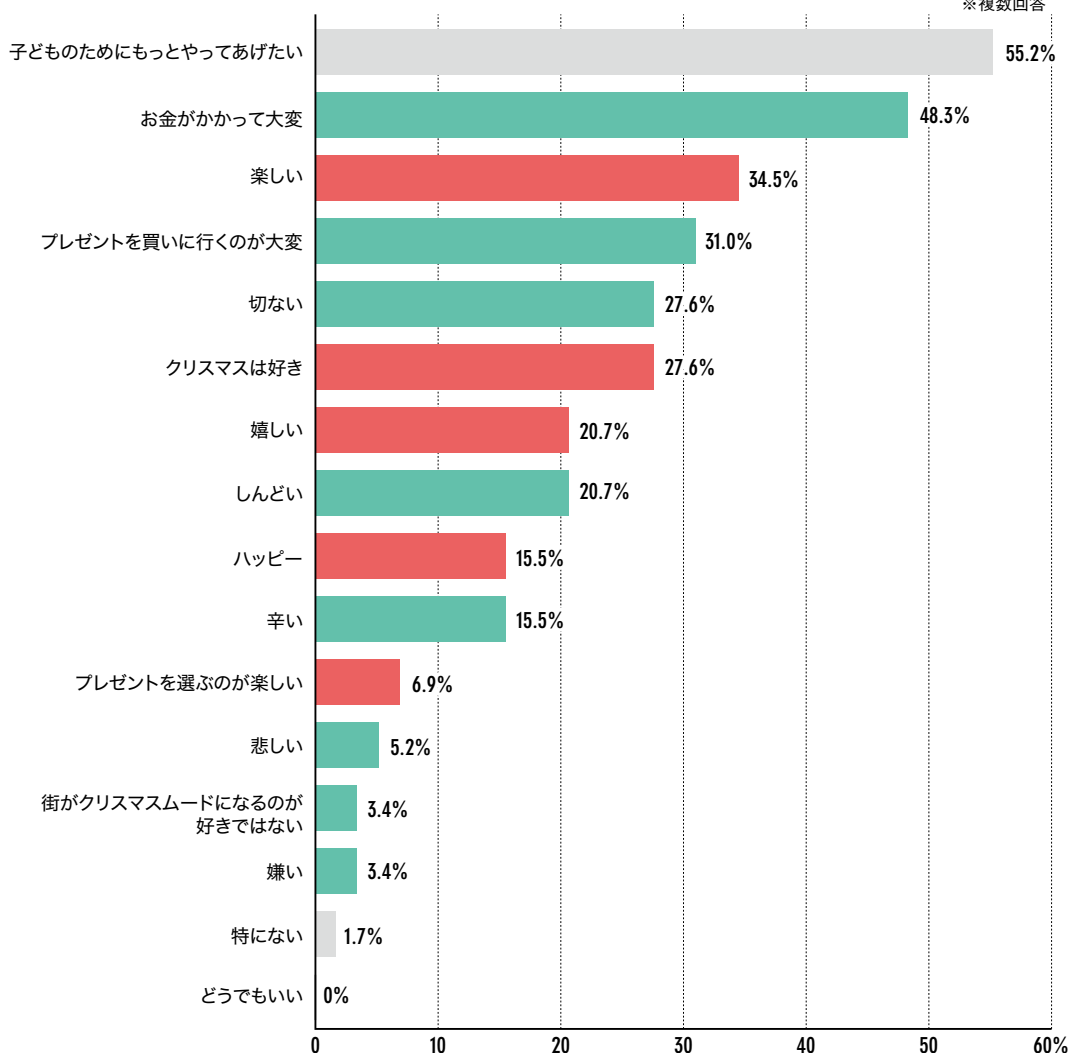


クリスマス時期にどのような気持ちになるのか？ を 収入300万未満の世帯だけで見ると「楽しい」が減り 「切ない」「しんどい」「辛い」といった感情が増加する。

「あなたは、昨年のクリスマス（準備時期も含む）に、どのような気持ちになりましたか？（複数回答可）」という設問に対する回答を《年収300万円未満の人のみ》で見ると、ネガティブな感情項目が全体統計と比較して増加する。「お金がかかって大変」は48.3%、「プレゼントを買いに行くのが大変」は31.0%、「切ない」は27.6%、「しんどい」は20.7%、「辛い」は15.5%となった。

あなたは、昨年のクリスマス（準備時期も含む）に、どのような気持ちになりましたか？

回答数 58
※複数回答



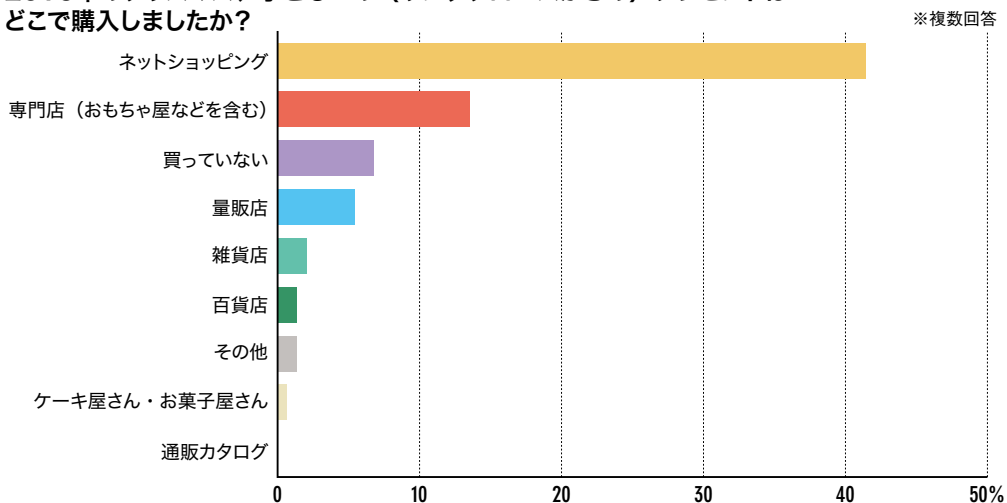
母子家庭のプレゼント購入場所、3人に2人がネットショッピング。 2位のおもちゃ屋の3倍以上がネット購入。

シングルマザーがクリスマスプレゼントを買う場所としては「ネットショッピング」が66.3%となり、3人に2人はネットショッピングで購入している。実際に自由記入の設問では「買い物に行く時間がない」「子どもを見る人が自分しかいないため、一緒に買いに行くことができない（＝サンタからのプレゼントを親が買っているということがバレてしまう）」といったコメントも目立った。

また一般家庭では一番多かった「専門店（おもちゃ屋などを含む）」が21.7%となり、3倍以上の差が開いている。

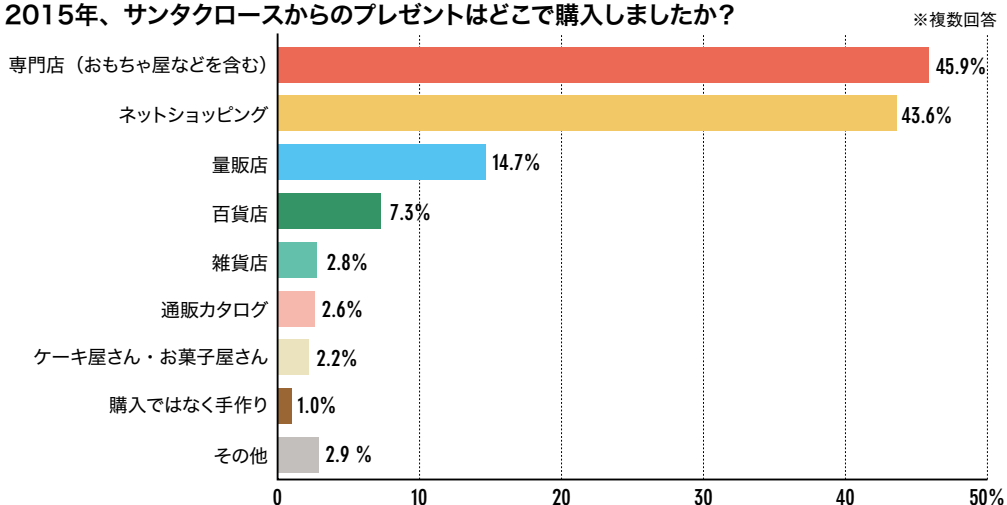
◎ 母子家庭設問：有効回答数 103件

2016年のクリスマス、子どもへの（サンタクロースからの）プレゼントはどこで購入しましたか？



参考資料 ◎ 一般家庭設問：有効回答数 1637件

2015年、サンタクロースからのプレゼントはどこで購入しましたか？





“子どもに対してできなかったこと” から見えてくるクリスマス格差

「昨年(2016年)のクリスマスに、子どもに対してやってあげたかったこと(=できなかったこと)はありますか? ある場合、どのようなことですか? ※ない場合は「なし」とご記入ください。」

この設問に対して「なし」と書いた人は30名。何かしらがあり回答を書いた人は73名でした。本コラムでは、「ある」と書いた人のコメントを一部ですが紹介しながら、数値だけでは見えてこない「生の声」を紹介できればと思っています。

回答の中で特に目立ったのは「ツリーに関する内容」です。ツリーを購入・ツリーの準備・飾り付けしなかったといった回答が多かったのは、P.53の「母子家庭でもクリスマスは最重要イベントだが、「ケーキを準備しない」「ツリーを飾らない」家庭が増える」という結果からもわかります。具体的な声としては、原文そのままで紹介します。

「部屋が狭いのでツリーなどのクリスマスの装飾ができなかった」「クリスマスの飾り付けなど、全くなにもできない。プレゼントを用意するだけで精一杯」など。

次に目立ったのは「プレゼントに関する内容」です。同じくP.53のデータでは、一般家庭と比べて「プレゼントを容易した割合」は同等(両データとも約87%)ですが、その数値を見ただけでは現れない「用意はしているけど、満足できていない」と言う本音が見えてきます。「子どもが欲しがっていたものは高く買えなかった」「希望のプレゼントを買ってあげたかったが1万以上と高い。長女=ミーポッド、

長男=スケボーやゲーム機。ケーキも苺のデコレーションケーキにしてあげたかったが、高いので900円の生クリームだけが挟まったロールケーキを買い、家でバナナやキウイを切って飾った」「プレゼントを厳選した。オンラインショップで買えるもの(一人で子供連れて隠れて買うことができないため)」

他にも「家族団欒や準備に関する内容」も見られました。

「パパと3人で過ごさせてあげたかった」「昨年のクリスマスは、子どもとは主に夫が過ごしたため、私は夜ごはんだけ一緒に過ごした。今年はずっとゆっくりクリスマスの日を楽しみたい」「ホールのクリスマスケーキを買ってあげられなかったこと」「ツリーを出して飾り付けや、部屋の飾り付け、クリスマスっぽいディナーとか(ができなかった)」「事前にいろいろと準備できたらお金はなくとも楽しい演出してあげれば良かったです。ケーキを食べてクリスマスっぽく。」「あたたかな家庭の雰囲気ですべて祝ってあげたかった」など。

最後にひとつのコメントを紹介합니다。

「(今年が)最後のサンタクロースと伝えたこと。もっとサンタクロースを続けてあげたかった。」

私達チャリティーサンタは、こういった親の願いを叶え、子どもの夢を守っていきたくて考えて「ルドルフ基金(P.72参照)」という取組もスタートしました。置かれている環境に関係なく、サンタクロースを信じて待つ子どもたちには全て届けていきたい、そう願っています。



清輔 夏輝
(NPO法人チャリティーサンタ)

赤石 千衣子
(NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ)

「クリスマスプレゼントをもらえない子どもが一人でも減るように」として「思いやりの心が連鎖して広がるように」と活動を続けるNPO法人「チャリティーサンタ」による、日本全国の家庭のクリスマス事情を調査した「サンタ白書2016」が先日発行された。経済的な厳しさや家庭環境などさまざまな理由により、すべての子どもたちがクリスマスを祝えるわけではない。母子家庭、ひとり親家庭におけるクリスマスについて、チャリティーサンタ代表・清輔夏輝氏と、NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」理事長の赤石千衣子氏が語り合った。(構成／大谷佳名)

※この対談は、2016年11月に行ったものです。両団体の数値やデータなどについても対談当時のものとなります。



クリスマスに 特別な体験を届けろ

赤石(以下、赤):今回発表された『サンタ白書2016』、読ませていただいています、「チャリティーサンタ」は2008年から活動されているんですね。

清輔(以下、清):はい。当初は2名で始めた活動ですが現在は21都道府県に28支部(支部運営はボランティアの有志)で活動していますね。これまでの8年間で10,109人のサンタクロースが集まり、17,377人の子どもたちに

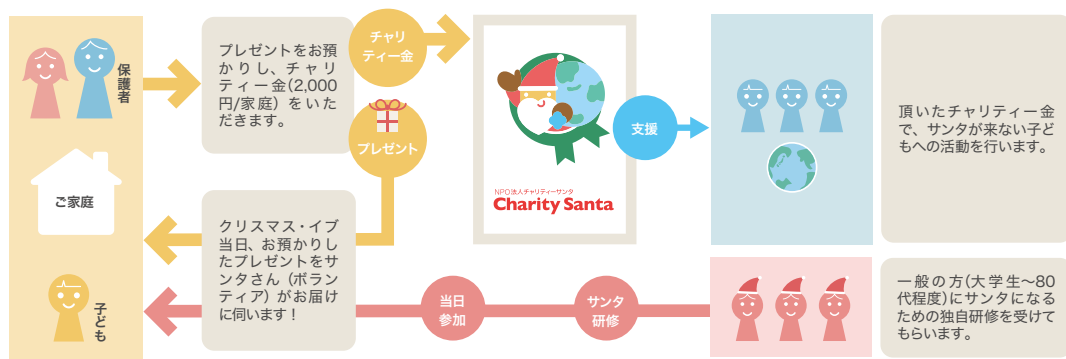
プレゼントを届けに行きました。

赤:かなりの規模になっているんですね！ 活動の仕組みはどうなっているんですか？

清:「チャリティーサンタ」のWebサイトでお申し込みいただくと、サンタ講習を受けたサンタクロースがご家庭に行き子どもたちにプレゼントを届けます。プレゼントは事前に保護者の方からお預かりしておくんです。その際、一家庭ずつ2000円の寄付をいただきます。

この寄付金は、はじめは途上国の子どもたちへの支援をするチャリティーから始まりましたが、2015年以降は日本にいる「経済的に厳

チャリティーサンタの活動の仕組み



しい家庭、母子家庭などでクリスマスプレゼントをもらえない子ども」にもプレゼントを届けに行っています。その時は、通常お願している寄付2000円も不要、プレゼントもこちらで準備します。プレゼント代は、2015年に立ち上げた「ルドルフ基金」などから用意しているんです。

赤: そのプレゼントは子どもたちからリクエストを聞いたりするんですか？

清: いいえ、残念ながら用意できるのは安価なものになってしまいますね。ただ、僕らはプレゼントが何かということよりも、「特別な体験を届ける」ということを大事にしています。だからサンタはただプレゼントを渡すだけではなくて、一人一人にメッセージを伝えるようにしているんです。

「今年は逆上がりの練習を頑張ったよね」「いつもキミのこと見てるよ」「来年も頑張っているキミのことを応援してるよ」とか。これは依頼をいただいた時に、保護者の方から子どもが今年がんばったこと、来年の目標などを事前に聞いておくんですね。

サンタが自分の名前を呼んでくれただけでも「なんで名前を知ってるの!」と子どもたちはびっくりするのですが、「自分を見てくれて

いる人がいたんだ」「応援してくれている人がいるんだ」って、少しでも前向きな励みになればいいなと思って、こうした活動を続けています。



日本の母子家庭の実態

赤: 私たち「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」は、当事者中心のNPOです。現在、会員は600人ほどいます。普段の活動は、電話相談や当事者同士の交流会を行ったり、フードバンクさんと連携して食料支援の紹介状を書いたり、子どものための学習支援、寄付による入学お祝い金事業など行っています。

日本の母子家庭の状況についてざっくりとお話すると、まず特徴的なのは年収が低いということです。手当や年金も含めて平均年収が223万円で、就労年収の平均は181万円。非正規雇用の方が5割を超えています。子どもを抱えながら正社員になるというのは非常に難しいということと、日本では女性は補助的に働くというシステムが未だに残っていますので、どうしても最低賃金ギリギリの仕事になりがちです。だから非正規で長時間働くこと当然、子どもとの時間も失われてしまう。

もう一つ、日本のシングルマザーは世界的に見ても就労率が高いです。スウェーデン、アメリカ、フランスよりも高い。にもかかわらず、年収が低いという状況です。経済的な貧困に合わせて、時間もなくて健康状態も悪くて、社会的にも孤立している。子どもたちにもさまざまな面でしわ寄せがきています。

清:特に年末はクリスマスにお正月と続き、ひとり親家庭にとって大変な時期ですよ。

赤:そうです。この時期は相談も多いですね。世間なみに何か準備しようとする、それなりにお金がかかるじゃないですか。私たちも毎年、年末には食料品のパッケージを80世帯に送っているのですが、今年はさらに50世帯くらいに送る予定です。

清:会員の方のクリスマスの過ごし方はどんな感じですか？

赤:今までお聞きした中で一番印象に残っているクリスマスの話は、しばらく水道料金を払えずに滞納していたという方の話です。水道ってガスや電気などと比べて止められにくいですよ。それで滞納が続いたのですが、ちょうど12月24日に帰宅した時に水道が止まっていたらしいんです。仕方がないので、子どもと二人でペットボトルを持って近所の公園に水を汲みにいったら、近所の人に「うるさい!」と怒られたという話ですね。世間ではお祝いムードで子どもも期待している時に何もできないというのは、すごく辛い記憶として残りますよね。

また、多くの母子家庭がもらっている児童扶養手当が12月11日ごろに支給されるんです。それも4ヶ月分まとめて渡されます。年収130万円未満の方だと満額支給で一月4万円くらい、それが4ヶ月分なので17万近くの額が一度に入るんです。クリスマスやお正月に多

く使ってしまうと、3月には家計がすごく厳しくなってしまうんですね。こうした収入の入り方の問題もあるので、毎月の支給に変更するように国と交渉しているところです。

世間並みのことをさせてあげたいとはどんな親も思っているのですが、なかなかそこに至らないということで自分を責めてしまう方が多いですね。



特別な1日にするための工夫

清:僕らも昨年、シングルマザーの方の生の声を聞こうと、SNSサービスのmixiさんと協働で取り組みました。mixiには子育て中のママたちが集まるコミュニティーがたくさんあるんです。中にはシングルマザー専用のコミュニティーもあります。それらに参加しているユーザーから30万人ほど抽出して、一斉メッセージを送ったんです。

あくまでクリスマスキャンペーンとして、抽選で当選された方にサンタがプレゼントを届けに行くというものでした。そして応募の際にいくつか答えていただきたい質問を用意して、そこから各家庭のクリスマスの過ごし方や経済状況などを掴もうとしたわけです。最後に応募動機などを書いていただく自由記入欄を設けたのですが、そこに思った以上に声が集まりました。

赤:そうですね。生活の不安だったり悩みを聞いてくれるところがないから、とにかく書きたいんですよね。私たちのアンケート調査でも自由記述欄にたくさん書かれる方が多いです。

清:経済的に厳しいためプレゼントを買ってあげられない。あるいは仕事などで時間的な余裕、気持ち的な余裕がなくて何も準備でき

ないという、クリスマスの厳しい状況が明らかになりました。ただ、本当は子どものために何かしてあげたい。この一年、何も特別なことをしてあげられなかったから、「サンタが来てくれた」という思い出だけでも作ってあげたい。そうした声が一番多かったです。

これが今回の『サンタ白書』を作るきっかけになりました。クリスマスに辛い状況にいる家庭が想像以上にあるんだということを、まずは調査を通して広く知ってもらおうと。そのために3～12歳の子ども(第一子)がいる家庭、2000世帯に対してインターネット調査を行った結果が、ここにまとめられています^(注)。

(注)株式会社ジャストシステムのセルフ型ネットリサーチサービス「Fastask」を通して、オンライン上でアンケートを実施(実施期間2016年～9月23日～30日)。

赤:クリスマスに必要なものって、「ケーキ」「プレゼント」「雰囲気」ですね。今回、うちの会員さんに改めてクリスマスの過ごし方について聞いたところ、プレゼントもケーキもなかなか用意できないので、教会に雰囲気だけ味わいに行ったという方もいました。あるいは、お店のケーキが買えないのでスポンジケーキを買ってきて親子でデコレーションしたとか、食パンの耳を切ってクリームを塗って、ミル

フィーユと称して一緒に食べたという話もありましたね。プレゼントは、100円ずつとか積み立てをしておいたり。それぞれ工夫しながら頑張っているんだなあという印象でした。

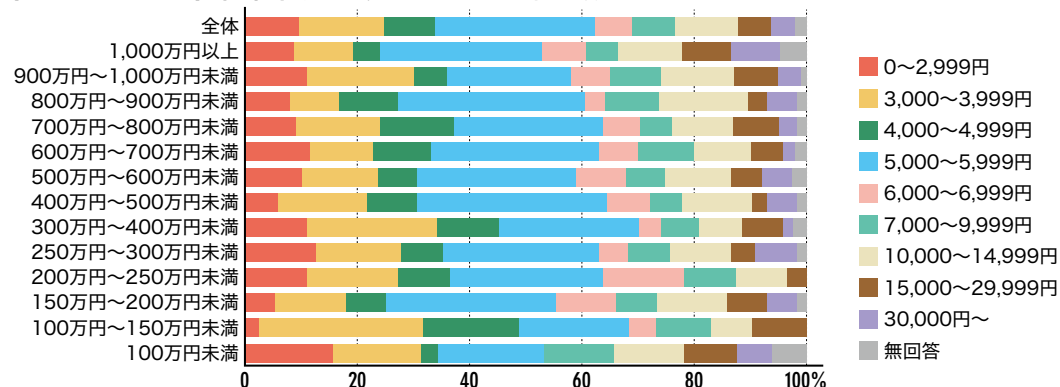
清:実は、今回の調査の結果で意外だったのは、世帯年収で比較しても各家庭のプレゼントの購入額差は、年収が150万円以下を除くと差異がほとんどなかったんです。(47ページ図1参照)

なぜかという、クリスマスは季節の行事の中で一番大切なイベントだから、どの家庭もすごく頑張ってるんですよ。プレゼントは子どもの欲しいものを買ってあげるという家庭が多いので、金額自体に大きな違いがない。おそらく、仮にこうした差が大きかったら、貧困家庭のクリスマスの状況に世の中の人のもっと気づいているはずだと思います。

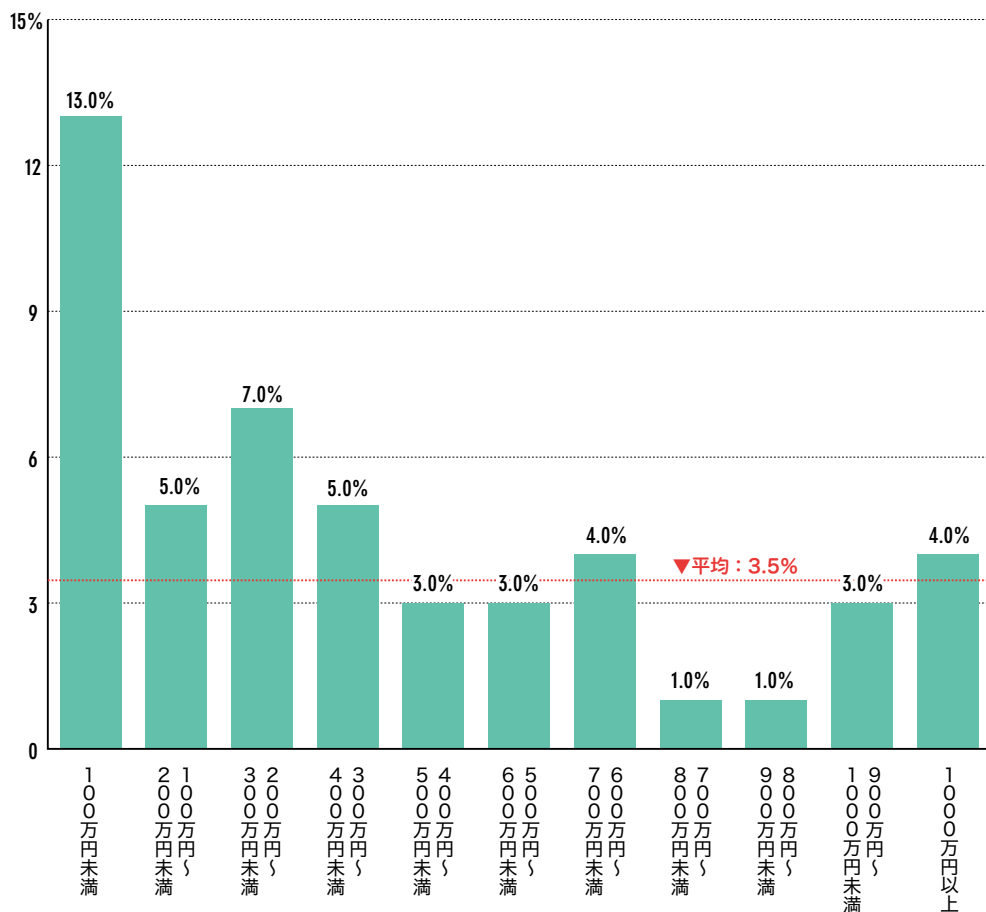
一方で、「クリスマスに何も準備をしていない」という層も、全体の3.5%いることがわかっています。その年収別の割合を見ていくと、やはり年収が低い層ほどその割合は多いんですよ。(42ページのグラフ参照)

みんな頑張ってはいるものの、やはり収入との相関性は確かにある。僕らはその人たちの生活を支えるようなことはできないけど、サ

(47ページの図1) 世帯年収別で見たプレゼント購入額の違い



(42 ページのグラフ) 昨年 (2015 年) は、どのようなクリスマスの準備をしましたか? で「何もしていない」と回答した家庭の世帯年収別の割合



ンタを派遣したり、あるいは日本全国にサンタからの手紙を届けるということもやっているの
で、そうした形で何か特別な思い出を作って
あげられたらと思っているんです。



アクセスが難しい家庭環境

清: 僕も今回この調査をしてみて、本当に届け
たい層にはなかなかアクセスできないという
限界を感じました。スマホやパソコンを持って
いなくてネット環境がない、あるいは地方で暮
らして接触する情報も少ないような環境
だと、僕らの情報も届きません。特に親子関係

が良くない家庭、虐待、ネグレクトなどがある
家庭に接触するのはなかなか難しいです。行
政やソーシャルワーカー等と協力してやってい
く必要がありますね。

赤: うちの会員も比較的、情報収集能力があ
る方ですね。収入面においても母子家庭の全
国平均と比べると、東京は地方に比べて最低
賃金が高いということもありますが、平均年収
が50~70万円高い。それでも十分大変な層
には変わりないのですが、生活を少しでも良
くするために必要な情報を自分から取って
いける、クリスマスも世間並みに工夫
したいという気持ちを持っている層です。

一方で全国の母子家庭の中でも一番困難な層というのは、それすら難しい。うつ状態で何もできなかつたり、疲れて体力も気力もなかつたり。統計を見てみても、シングルマザーの場合、うつ状態にある割合がすごく高いんですね。特に無業の母子世帯の親のうつ傾向は顕著です。そういう家庭では、何かやりたいと思っけていてもクリスマスなどの行事に追いついていけない。また、親にうつ傾向があるとネグレクトになるリスクも高まります。

また、こういった方たちに私たちの方からアクセスしていくのも非常に難しいんですよ。あの手この手でやっと近づける層なんです。おそらく、よりきめ細かく地域の子どもたちを見ている立場、例えば地域で無料学習支援をしている団体だったり、プレーパークのような遊び場を通じて子どもの育成を支援しているNPOなどと連携していけば、もう少し見えにくい現実が拾えるのかもしれない。行政はもちろん把握している部分はありますが、個人情報問題があるので絶対に公開しないですね。

清: チャリティーサンタを呼ぶことで、初めてNPOと接するという方もいると思います。そうした意味で、支援団体や社会の側との接点を作るきっかけになればな、と思っています。



1日で全ては 変えられないけれど

赤: 私たちは日本ロレアルと連携してシングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」を実施し、ママたちへ就労の機会を提供しています。ママの収入が上がれば、子どもたちの暮らしも安定します。また学習支援を行ったり、野外活動支援団体と連携してバーベキューなどイベントを企画したり、子どもの

健全育成のためのお手伝いをしているんですね。一方新入学のお祝金事業もやっており、小学校中学高校の新入学のお子さんにひとり3万円お渡しします。

サポートしているご家庭の中には発達障害があつたりして、学校の勉強に全く追いついていけないお子さんもいます。彼らがこれから生きていくために、今の時期は非常に大事ですよ。勉強がもう少しわかるようになればその子の可能性も広がるとして支援をしています。

クリスマスだけでは、もちろん母子家庭が抱えるさまざまな問題は解決できません。こうした環境にいる子どもたちの成長のためには、普通の家庭に投入するよりもっとたくさんの社会資源を投入しなければ足りないんです。例えば私たちが見てきた中でも、「ニートになるしかない」と言っていたような子どもたちが、学習支援を続けていくうちにアルバイトするようになったり、「大学にいきたい」と言うようになってくる。ていねいに応援して、様々な形で社会とのつながりを作っていくことで、おどろくような変化が起こります。

同時にクリスマスや誕生日などのイベントの中で、「誰かが応援してくれてるんだ」という体験をすることは、次へのフックをかけることにも繋がるのかなと思います。年に一度だけでも、そこでほっこりした思い出が作れることで、次に何かにチャレンジする気持ちとか、助けを呼べる力とか、そういうところにつながると思いますね。

清: 明日食べるものがあることと、サンタが来ることは比べられないと思っています。当然、たった1日でその人の生活を変えることはできない。でも、子どもにとってクリスマスはやはり特別で、その時に「たった一人でも自分の

味方がいる」と思えることはすごく大きいことだと思います。

赤: 夢を諦めちゃうというのは、ひとり親や低所得の家庭の子どもには多いと言われます。もちろん食べていくのは基本ラインなのですが、それだけで生きていくのは難しいですね。この前も、十代で出産したシングルマザーの方と話していたら、「高校卒業認定資格試験を受けて、心理カウンセラーになって支援者になりたい」と言っていて驚きました。希望を持つことと食べていくことは、まったく別の次元で必要なことだし、生きていく上でのさまざまな問題解決力にもつながります。

サンタに出会えた子どもたちも、もう少し大人になってから「子どもの時に会いに来てくれたサンタクローズって、何だったんだろう?」「何かの社会活動だったのかな」と気づく時が来れば、それは自分も何かを始めようということにもつながっていく。いろいろなロールモデルを知るきっかけがあることは、ものすごく大事なことです。低所得であればあるほど、子どもが接する大人のロールモデルが少ないので。

清: まさに、「チャリティーサンタ」にはそ

のしかけがあって、子どもがサンタの正体を知ってしまった時、あるいは親が種明かしをする時に使ってもらうための手紙を送っているんです。

そこには、「あの時のクリスマスの出来事は、キミとお母さんお父さんがいて、サンタをするたくさんのボランティアがいて、チャリティーによって他の子どもたちにもプレゼントが届く仕組みになっていたんだよ。でもその全ての始まりは、キミを喜ばせたいという気持ちから始まったんだ。実はキミもすでに誰かのサンタになっていたんだよ。次はキミの番だよ」と書いているんです。手紙を読んであの日の出来事は「たくさんの思いやり」で起こっていたのだと気づいてくれたら嬉しいですね。そしてサンタにプレゼントをもらった子どもたちが、いつかまた誰かのサンタになる日が来るように願っています。

赤: それがまた将来の可能性につながっていくのは素敵なことです。今日お話ししてみて、一つ一つの家庭がどうやって元気に暮らしていけるのか、というイメージがより掴めたかなと思います。ありがとうございました。





第 4 章

**チャリティーサンタとは
～2万人に届けてわかったこと～**



チャリティーサンタとは

本白書では、チャリティーサンタが実施したインターネット調査から得られたデータをもとに、日本の子育て家庭におけるクリスマスとサンタクロースの実態を明らかにしてきた。

本章では、2008年から9年にわたって日本国内でサンタ活動を行い、様々な状況に置かれた21,882人の子どもへ夢と笑顔を届けてきたチャリティーサンタについて紹介する。



NPO法人チャリティーサンタ

Charity Santa

あなたも誰かのサンタクロース。

「世界中の子ども達を笑顔に」というコンセプトの元、2008年から活動を始めたチャリティーサンタ。

私達チャリティーサンタが目指すビジョンは「Charity With Action」。これには「思いやりの心を行動に移す」という意味がある。イブの夜にお届けをする参加者。イブの夜のために準備を進める運営スタッフ。サンタ依頼で目の前の子どもを、チャリティー金で世界中の子どもを笑顔にしたいと願う保護者。チャリティーサンタは皆さんが思いやりを行動に移すお手伝いをする団体。また、サンタに会った経験、支援を受けた経験、そんな活動をする大人の背中を見た経験は、子ども達をきっと思いやりを行動に移せる大人に成長させていく。

思いやりを行動に移せる人こそが、真のサンタクロース。チャリティーサンタの目指す社会は、サンタクロースのような思いやりある人が多く存在する社会だ。

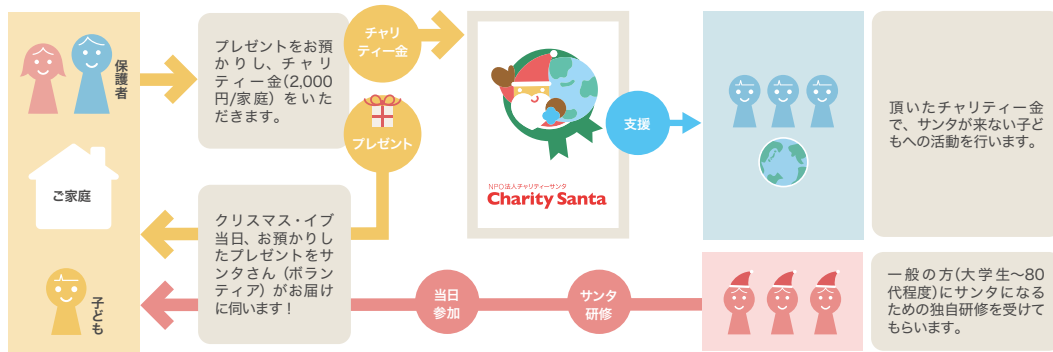
チャリティーサンタの団体ロゴは、世界中の子どもに届けるというメッセージを込めて、地球柄の袋をもったサンタクロースをデザインしている。

活動の仕組みと主な活動

日本発のサンタクロース団体。

6歳の頃にサンタさんが自分に会いに来てくれた思い出を忘れられず「今度は自分が届ける番だ」と思った男性と、世界一周旅行中に会った途上国の子どものために「日本で彼らのために何かをしたい」と心に決めた女性。そんな2人が偶然出会い、お互いの想いを共有する中で、チャリティーサンタのアイデアが誕生した。

チャリティーサンタの活動の仕組み



クリスマスイブの夜にサンタクロースに扮したボランティアが、小さなお子様がいる家庭にプレゼントを届ける「サンタ活動」。サンタ活動の際に家庭からお預かりしたチャリティー金で、世界中の困難な状況にある子ども達の支援を行う「チャリティー活動」。つまりサンタクロースを通じて、日本と世界の子ども両方にプレゼントが届く仕組み。

2008年、サンタ活動・チャリティー活動の2軸ではじまったチャリティーサンタ。2014年のNPO法人化後は、企業との取組や寄付つき商品開発など新規事業も始まり、現在は多岐に渡っている。(詳細はWebサイトに掲載)

本白書では、その中でもメインの取り組みであるサンタ活動の「サンタになる(P.69)」「サンタを呼ぶ(P.68)」、サンタ活動エリア外に対応した「サンタからの手紙(P.68)」、支援活動「チャリティー活動(P.74)」について紹介する。

サンタを呼ぶ・サンタからの手紙



子ども一人ひとりにオーダーメイド対応 「サンタを呼ぶ」

サンタ活動の「サンタを呼ぶ」は、事前に保護者（家庭）から申し込みを貰い、その際に子どもの名前と共に「この1年で子どもが頑張った事・できるようになった事、来年に向けて応援してほしい事」を記載する仕組み。それをサンタ研修を受けたボランティア（P.69 参照）が一人ひとりにオーダーメイド対応をする。

届ける時間帯は「クリスマスイブの夜暗くなってから（でも子どもが起きている間）」ということを大切に、

12月24日の18～21時の間で時間指定を受ける。家庭が準備したプレゼントは、クリスマスイブ当日の訪問直前に預かって届ける仕組みだ。その際、1家庭2,000円の寄付を預かり、それがチャリティー活動（P.74 参照）に活用される。サンタを信じていれば、特に子どもには年齢制限はない。

日本中の子どもに夢を届ける「サンタからの手紙」

「サンタを呼ぶ」は、支部があるエリア（23都道府県30支部※2017年現在）でしか届けることができない。しかし、全国には待っている子どもがおり、問い合わせも年々増えていた中で、日本全国に対応したサンタクロースからの手紙を2014年より開始。手紙でも一人ひとりへオーダーメイド対応ができる仕様になっており、世界にひとつだけのサンタからの手紙がクリスマスイブ前に届く。また、2017年は手紙の売上の一部で「貧困家庭の子どもに無償でサンタからの手紙が届く」という寄付付きの手紙となっている。



サンタになる・私達のこだわり

本物になりきる全員必須のサンタ講習「サンタになる」

サンタになるには、参加者全員が約3時間の「サンタ講習会」を事前に受ける必要がある。内容はチャリティーサンタの目指すビジョンの共有にはじまり、イメージトレーニングができるムービー視聴など座学が前半。後半は、サンタクローズらしい喋り方や、身振り手振り、子ども達とお話する際の受け答え、咄嗟の時の対応、そして本番当日の訪問を想定した演技練習（ロールプレイング）でサンタクローズとしての腕を磨く。なお、参加年齢層は結婚する前の世代（大学生～20代後半まで）がメイン層で、最近は子育ての落ち着いた50代以降の方の参加も増えてきている。男女で役割が異なるが、それぞれに感動するタイミング・仕掛けがある。



大手子ども服メーカーが製作協力の「オリジナルサンタ衣装」

子ども服ブランドを多数展開する株式会社ナルミヤ・インターナショナルの協力の下、デザインや素材にこだわったチャリティーサンタ監修「オリジナルのサンタクローズ衣装」を製作。また、どんな参加者でも髪や眉毛がしっかりと隠れる「専用のヒゲセット」も開発。現在、約1,000着を製作・維持管理する。なお、ナルミヤ社は日本で最初に「社員によるサンタ研修」を実施し、石井社長をはじめ役員、20代の若手社員まで約20名がサンタになっている（2012年実施）。

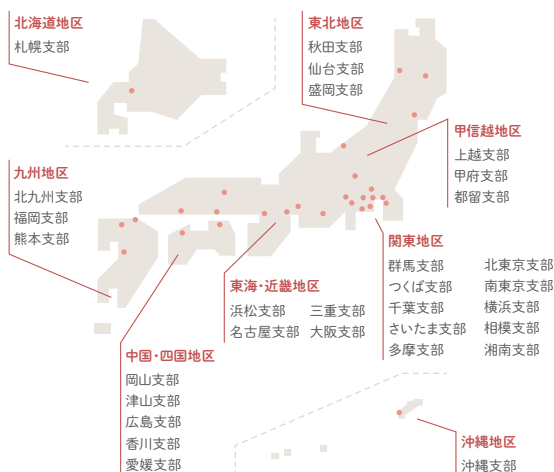


活動実績

日本全国に広がる活動の輪

2008年に2人を中心に東京で始まった活動は、サンタになる側から「新たに支部を立ち上げたい」という自主的な申し出が相次ぎ、年々全国各地に広がり続ける。

2017年現在、23都道府県30支部で活動を行う。現在ある支部は、札幌、秋田、盛岡、仙台、上越、群馬、さいたま、つくば、千葉、北東京、南東京、多摩、横浜、相模、湘南、甲府、都留、浜松、名古屋、三重、大阪、岡山、津山、広島、香川、愛媛、北九州、福岡、熊本、沖縄

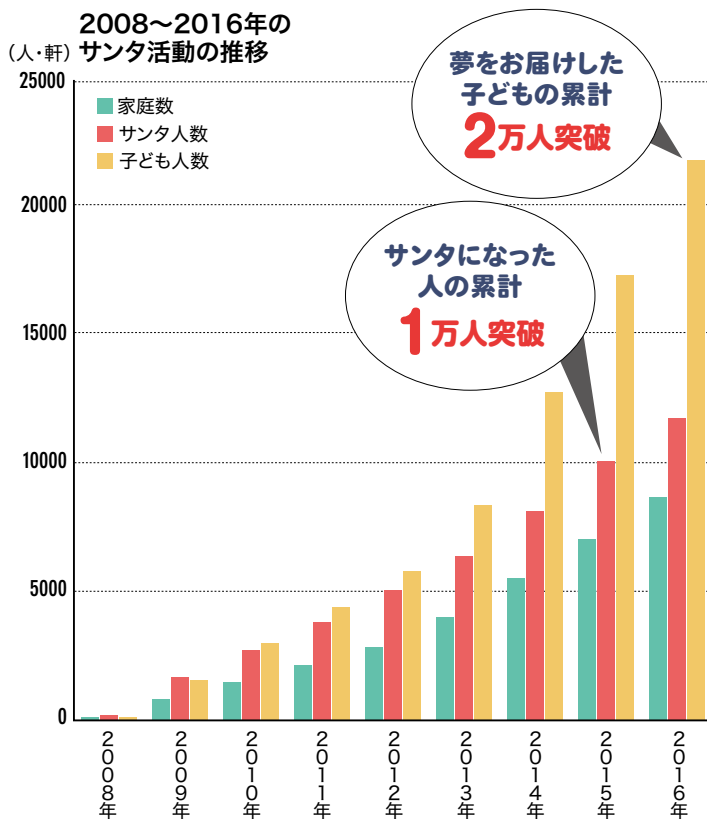


サンタ活動の累計実績は、以下の通り（2008-2016年）。

ボランティア人数：11,795人
訪問家庭軒数：8,730軒
届けた子ども人数：21,882人

《表彰歴》公益財団法人日本ユースリーダー協会 若者力大賞（団体部門）、ソーシャルビジネスグランプリ2011審査員特別賞、ドリームプラン・プレゼンテーション世界大会2011共感大賞

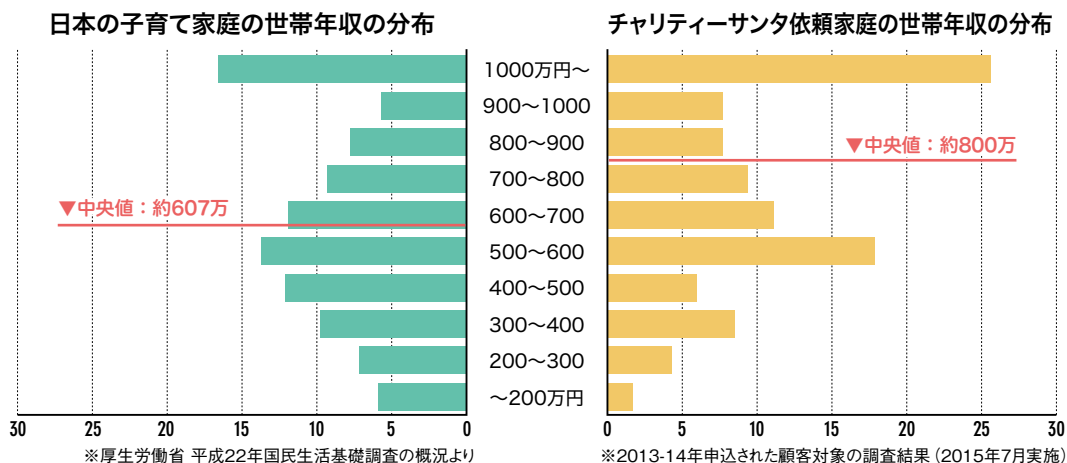
《メディア掲載（一部）》
テレビ：NHK(NEWS WEB)、日本テレビ(news every.)
新聞：朝日新聞、読売新聞、その他地方紙など多数
ラジオ：J-WAVE、TOKYO FM、Fm yokohamaなどその他多数



1万人の子どもに届けてわかった事

サンタが来ない子ども達

2014年のクリスマス、ついに届けた子どもが1万人になった。翌2015年には、初めての既存顧客調査を実施。その結果わかったことは、これまでにプレゼントを届けてきた子ども達は、世帯年収が高めの層だった。



世帯年収で見ると、日本の子育て家庭全体の中央値は607万円、チャリティーサンタが届ける家庭の中央値は約800万円となった。(100万円刻みで調査し、1500万円以上をひとまとめにしたためおおよその金額となった)

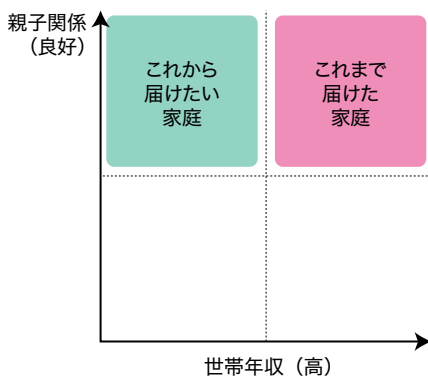
仮に世帯年収300万円未満を金銭的に厳しい家庭とした場合、日本全国では13.1%存在するのに対して、チャリティーサンタでは6%しかないことがわかった。

世帯年収×親子関係で見えてくる子どもの状況

その後チャリティーサンタとしては「世帯年収」に加え、実際に申し込みをするのは親（保護者）であることから、「親子関係（親の意欲）」という観点を決め、この二軸で子ども（家庭）を分類した。

そして、既存のサンタ活動では届けられない対象の中でも「親子関係（親の意欲）は良いが経済的に厳しい家庭」に対して、新しい取組「ルドルフ基金」を2015年にスタートした。

顧客を世帯年収と親子関係で分類



ルドルフ基金

経済格差を超えてサンタクロースを届けたい。

ルドルフ基金とは、経済的な事情をメインとした家庭の事情で「クリスマスプレゼントが貰えない子ども（クリスマスに思い出が残せない子ども）へプレゼントを届ける、そのための活動資金として立ち上げた基金プロジェクト。

2015年は、施設や病院で過ごす子どもを含む201人に直接プレゼントを届け、遠方に住む200人以上の子どもに「サンタからの手紙」を届けた。

2016年は、貧困家庭に加え、熊本地震で被災した子ども達を含む、約1500人の困難な環境にいる子ども達にサンタクロースとの思い出（プレゼント or 手紙）を届けた。

2017年は、さらに全国各地の貧困家庭を支援する団体と連携して、1人でも多くの子ども達へ夢と思い出を届けていく。

最終的には、毎年1万人程度の厳しい環境にいる子どもへ届けることを目標としている。そのために寄付はもちろん様々な関係者となつながら、継続して発展する仕組みを作ることを目指していく。

ネーミングの由来

童話「赤い鼻のトナカイ」の名前“ルドルフ”が暗い夜道を真っ赤なお鼻で照らしてサンタを送り届けることから、サンタが来ない子どもへサンタを届けることをイメージして名前をもらい命名。



「サンタを呼ぶ」で通常かかる2000円のチャリティーも不要で申し込みができ、プレゼントもチャリティーサンタから安価なものだが準備をすることで、保護者は負担なく申し込みが可能となる。



ルドルフ基金

サンタ白書

社会を動かす装置「サンタ白書」

活動開始して9年、1万人の子どもに届けてわかった「サンタが来ない子どもの問題」。3章 (P.38-39) にも記載したようにクリスマスの厳しい実態も徐々にではあるがわかってきた。これらはすべて2015年に顧客調査を行ったことから始まっている。これらの経験から、チャリティーサンタでは徹底的にリサーチすることを大切にすると決め、2016年に白書を出す流れとなった。

サンタ白書は、これまで曖昧だった「日本の家庭におけるクリスマスやサンタクロースの実態」を調査&分析し、真実を伝えるもの。

明らかになったデータは「チャリティーサンタ サンタ白書調べ」という形で、様々なメディアで使用できる形にし、チャリティーサンタの認知拡大を目指す。その結果、ルドルフ基金が日本中に広がり、また保護者にも認知が広がり、全ての子ども達に届けられるようになる。

今後、毎年10-11月を目処に発行していく予定で、経年変化も追っていく。また今後は「欧米と日本のクリスマス比較」の分析や「今年一番サンタだった人の表彰、Santa of the year (仮)」なども検討している。



海外でのチャリティー活動 (支援活動)



世界中の子ども達への、もう一つのプレゼント

チャリティーサンタではクリスマスに集まったチャリティーを原資に、開発途上国の子ども達への支援を行ってきたが、時代の流れとともに支援活動のあり方も少しずつ変化してきている。2008年に活動を始めた当初は、フィリピンの子ども達へ長靴と絵本をプレゼントし、2009年から3年間はバングラデシュのストリートチルドレンの子ども達の為の職業訓練施設の建設をサポートしてきた。

現在、海外での活動の主なフィールドとして選んだのはバングラデシュのお隣の国・ネパール。バングラデシュの職業訓練施設のサポートが一段落した段階で新たなご縁をいただき、まずはその国の人たちを知ろうと体験したホームステイで、私たちはネパールのお母さん達が抱える悩みの一端を知ることができた。

「お金が無いことが貧しいとは思わないが、子ども達が勉強したいと言ってきた時に進学費用はおろか鉛筆一つ買ってあげられない時がある。そんな時が親として一番悲しい。」

母達の願いを叶える「Santa Mother's Dreams Project」

ネパールでは国内の産業が不足し、世帯年収の大部分を父親が国外へ出稼ぎに出る事によって得ている。父親が出稼ぎに行くと収入は得られるが家族と離れて暮らさざるを得ない。また、必ずしも安全な仕事に就けるとは限らない。その中で、縫製工場やコーヒー農園など、ネパールの環境を活かした産業も発展しつつあることを知り、チャリティーサンタでもネパールの人達が出稼ぎに頼らずとも家族と一緒に幸せな時間を過ごせるよう、家族の収入向上につながるプロジェクトを進めることにした。



新たにネパール人の現地スタッフを迎え、2016年からスタートした「Santa Mother's Dreams Project」はチャリティーサンタでフェルト人形を作り、ネパールのフェルト工場で働く子育て中のお母さんの収入向上につなげるものだ。小さな仕事ではあるが、子どもたちに少しでも美味しいものを食べさせたり、進学の糧にしたりと、母達の願いを支えることができる。

現在ネパールでは、フェルト人形の他にも、サンタクロースのオリジナル衣装制作・オリジナルラベルのネパール産コーヒー制作のプロジェクトを進めています。

3.11 から始まった国内でのチャリティー活動（支援活動）

2011年のクリスマスイブ、私達は東日本大震災の被災地の一つである石巻の小学校と保育園数箇所で「サンタクロースがやってくるクリスマス会」を実施した。事前調査で実感したのは、被災した子ども達が大人を気遣い沢山の我慢をしていたこと。満足にご飯が食べられなくても、遠足が中止になっても、我儘を言えない時期だと察してか何も言わない子ども達に対して「少しでも良い思い出を残してあげたい」と多くの大人達が願っていた。



石巻のクリスマス会は大成功に終わり「今日、私は世界で一番幸せだった」「(子どもの表情を見て) 親の私も元気をもらいました」など、沢山の感想をもらうことができた。私達は改めて「サンタクロース」という存在には幾人もの子どもを笑顔にする力があり、子ども達の笑顔には大人を勇気付ける力があることを実感した出来事だった。

被災地の子ども達にサンタクロースとの忘れられない思い出を



2016年は大きな地震が頻発している。中でも4月に発生した熊本地震では4000回を超える余震で子ども達が多大なストレスを抱えている事が報告されており、私達は熊本復興支援プロジェクトを立ち上げることにした。益城町などを中心に150軒の家庭（子ども314人）へのサンタ訪問とサンタクロースからの手紙1,172人分の無料実施を行い、合計約1,486人の子ども達に「サンタクロースとの特別な思い出」を届けることができた。

今年の熊本地震に遭った子ども達にも「地震も来たけど、サンタさんも来た！」とこの1年を楽しい思い出で締めくくってもらいたい。

そしていつか、あの時のサンタクロースは被災した君を笑顔にしようと、沢山の大人が集まって実現したチャリティーの企画だったんだと気付いた子ども達が、次はサンタクロースに「なる」日が来ることを心待ちにしている。

震災の影響で外遊びの機会が減ってしまった福島県の子ども達に対しては、福島から離れた地域で自然と触れ合い遊びながら仲間と助け合う力を育む「生き・活きキッズツアー」を2012年から実施している。サンタクロースの服を着ていなくても、子ども達の「忘れられない思い出」を作る機会を増やしていきたい。

すべての子どもにサンタクロースとの体験を。

子どもにとってサンタクロースとは何か？

本書で明記したとおり、子育て家庭においてクリスマスは1年を通して最も大切なイベントとなっている。では、子どもにとってはどうなのだろうか？内容の性質上、子どもに直接アンケートは実施できないが、子どもにとってサンタクロースは特別な存在であることは、これまでの調査結果からも想像できる。

また、幼少期の子どもにとっては、サンタクロースという存在は、家族以外ではじめての「無条件の愛を与えてくれる存在」といえるのかもしれない。本書を読んでいる方の中には「誰か一人でも自分の味方がいる」という安心感や「幸せな思い出がたったひとつあるだけで頑張れる」といった経験をしたことがある人は多いのではないだろうか。子どもにとって、クリスマスのサンタクロースはまさにそれにあたり、1年に1度の待ちに待った日の特別な出来事なのである。

子どもの成長にサンタは必要なのか？

チャリティーサンタが2015年に行ったインターネット調査の中で、以下のような結果が得た。

18歳～53歳までの103人の大人に聞いた所「幼少期にサンタクロースとの“思い出がある人”の方が、自分に満足していて将来に明るい希望を持っている」

この調査内容は、サンプル数は少ないこともありさらに対象者を増やし、適切な形で検証していく予定だ。サンタクロースだけの要因と判断できるかは別として、これが明らかになると、子どもの成長にとってサンタクロースは必要だと言えると考えている。

クリスマスという特別な日は「すべての子どもが愛を受け取れる日」であり「夢を信じられる日」であってほしいと願っている。思想的な話になるが、クリスマスの本質とはプレゼントが何かということではなく、大人が子どもを想う気持ちが集まり、子どもが「想いやり」を感じられる日だと私たちは考える。

長い歴史があるサンタクロース。それを過去の大人たちが守ってきた背景や想いを大切にしながら、私たちは活動を今後もずっと続けていく。

すべての子どもにサンタクロースとの特別な体験を届けられる団体を目指して。



サンタさんが帰って1時間以上経ちますが テンション高いです…。

+++++

今日はサンタさん来てくれてありがとうございました♪
息子は1時間も前から「サンタさんいるかなあ」と部屋の窓から空を眺めて楽しみにしていました。

実際サンタが来た時は「わあ…!」と言う感じでテンション上がっていました、が、
キンチョーしていたのだと思います、こわがる事は全くありませんでしたが（キグルミ大好きな子です）

うまくコミュニケーションが取れず、そしていざサンタを目の前にすると何をしゃべって
よいかわからないみたいでした（笑）。

そして、まさかの私（母）へのプレゼントも…驚き、そして嬉しくて
恥ずかしながら子どもの前で涙ダアになってしまいました…

手作りのプレゼント、ステキです。

大切に使います。写真以外にも思い出の品が増え、嬉しいです。

ありがとうございます。

息子もお願いしていたプレゼントがもらえてとっても嬉しいみたいです。

サンタさんが帰って1時間以上経ちますがテンション高いです…

今夜眠れるのかな???（笑）





遠いので諦めていましたが、 来て頂けて本当に感謝しています。

+++++

今日は遠い所まで来ていただき幸せな時間をありがとうございました。
子どもが生まれてから季節の行事を大切にできるようになり、子どもの喜ぶ姿が見たく、
サンタさんが家に来てくれたらなーと思っていたところ、新聞でチャリティーサンタの記事を見つけました。

遠いので諦めていましたが、来て頂けて本当に感謝しています。
「サンタさんに自転車を持ってきてもらう」とお手紙も書いてクリスマスを楽しみにしていました。

サンタさんが来る事は伝えていませんでしたが、玄関でズズを鳴らして頂いたことで、
ドアを開けるまでワクワクドキドキそしてちょっと怖がっていました。
いつもはやんちゃでお調子者なのですが、元々知らない方など初対面が苦手で固まっ
てしまいます。

サンタさん訪問中も終始固まっていました。
しかしサンタさんに会えた事、欲しかった自転車をプレゼントしてもらえた事、お話出
来た事、サンタさんと指きりした事、抱っこしてもらえた事、いつもみてくれていて自分
の事を色々知っていた事などなど全て嬉しかったようで、お父さんが帰ってから沢山話
していました。

お髭がちよつとずれ、サンタさんはあせったかもしれませんが、息子はそのお髭が印象
に残っていて「お髭がよかったー」と言っていましたよ。

ビデオを見返しても固まったままの息子と娘が笑えます。
3歳の息子の心にサンタさんという存在が大きく残ったと思います。
しばらくは「サンタさんと約束したよね」が私の口癖になりそうです。
サプライズで親にもかわいいマグネットのプレゼントがありびっくりしました。
おそらく子どもたちより私が一番ワクワクして楽しい時間を過ごしていたと思います。
お友達にチャリティーサンタさんが来てくれる事を話したらみんな羨ましそうでした。
素敵な活動だと思うので、もっともっと多くの方に知ってもらえ、沢山の子どもを喜ばせ
てほしいです。



遠いのに快く引き受けていただけたこ
と、大変うれしかったです。
スタッフの皆様本当にありがとうございました。
感謝の気持ちでいっぱいです。
いつか我が子にサンタさんが必要なくな
ったら、今度は私も子どもたちに夢と
希望を届けるお手伝いが出来たらいい
なと思っています。
貴重な経験をさせて下さり本当にありが
とうございました。

実際のエピソード

3

かけがえのない時間をプレゼントしてくれた チャリティーサンタさん、本当に感謝してます。

+++++

今日は素敵な時間をありがとうございました！ うちはお兄ちゃん9歳、弟2歳…とちょっと年の離れた兄弟です。お兄ちゃんが小さい頃から、喜ぶ顔を間近で見てビデオに納めたい！と、毎年試行錯誤しながらクリスマスを楽しんできました。お兄ちゃんもお9歳になり、そろそろ学校ではサンタなんていないよ！と言うお友達もいるようで。かと言って、弟はまだサンタさんもわからない年齢。今年はどうしようか。と主人と話したところ、チャリティーサンタの存在を知りました。そして、今日！いよいよサンタさんご対面の日。お兄ちゃんには、今日きてくれるチャリティーサンタさんはね、みんなにプレゼントを運んでくれるおじちゃんサンタさんの見習い弟子なんだよ。

まずは地上でプレゼントを配ることに合格しないと、空でトナカイと一緒にいられないんだよ、と説明してみました。弟の方はまだわからないので、当日まで毎日サンタさんの植え付け作戦。結果、今日！

お兄ちゃんもサンタさんの存在を信じ、もらった本を大事に抱え、ベッドの脇において眠りました。

弟は、パパの抱っこを必要としましたが、サンタさんの前にいることができました！ により、今回のサンタ訪問のさい、プレゼントの渡し方に指定をさせていただいたのですが、ほんとーにきちんとやって下さって、サンタさんとバイバイしたあと、プレゼントをあけた子ども達の喜ぶ顔が、今回チャリティーサンタをお願いして良かったなあと思わせてくれました。

悲しいことに、おもちゃはいつか飽きて、遊ばなくなってしまうものだと思います。けれど、今日、うちにサンタさんがきてくれた！という記憶は、いつまでも思い出として残ってくれると思います。

そんなかけがえのない時間をプレゼントしてくれたチャリティーサンタさん、本当に感謝してます。

家族そろって、幸せな時間を過ごせました。

ありがとうございました！



実際のエピソード

4

サンタさんの持っている袋・着ている服など一つ一つにも興味津津だったみたいです。

+++++

10日ほど前にサンタさんに欲しいものを手紙に書いていたのですが、それにこっそり私が返事を書き、それに気付いたのがつい数日前。

この3日間ほどは「OK! ってお返事くれてたから絶対サンタさん来るよ!」と事あるごとに言い、ずっと楽しみにしていました。

インターフォンが鳴ると、即サンタさんだとわかったみたいでウズウズソワソワ。でもいざ目の前にすると照れなのか緊張なのか、ちょっとよそよそしい感じで自分からは積極的にしゃべることができず… 普段全く人見知りがなくどんな人でもしゃべれる息子なのでそんな姿も新鮮でした。

サンタさんの持っている袋・着ている服など一つ一つにも興味津津だったみたいです。「○○が欲しかったんだよね?」「お手紙書いてくれてたよね」と、息子の欲しがっていたプレゼントが目の前に出て来て、

幼稚園のクリスマス会に来たサンタも"本物のサンタ"と信じている息子ですが、それとは違い、自分1人の為にやって来てくれたサンタさん… 特別なものだったみたいです。

ちょっとよそよそしい態度の間に見える笑顔がとびきりの笑顔で親としても見ていて本当に嬉しかったです。

サンタさんが「○○くんも頑張っていたけど、他にももう1人頑張っている人いるよね?」と問いかけると即答で「お母さん!」と息子が答えてくれた事、

(後で聞いてみると「だってお母さん、～も～もいつも頑張ってるでしょ♪」と… 涙が出そうでした)

サンタさんが帰った後「去年も来てくれたよね、去年は玄関までだったけど今年はお部屋まで来てくれたね」と話してくれ、そういう事もちゃんと覚えているんだ… と我が子の成長が感じられた事、とても嬉しかったです。

1年に1回、自分だけの為に、あのサンタさんが来てくれる…

それを息子が心待ちにし、喜んでくれる限り、チャリティーサンタをお願いしようと思います。

この活動がずっと続き、チャリティーサンタをしている側の人達の喜びにもなり、そしてチャリティー金がどこかでお役にたてる事を祈っています。

今日はありがとうございました。





付録 基礎集計データ アンケート調査票見本

本白書の製作のために実施したオンラインアンケート調査のデータを掲載する。

基礎集計データ

調査対象者である「第一子が3歳～12歳の子どもを持つ親 2,062人
(男性 49.8% / 女性 50.2%)」のデータ。

アンケート調査票見本

実際の設問と回答結果。

※調査内容の全般については、調査概要 (P.6) に記載



基礎集計データ

SEX 性別

	n	男性	女性
総数	2062	1026	1036
(%)	100%	49.8%	50.2%

GEN 年齢

	n	15歳未満	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上
総数	2062	0	20	30	162	375	688	489	296	2	0	0	0	0
(%)	100.0%	0.0%	1.0%	1.5%	7.9%	18.2%	33.4%	23.7%	14.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

PRE 都道府県

	n	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
総数	2062	88	16	15	44	13	13	11	32	24	18	121	123	225
(%)	100.0%	4.3%	0.8%	0.7%	2.1%	0.6%	0.6%	0.5%	1.6%	1.2%	0.9%	5.9%	6.0%	10.9%

	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
	176	39	6	20	11	4	26	46	63	150	28	15	52	195	104
	8.5%	1.9%	0.3%	1.0%	0.5%	0.2%	1.3%	2.2%	3.1%	7.3%	1.4%	0.7%	2.5%	9.5%	5.0%

	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	23	8	12	6	35	42	17	13	14	21	11	85	11	10	21
	1.1%	0.4%	0.6%	0.3%	1.7%	2.0%	0.8%	0.6%	0.7%	1.0%	0.5%	4.1%	0.5%	0.5%	1.0%

	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	23	8	12	6	35	42	17	13	14	21	11	85	11	10	21
	1.1%	0.4%	0.6%	0.3%	1.7%	2.0%	0.8%	0.6%	0.7%	1.0%	0.5%	4.1%	0.5%	0.5%	1.0%

ARE 地域

	n	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
総数	2062	88	112	719	365	425	112	59	182
(%)	100.0%	4.3%	5.4%	34.9%	17.7%	20.6%	5.4%	2.9%	8.8%

JOB 職業

	n	公務員	役員・ 経営者	会社員 (事務系)	会社員 (技術系)	会社員 (その他)	自営業	自由業	(主夫) 専業主婦	パート・ アルバイト	学生	その他
総数	2062	123	44	315	403	287	68	16	557	212	6	31
(%)	100.0%	6.0%	2.1%	15.3%	19.5%	13.9%	3.3%	0.8%	27.0%	10.3%	0.3%	1.5%

MAR 未既婚

	n	未婚	既婚
総数	2062	143	1919
(%)	100.0%	6.9%	93.1%

CHI 子どもの有無

	n	子ども有り	子ども無し
総数	2062	2062	0
(%)	100.0%	100.0%	0.0%

Q1 親子（家族）のイベントとして大切にしているものはなんですか？

	n	お正月	節分 (まめまき)	ひなまつり	こどもの日 (端午の節句)	母の日	父の日	七夕	敬老の日	ハロウィン	クリスマス	大晦日	誕生日 子どもの	お父さんの 誕生日
総数	2062	1290	652	719	730	471	403	409	271	353	1531	767	1779	596
(%)	100.0%	62.6%	31.6%	34.9%	35.4%	22.8%	19.5%	19.8%	13.1%	17.1%	74.2%	37.2%	86.3%	28.9%

誕生日 お母さんの	誕生日 祖父母の	結婚記念日	その他	特にない
626	299	372	11	71
30.4%	14.5%	18.0%	0.5%	3.4%

Q2 最も大切にしている親子（家族）のイベントはどれですか？

	n	お正月	節分 (まめまき)	ひなまつり	こどもの日 (端午の節句)	母の日	父の日	七夕	敬老の日	ハロウィン	クリスマス	大晦日	誕生日 子どもの	お父さんの 誕生日
総数	1991	202	15	26	19	9	3	3	3	5	296	10	1368	4
(%)	100.0%	10.1%	0.8%	1.3%	1.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	14.9%	0.5%	68.7%	0.2%

誕生日 お母さんの	誕生日 祖父母の	結婚記念日	その他	特にない
5	2	16	5	0
0.3%	0.1%	0.8%	0.3%	0.0%

Q3 昨年（2015年）は、どのようなクリスマスの準備をしましたか？

	n	クリスマスプレゼントを 用意した	クリスマスケーキを 用意した	クリスマスツリーを 飾った	玄関のドアなどに リースを飾った	靴下を用意した	プレゼントを入れるための 書いた サンタクローズへ手紙を 書いた	サンタやトナカイのための クッキーとミルクを用意した	何もししていない	その他
総数	2062	1801	1740	1203	744	365	558	137	79	15
(%)	100.0%	87.3%	84.4%	58.3%	36.1%	17.7%	27.1%	6.6%	3.8%	0.7%

Q5 2015年の12月23日(水・祝日)はどう過ごしましたか?

	n	家族で家でお祝した	外食した	お買い物をした	パーティーをした (いった)	レジャー施設にいった	教会に行つた	その他	覚えていない	何もしていない
総数	2062	918	284	430	332	96	42	41	381	356
(%)	100.0%	44.5%	13.8%	20.9%	16.1%	4.7%	2.0%	2.0%	18.5%	17.3%

Q6 2015年の12月24日(木)は、どう過ごしましたか?

	n	家族で家でお祝した	外食した	お買い物をした	パーティーをした (いった)	レジャー施設にいった	教会に行つた	その他	覚えていない	何もしていない
総数	2062	1135	218	258	356	83	41	41	239	339
(%)	100.0%	55.0%	10.6%	12.5%	17.3%	4.0%	2.0%	2.0%	11.6%	16.4%

Q7 2015年の12月25日(金)はどう過ごしましたか?

	n	家族で家でお祝した	外食した	お買い物をした	パーティーをした (いった)	レジャー施設にいった	教会に行つた	その他	覚えていない	何もしていない
総数	2062	774	196	213	231	81	37	43	309	670
(%)	100.0%	37.5%	9.5%	10.3%	11.2%	3.9%	1.8%	2.1%	15.0%	32.5%

Q8 あなたは子どもの頃、サンタクロースの存在を信じていましたか?

	n	信じていた	信じていなかった
総数	2062	1479	583
(%)	100.0%	71.7%	28.3%

Q9 あなたはサンタクロースの存在を何歳まで信じていましたか？

	n	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
総数	1479	1	6	8	16	21	91	163	182	236	170	354	56	106
(%)	100.0%	0.1%	0.4%	0.5%	1.1%	1.4%	6.2%	11.0%	12.3%	16.0%	11.5%	23.9%	3.8%	7.2%

	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳以上
	16	9	11	2	1	0	1	0	29
	1.1%	0.6%	0.7%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	2.0%

Q10 あなたのお子さんはサンタクロースの存在を信じていますか？

	n	信じている	信じていない (教えていない)	かつて信じていた (卒業した)
総数		2062	1507	240
(%)		100.0%	73.1%	11.6%

Q11 あなたのお子さんがサンタクロースを信じていない(教えていない)理由は何ですか？

	n	(親から教えられなかった)から	自分自身も信じていなかった	祝わないことにしているから	家ではクリスマスを祝わないことになっているから	余裕がないから	日々忙しく、クリスマスを祝う	夢よりも現実が大切だから	後々いろいろと面倒そつだから	経済的に困難なのでサンタクロースは来ないことにしているから	宗教的な理由により	サンタクロースを教えていないから	教えたけど、理解できてないから	その他	特に理由は無い
総数	240	27	10	11	26	21	11	9	42	24	3	89			
(%)	100.0%	11.3%	4.2%	4.6%	10.8%	8.8%	4.6%	3.8%	17.5%	10.0%	1.3%	37.1%			

Q12 お子さんのサンタクロースの卒業方法（信じなくなった原因）をお答えください。

	n	うすうす感じて、自ら卒業した	兄弟姉妹（親戚含む）がバラした	お友達がバラした	クリスマス前に隠していたプレゼントを見つげられてしまった	親がプレゼントを隠す場面を見られてしまった	本当の事を教えた（タネ明かした）	その他
総数	315	190	22	96	13	14	45	3
(%)	100.0%	60.3%	7.0%	30.5%	4.1%	4.4%	14.3%	1.0%

Q13 あなたのお子さんは何歳までサンタクロースの存在を信じていましたか？

	n	2歳以下	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳以上
総数	315	2	8	20	38	44	29	68	33	48	17	8
(%)	100.0%	0.6%	2.5%	6.3%	12.1%	14.0%	9.2%	21.6%	10.5%	15.2%	5.4%	2.5%

Q14 サンタクロースはいつ卒業させる予定ですか？※サンタクロースの正体をいつ教えますか？

	n	子ども次第	小学校入学（6歳）したら	10歳になったら	小学校卒業したら（12歳）	サンタクロースは卒業させる予定はない	その他
総数	1507	813	60	124	161	325	24
(%)	100.0%	53.9%	4.0%	8.2%	10.7%	21.6%	1.6%

Q15 サンタクロースは、あなたのお子さんのために何月何日に来て欲しい（設定）ですか？

	n	23日（初日）ならいつでも	24日（クリスマス）ならいつでも	24日夜（クリスマス）の子ども寝たあと	25日（クリスマス）ならいつでも	特に関心は決めてない（こだわりはない）	その他	わからない
総数	2062	106	457	1275	193	193	8	107
(%)	100.0%	5.1%	22.2%	61.8%	9.4%	9.4%	0.4%	5.2%

Q16 2015年、あなたのお子さんはサンタクロースからプレゼントをもらいましたか？

	n	サンタクロースから もらったと認識している (プレゼントは親が準備した)	保育園・幼稚園などで 会ったサンタクロースから もらったと認識している	それ以外	サンタクロースから もらっていない
総数	2062	1637	267	26	302
(%)	100.0%	79.4%	12.9%	1.3%	14.6%

Q17 2015年、あなたのお子さんはクリスマスプレゼントをいくつももらいましたか？

	n	もらって いない	1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個	8 個	9 個	10 個以上	わ か ら な い
総数	2062	77	903	524	312	100	59	22	7	3	2	14	39
(%)	100.0%	3.7%	43.8%	25.4%	15.1%	4.8%	2.9%	1.1%	0.3%	0.1%	0.1%	0.7%	1.9%

Q18 2015年、あなたのお子さんはクリスマスプレゼントを誰からももらいましたか？
あなたのお子さんがプレゼントをもらった人をすべてお答えください。

	n	サンタクロース (親が準備)	親 (サンタクロースとは 別に親からのプレゼントを 渡している場合)	祖 父 母	親 戚	保 育 園 ・ 幼 稚 園	そ の 他
総数	1760	1612	378	723	172	252	24
(%)	100.0%	91.6%	21.5%	41.1%	9.8%	14.3%	1.4%

Q19 2015年、お子さんがクリスマスプレゼントを受け取ったのはいつですか？

	n	23日(水・祝日)	24日(木)日中	24日(木)夕御飯時	24日(木)夕御飯後～寝る前	24日(木)朝起きた時	25日(金)日中	25日(金)夕御飯	25日(金)夕御飯～寝る前	25日(金)寝てから	25日(金)それ以外	覚えていない わからない
サンタクロース (親が準備)	1612	91	58	47	130	1203	8	9	9	41	22	43
親(サンタクロースとは別に親からのプレゼントを渡している場合)	378	27	37	56	66	131	23	14	13	4	20	20
祖父母	723	104	61	52	54	131	67	30	24	9	160	68
親戚	172	26	16	16	22	23	22	6	3	4	41	14
保育園・幼稚園	252	8	84	5	8	22	33	3	2	2	68	37
その他	24	6	1	1	3	4	1	1	2	2	9	3
	n	23日(水・祝日)	24日(木)日中	24日(木)夕御飯時	24日(木)夕御飯後～寝る前	24日(木)朝起きた時	25日(金)日中	25日(金)夕御飯	25日(金)夕御飯～寝る前	25日(金)寝てから	25日(金)それ以外	覚えていない わからない
サンタクロース (親が準備)	1612	5.6%	3.6%	2.9%	8.1%	74.6%	0.5%	0.6%	0.6%	2.5%	1.4%	2.7%
親(サンタクロースとは別に親からのプレゼントを渡している場合)	378	7.1%	9.8%	14.8%	17.5%	34.7%	6.1%	3.7%	3.4%	1.1%	5.3%	5.3%
祖父母	723	14.4%	8.4%	7.2%	7.5%	18.1%	9.3%	4.1%	3.3%	1.2%	22.1%	9.4%
親戚	172	15.1%	9.3%	9.3%	12.8%	13.4%	12.8%	3.5%	1.7%	2.3%	23.8%	8.1%
保育園・幼稚園	252	3.2%	33.3%	2.0%	3.2%	8.7%	13.1%	1.2%	0.8%	0.8%	27.0%	14.7%
その他	24	25.0%	4.2%	4.2%	12.5%	16.7%	4.2%	4.2%	8.3%	8.3%	37.5%	12.5%

Q20 あなたの家庭でのクリスマスプレゼントの内容（方針）について最もあてはまるものをお選びください。

	n	子どもが欲しいものをあげている	子どもが欲しいものは聞か、予算的に親が準備できるものをあげている	親のあげたいものをあげている	その他	あげていない
総数	2062	1100	781	94	11	76
(%)	100.0%	53.3%	37.9%	4.6%	0.5%	3.7%

Q21 どうやって欲しいプレゼントの内容を聞き出していますか

	n	直接聴く	日常の会話から察する	サンタさんに手紙を書かせている	チラシやパンフレット等の選択肢を見せて選ばせる	その他
総数	1881	1101	827	578	104	33
(%)	100.0%	58.5%	44.0%	30.7%	5.5%	1.8%

Q22 あなたの家庭での「誕生日プレゼント」の内容（方針）について最もあてはまるものをお選びください。

	n	子どもが欲しいものをあげている	子どもが欲しいものは聞か、予算的に親が準備できるものをあげている	親のあげたいものをあげている	あげていない	その他
総数	2062	1068	803	97	83	11
(%)	100.0%	51.8%	38.9%	4.7%	4.0%	0.5%

Q23 2015年、あなたの家では、サンタクロースからのクリスマスプレゼントはどのように渡しましたか？

	n	直接渡した	まくらもとに置いた	ツリーの下に置いた	靴下の中に入れて	その他
総数	1637	133	1063	304	81	56
(%)	100.0%	8.1%	64.9%	18.6%	4.9%	3.4%

Q25 2015年、サンタクロースからのプレゼントはどこで購入しましたか？

	n	専門店 (おもちゃ屋などを含む)	百貨店	ネットショッピング	量販店	通販カタログ	雑貨店	ケーキ屋さん・お菓子屋さん	購入ではなく手作り	その他
総数	1637	749	124	711	234	41	47	37	15	49
(%)	100.0%	45.8%	7.6%	43.4%	14.3%	2.5%	2.9%	2.3%	0.9%	3.0%

Q26 クリスマスプレゼントを見つけて購入するのに苦労しましたか？

	n	購入予定のプレゼントは比較的楽に見つかり、購入できた	購入予定のプレゼントはなかなか見つからず(売切れも含む)かなり苦労したが、購入できた	購入予定のプレゼントがなかなか見つからず(売切れも含む)、他のものを購入した	購入予定のプレゼントを事前に決めずに、お店やネットを見てあるものから選んで購入した	購入予定のプレゼントがなかなか見つからず(売切れも含む)、他のものを購入した	その他
総数	1634	1294	247	34	49	10	10
(%)	100.0%	79.2%	15.1%	2.1%	3.0%	0.6%	0.6%

**Q28 2015年、サンタクロースからのプレゼントはいつ購入しましたか？
また、手作りの方はいつ作り（完成させ）ましたか？**

	n	12月より前	12月1～10日	12月11～20日	12月21日、22日	12月23日（水・祝日）	12月24日（木）	12月25日（金）	それ以外
総数	1637	229	553	629	120	65	23	8	10
(%)	100.0%	14.0%	33.8%	38.4%	7.3%	4.0%	1.4%	0.5%	0.6%

**Q29 サンタクロースを躰（しつけ）や約束に使っていますか？
（例）良い子にしていないとサンタさんは来ないよ。**

	n	している	していない
総数	1507	1151	356
(%)	100.0%	76.4%	23.6%

**Q30 「サンタクロース」という言葉を使った躰（しつけ）や約束は、
クリスマス時期よりどれくらい前から効果がありましたか？**

	n	半年前から	3ヶ月前から	1ヶ月前から	1週間前から	直前	その他	効果はない／ 続かない
総数	1151	199	269	516	81	23	9	54
(%)	100.0%	17.3%	23.4%	44.8%	7.0%	2.0%	0.8%	4.7%

**Q31 「サンタクロース」という言葉を使った躰（しつけ）や約束は、
クリスマス時期からどの程度後まで効果がありましたか？**

	n	直後まで	1週間後まで	1ヶ月後まで	3ヶ月後まで	半年後まで	その他	効果はない／ 続かない
総数	1151	529	246	141	27	47	14	147
(%)	100.0%	46.0%	21.4%	12.3%	2.3%	4.1%	1.2%	12.8%

Q32 サンタクロースが来ることは、あなたのお子さんに どのような影響があると思いますか？

	n	夢を持つようになる	目的のために努力するようになる	想像力が豊かになる	純粋な心の持ち主になる	我慢ができるようになる	常に良い子になる	自己肯定感が高くなる	約束を守るようになる	その他	特にない／わからない
総数	2062	890	464	687	737	326	179	155	464	18	325
(%)	100.0%	43.2%	22.5%	33.3%	35.7%	15.8%	8.7%	7.5%	22.5%	0.9%	15.8%

Q33 あなたのお子さんにサンタクロースを会わせたいと思いますか？

	n	会わせたい	会わせたくない	わからない
総数	2062	1064	367	631
(%)	100.0%	51.6%	17.8%	30.6%

Q34 サンタクロースが家に来るサービスがあるとしたら利用したいと思いますか？ 前提条件・プレゼントは事前に用意する・日本人のサンタクロース・費用は2,000円程度

	n	利用したい	利用したくない	どちらでもない
総数	2062	774	737	551
(%)	100.0%	37.5%	35.7%	26.7%

SC1 昨年 2015 年 12 月 31 日時点で、あなたの第一子の年齢を教えてください。

	n	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳
総数	2062	0	0	0	269	225	230	192	192	217
(%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	10.9%	11.2%	9.3%	9.3%	10.5%

	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳以上
	197	184	179	177	0
	9.6%	8.9%	8.7%	8.6%	0.0%

SC2 あなたの世帯年収をお答えください。

	n	1 0 0 万円未満	1 5 0 万円～ 1 0 0 万円未満	2 0 0 万円～ 1 5 0 万円未満	2 5 0 万円～ 2 0 0 万円未満	3 0 0 万円～ 2 5 0 万円未満	4 0 0 万円～ 3 0 0 万円未満	5 0 0 万円～ 4 0 0 万円未満	6 0 0 万円～ 5 0 0 万円未満	7 0 0 万円～ 6 0 0 万円未満
総数	2062	45	54	74	83	155	276	277	276	277
(%)	100.0%	2.2%	2.6%	3.6%	4.0%	7.5%	13.4%	13.4%	13.4%	13.4%

	8 0 0 万円～ 7 0 0 万円未満	9 0 0 万円～ 8 0 0 万円未満	1 0 0 万円～ 9 5 0 万円未満	1 0 0 万円以上	答えたくない
	140	139	128	138	0
	6.8%	6.7%	6.2%	6.7%	0.0%

SC3 あなたの世帯人数をお答えください。

	n	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9 人	10 人以上
総数	2062	0	72	638	937	294	78	18	11	4	10
(%)	100.0%	0.0%	3.5%	30.9%	45.4%	14.3%	3.8%	0.9%	0.5%	0.2%	0.5%

SC4 あなたの世帯の子どもの数をお答えください。

	n	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
総数	2062	734	998	272	45	7	6
(%)	100.0%	35.6%	48.4%	13.2%	2.2%	0.3%	0.3%

SEXGEN 性・年代別

	n	男性 19歳以下	男性 20～29歳	男性 30～39歳	男性 40～49歳	男性 50～59歳	男性 60歳以上	女性 19歳以下	女性 20～29歳	女性 30～39歳	女性 40～49歳	女性 50～59歳	女性 60歳以上
総数	2062	13	43	466	502	2	0	7	149	597	283	0	0
(%)	100.0%	0.6%	2.1%	22.6%	24.3%	0.1%	0.0%	0.3%	7.2%	29.0%	13.7%	0.0%	0.0%

Q1 親子(家族)のイベントとして大切にしているものはなんですか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	お正月
<input type="checkbox"/>	節分(まめまき)
<input type="checkbox"/>	ひなまつり
<input type="checkbox"/>	こどもの日(端午の節句)
<input type="checkbox"/>	母の日
<input type="checkbox"/>	父の日
<input type="checkbox"/>	七夕
<input type="checkbox"/>	敬老の日
<input type="checkbox"/>	ハロウィン
<input type="checkbox"/>	クリスマス
<input type="checkbox"/>	大晦日
<input type="checkbox"/>	子どもの誕生日
<input type="checkbox"/>	お父さんの誕生日
<input type="checkbox"/>	お母さんの誕生日
<input type="checkbox"/>	祖父母の誕生日
<input type="checkbox"/>	結婚記念日
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	特にない

Q2 最も大切にしている親子(家族)のイベントはどれですか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	お正月
<input type="checkbox"/>	節分(まめまき)
<input type="checkbox"/>	ひなまつり
<input type="checkbox"/>	こどもの日(端午の節句)
<input type="checkbox"/>	母の日

<input type="checkbox"/>	父の日
<input type="checkbox"/>	七夕
<input type="checkbox"/>	敬老の日
<input type="checkbox"/>	ハロウィン
<input type="checkbox"/>	クリスマス
<input type="checkbox"/>	大晦日
<input type="checkbox"/>	子どもの誕生日
<input type="checkbox"/>	お父さんの誕生日
<input type="checkbox"/>	お母さんの誕生日
<input type="checkbox"/>	祖父母の誕生日
<input type="checkbox"/>	結婚記念日
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	特になし

Q3 昨年(2015年)は、どのような クリスマスの準備をしましたか? 【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	クリスマスプレゼントを用意した
<input type="checkbox"/>	クリスマスケーキを用意した
<input type="checkbox"/>	クリスマスツリーを飾った
<input type="checkbox"/>	玄関のドアなどにリースを飾った
<input type="checkbox"/>	プレゼントを入れるための靴下を用意した
<input type="checkbox"/>	サンタクロースへ手紙を書いた
<input type="checkbox"/>	サンタやトナカイのためのクッキーとミルクを用意した
<input type="checkbox"/>	何もしていない
<input type="checkbox"/>	その他

Q3で「クリスマスプレゼントを用意した」にチェックしなかった方に質問します。

Q4 クリスマスプレゼントを用意しなかった理由を教えてください。

--

昨年（2015年）の12月23日から12月25日までのことをお聞きします。

Q5 2015年の12月23日（水・祝日）はどう過ごしましたか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	家族で家でお祝いした
<input type="checkbox"/>	外食した
<input type="checkbox"/>	お買い物をした
<input type="checkbox"/>	パーティーをした（いった）
<input type="checkbox"/>	レジャー施設にいった
<input type="checkbox"/>	教会に行った
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	覚えていない
<input type="checkbox"/>	何もしていない

昨年（2015年）の12月23日から12月25日までのことをお聞きします。

Q6 2015年の12月24日（木）は、どう過ごしましたか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	家族で家でお祝いした
<input type="checkbox"/>	外食した
<input type="checkbox"/>	お買い物をした
<input type="checkbox"/>	パーティーをした（いった）
<input type="checkbox"/>	レジャー施設にいった
<input type="checkbox"/>	教会に行った

<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	覚えていない
<input type="checkbox"/>	何もしていない

昨年（2015年）の12月23日から12月25日までのことをお聞きします。

Q7 2015年の12月25日（金）は どう過ごしましたか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	家族で家でお祝いした
<input type="checkbox"/>	外食した
<input type="checkbox"/>	お買い物をした
<input type="checkbox"/>	パーティーをした（いった）
<input type="checkbox"/>	レジャー施設にいった
<input type="checkbox"/>	教会に行った
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	覚えていない
<input type="checkbox"/>	何もしていない

サンタクロースについてお伺いします。

Q8 あなたは子どもの頃、サンタクロースの存在を 信じていましたか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	信じていた
<input type="checkbox"/>	信じていなかった

Q9 あなたはサンタクロースの存在を 何歳まで信じていましたか？

Q10 あなたのお子さんは サンタクロースの存在を信じていますか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	信じている
<input type="checkbox"/>	信じていない（教えていない）
<input type="checkbox"/>	かつて信じていた（卒業した）

「信じていない（教えていない）」を選んだ方のみお答えください。

Q11 あなたのお子さんがサンタクロースを信じていない （教えていない）理由は何ですか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	自分自身も信じていなかった（親から教えられなかった）から
<input type="checkbox"/>	後々いろいろと面倒そうだから
<input type="checkbox"/>	家ではクリスマスを祝わないことにしているから
<input type="checkbox"/>	夢よりも現実が大切だから
<input type="checkbox"/>	日々忙しく、クリスマスを祝う余裕がないから
<input type="checkbox"/>	教えたけど、理解できてないから
<input type="checkbox"/>	宗教的な理由により
<input type="checkbox"/>	サンタクロースを教えていないから
<input type="checkbox"/>	経済的に困難なのでサンタクロースは来ないことにしているから
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	特に理由は無い

前問で、あなたのお子さんがサンタクロースの存在を「かつて信じていたが、年齢的にサンタクロースを卒業したから」と回答された方に伺います。

Q12 お子さんのサンタクロースの卒業方法 （信じなくなった原因）をお答えください。【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	うすうす感じて、自ら卒業した
<input type="checkbox"/>	親がプレゼントを隠す場面を見られてしまった
<input type="checkbox"/>	お友達がバラした

<input type="checkbox"/>	クリスマス前に隠していたプレゼントを見つけられてしまった
<input type="checkbox"/>	兄弟姉妹（親戚含む）がバラした
<input type="checkbox"/>	本当の事を教えた（タネ明かした）
<input type="checkbox"/>	その他

Q13 あなたのお子さんは何歳まで サンタクロースの存在を信じていましたか？【答えは1つです】

あなたのお子さんがサンタクロースの存在を「信じている」と回答された方に伺います。

Q14 サンタクロースはいつ卒業させる予定ですか？

※サンタクロースの正体をいつ教えますか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	子ども次第
<input type="checkbox"/>	小学校入学（6歳）したら。
<input type="checkbox"/>	10歳になったら。
<input type="checkbox"/>	小学校卒業したら（12歳）
<input type="checkbox"/>	サンタクロースは卒業させる予定はない。
<input type="checkbox"/>	その他

Q15 サンタクロースは、あなたのお子さんのために 何月何日に来て欲しい（設定）ですか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	23日（祝日）ならいつでも。
<input type="checkbox"/>	24日（クリスマスイブ）ならいつでも。
<input type="checkbox"/>	24日夜（クリスマスイブ）の子どもの寝たあと。
<input type="checkbox"/>	25日（クリスマス）ならいつでも。
<input type="checkbox"/>	特に日にちは決めてない（こだわりはない）。

<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	わからない

2015年のクリスマスのプレゼントについてお伺いします。

Q16 2015年、あなたのお子さんはサンタクロースからプレゼントをもらいましたか？

<input type="checkbox"/>	家に来たサンタクロースからもらったと認識している（プレゼントは親が準備した）
<input type="checkbox"/>	保育園・幼稚園など外で会ったサンタクロースからもらったと認識している
<input type="checkbox"/>	それ以外
<input type="checkbox"/>	サンタクロースからもらっていない

Q17 2015年、あなたのお子さんはクリスマスプレゼントをいくつももらいましたか？【答えは1つです】

--

**Q18 2015年、あなたのお子さんはクリスマスプレゼントを誰からもらいましたか？
あなたのお子さんがプレゼントをもらった人をすべてお答えください。**【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	サンタクロース（親が準備）
<input type="checkbox"/>	親（サンタクロースとは別に親からのプレゼントを渡している場合）
<input type="checkbox"/>	祖父母
<input type="checkbox"/>	親戚
<input type="checkbox"/>	保育園・幼稚園
<input type="checkbox"/>	その他

Q19 2015年、お子さんがクリスマスプレゼントを受け取ったのはいつですか？【答えはそれぞれいくつでも】

	23日(水・祝日)	24日(木) 日中	24日(木) 夕御飯時	24日(木) 夕御飯後～寝る前	25日(金) 朝起きた時	25日(金) 日中	25日(金) 夕御飯	25日(金) 夕御飯～寝る前	25日(金) 寝てから	それ以外	覚えていない／わからない	その他
サンタクロース (親が準備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
親 (サンタクロースとは別に親からのプレゼントを渡している場合)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
祖父母	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
親戚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育園・幼稚園	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q20 あなたの家庭でのクリスマスプレゼントの内容(方針)について最もあてはまるものをお選びください。【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	子どもが欲しいものをあげている
<input type="checkbox"/>	子どもが欲しいものは聞かぬが、予算的に親が準備できるものをあげている
<input type="checkbox"/>	親のあげたいものをあげている
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	あげていない

「子どもが欲しいもの」を聞き出している方に質問します。

Q21 どうやって欲しいプレゼントの内容を聞き出していますか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	直接聞く
<input type="checkbox"/>	日常の会話から察する
<input type="checkbox"/>	サンタさんに手紙を書かせている
<input type="checkbox"/>	チラシやパンフレット等の選択肢を見せて選ばせる
<input type="checkbox"/>	その他

Q22 あなたの家庭での「誕生日プレゼント」の内容(方針)について最もあてはまるものをお選びください。【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	子どもが欲しいものをあげている
<input type="checkbox"/>	子どもが欲しいものは聞くが予算的に親が準備できるものをあげている
<input type="checkbox"/>	親のあげたいものをあげている
<input type="checkbox"/>	あげていない
<input type="checkbox"/>	その他

Q23 2015年、あなたの家では、サンタクロースからのクリスマスプレゼントはどのように渡しましたか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	直接渡した
<input type="checkbox"/>	まくらもとに置いた
<input type="checkbox"/>	ツリーの下に置いた
<input type="checkbox"/>	靴下の中に入れて
<input type="checkbox"/>	その他

第一子のお子さんについてお答えください。

**Q24 2015年、(親が準備した) サンタクロースからのプレゼントは何をあげましたか？
商品名など、なるべく具体的に記入してください。**

--

Q25 2015年、サンタクロースからのプレゼントはどこで購入しましたか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	専門店（おもちゃ屋などを含む）
<input type="checkbox"/>	百貨店
<input type="checkbox"/>	ネットショッピング
<input type="checkbox"/>	量販店
<input type="checkbox"/>	通販カタログ
<input type="checkbox"/>	雑貨店
<input type="checkbox"/>	ケーキ屋さん・お菓子屋さん
<input type="checkbox"/>	購入ではなく手作り
<input type="checkbox"/>	その他

Q26 クリスマスプレゼントを見つけて購入するのに苦劳しましたか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	購入予定のプレゼントは比較的楽に見つかり、購入できた
<input type="checkbox"/>	購入予定のプレゼントがなかなか見つからず（売切れも含む）かなり苦劳したが、購入できた
<input type="checkbox"/>	購入予定のプレゼントがなかなか見つからず（売切れも含む）、他のものを買入れた
<input type="checkbox"/>	購入予定のプレゼントを事前に決めずに、お店やネットを見てあるものから選んで購入した
<input type="checkbox"/>	その他

第一子のお子さんについてお答えください。

**Q27 2015年、サンタクロースからのプレゼントの購入金額は
いくらでしたか？**

手作りの場合は材料費等をお答えください。

--

**Q28 2015年、サンタクロースからのプレゼントは
いつ購入しましたか？また、手作りの方は
いつ作り（完成させ）ましたか？**【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	12月より前
<input type="checkbox"/>	12月1～10日
<input type="checkbox"/>	12月11～20日
<input type="checkbox"/>	12月21日、22日
<input type="checkbox"/>	12月23日（水・祝日）
<input type="checkbox"/>	12月24日（木）
<input type="checkbox"/>	12月25日（金）
<input type="checkbox"/>	それ以外

子どもがサンタクロースの存在を信じている方にお伺いします。

Q29 サンタクロースを躰（しつけ）や約束に使っていますか？

（例）良い子にしていないとサンタさんは来ないよ。【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	している
<input type="checkbox"/>	していない

前問で、サンタクロースを躰（しつけ）や約束に使っていると回答された方に伺います。

Q30 「サンタクロース」という言葉を使った躰（しつけ）や約束は、クリスマス時期よりどれくらい前から効果がありましたか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	半年前から
<input type="checkbox"/>	3ヶ月前から
<input type="checkbox"/>	1ヶ月前から
<input type="checkbox"/>	1週間前から
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	効果はない／続かない

Q31 「サンタクロース」という言葉を使った躰（しつけ）や約束は、クリスマス時期からどの程度後まで効果がありましたか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	直後まで
<input type="checkbox"/>	1週間後まで
<input type="checkbox"/>	1ヶ月後まで
<input type="checkbox"/>	3ヶ月後まで
<input type="checkbox"/>	半年後まで
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	効果はない／続かない

Q32 サンタクロースが来ることは、あなたのお子さんにどのような影響があると思いますか？【答えはいくつでも】

<input type="checkbox"/>	常に良い子になる
<input type="checkbox"/>	想像力が豊かになる
<input type="checkbox"/>	夢を持てるようになる

<input type="checkbox"/>	約束を守れるようになる
<input type="checkbox"/>	目的のために努力するようになる
<input type="checkbox"/>	我慢ができるようになる
<input type="checkbox"/>	純粋な心の持ち主になる
<input type="checkbox"/>	自己肯定感が高くなる
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	特にない／わからない

Q33 あなたのお子さんにサンタクロースを会わせたいと思いますか？【答えは1つです】

<input type="checkbox"/>	会わせたい
<input type="checkbox"/>	会わせたくない
<input type="checkbox"/>	わからない

Q34 サンタクロースが家に来るサービスがあるとしたら利用したいと思いますか？【答えは1つです】

前提条件・プレゼントは事前に用意する・日本人のサンタクロース・費用は2,000円程度

<input type="checkbox"/>	利用したい
<input type="checkbox"/>	利用したくない
<input type="checkbox"/>	どちらでもない

おわりに

サンタクロースを卒業する「未来の手紙」

私達がどれだけ活動を届けていても、残念ながら子ども達は年齢を重ねるとサンタクロースへの疑問が生まれ「家に来たサンタさんはなんだったの?」という会話が生まれます。

保護者もその問いに向き合いながら、いつか話す時がやってくる。そんなサンタを卒業する瞬間のための「未来に読む手紙」。

チャリティーサンタはこの「未来に読む手紙」を保護者に預け、その瞬間が来た時に、子どもの時には「サンタは“来る”もの」だったものが、大人になると「サンタは“なる”もの」に変わるんだよ、という提案をしています。

* * *

あの時のサンタクロースは、実は「キミのことを笑顔にしたい」と願った親の想いから始まっていたんだ。それを私達チャリティーサンタが受け取り、沢山のボランティアがサンタさんになってくれたこと。さらに、チャリティーによってまた別の子どもにもプレゼントが届いたこと。だからある意味では、支援先の子どもにとってはキミ自身が既にサンタになっていたんだよ。

* * *

そんな「キミ」から始まったストーリーを伝え、最後にはこう結びます。

「私達は実際にキミのサンタになって気づいた。“誰かを笑顔にしたい気持ち”それこそがサンタクロースなんだ。そして、次はキミの番だよ」

サンタクロースがやってくる温かい家庭の風景・子どもの健やかな成長。私達が目指すのはそれを守り子ども達の置かれている環境をより良くしていくこと。

チャリティーサンタの活動とこのサンタ白書によって、私達の社会がより良い方向へ進むことを願い、結びとさせていただきます。

NPO法人チャリティーサンタ
代表理事 きよすけ 清輔夏輝

Special Thanks ! 本白書の発行にご協力いただいた皆様

本白書の制作におきましては、下記の皆様に多大なご協力をいただきました。
この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

■印刷のご協力

東洋美術印刷株式会社 様
(本書は Océ ColorStream 3700Z で印刷しました)

■企画・データ集計・PRのご協力

株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ 河内山信一 様

■データ集計・グラフ作成のご協力

NPO 法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 (SVP 東京) 様
近藤悠生 (NPO 法人チャリティーサンタ 理事)
須川翔太 (NPO 法人チャリティーサンタ 北東京支部 運営スタッフ)

■デザイン制作のご協力

全体デザイン: 株式会社デザインキューブ 平野直子 様
表紙・イラスト作成: イラストレーター かわいちともこ 様

■第3章(2)への全面的なご協力

NPO 法人しんぐるまざあずふぉーらむ

■助成

独立行政法人福祉医療機構 ※平成29年度 社会福祉振興助成事業

発 行 者 デ ー タ 特定非営利活動法人チャリティーサンタ

〔団体概要〕 NPO法人チャリティーサンタは、「サンタクロースのような想いやりのある人」を世の中に増やし、想いやりがつながる社会を目指している団体です。主な活動として、クリスマスイブの夜、サンタクロースになったボランティアが日本の子どもに”プレゼントと夢”を届けます。そこで、各家庭から寄付として頂くチャリティーで、世界中の困難な状況にある子どもに“支援と未来”を届けます。2008年から活動開始し、これまでの9年で、11,795人がサンタクロースになり、21,882人の子どもに感動体験を届けてきました。(2017年現在、全国23都道府県30支部で活動)チャリティーサンタの合言葉は、「あなたも誰かのサンタクロース。」大人が子どもを想う気持ちが集まれば、世界は変わる、かもしれない。

設立: 2008年9月 (NPO法人化2014年4月)
代表理事: 清輔 夏輝 (Kiyosuke Natsuki)
所在地: 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-4-16-305
問い合わせ: 03-4571-0018
連絡先: info@charity-santa.com

発行者・発行日 2017年11月11日発行
発行元: NPO 法人チャリティーサンタ

コピーライト ©2017 charity-santa

執 筆 者 清輔 夏輝 (NPO 法人チャリティーサンタ 代表理事)
山田 立子 (NPO 法人チャリティーサンタ 理事)
森谷 伸樹 (NPO 法人チャリティーサンタ 正会員)



WAM助成

平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉活動助成事業

独立行政法人福祉医療機構
「WAM 助成」助成事業